

New2016F63HyperMonster 製品使用マニュアル

<目次>

1. はじめに	P2
2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm に追加したシートと異なるシート	P3
(1) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合	P3
(2) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm の場合	P10
3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm と異なるユーザーフォームの部分	P11
(1) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm の場合	P11
(2) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm の場合	P34
4. ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm	
のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を用いて、最大 1,000,000 レコード 1008,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法	P39
(1) データーファイルのデーターの入力等について	P39
(2) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシートの設定	P66
(3) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」の印刷フォームシートへの複写について	P68
(4) 印刷フォームの様式作成について	P80
① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計	P80
② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計	P89
(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について	P115
① 票形式の印刷の場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合	P125
② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合	P140

I. はじめに

New2016F63HyperMonsteFile 製品は、
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

の 62 個データファイルとファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のメインファイルの計 63 個のファイルから構成されてます。これら 63 個のファイル全体を一つのシステムと捉えてご利用頂く製品です。

63 個のファイルは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

をもとに作成されたもので、機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありません。

これらの 63 個のファイルにはそれぞれ 80 枚の入力シートがあり、1 枚の入力シートには 200 のフィールドがあり、デフォルトでは 50 レコード入力のかたちですが、最大 1,000,000 レコードまで増加させることができます。そして、62 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」とファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」はそれぞれのファイル内の 80 枚の入力シートの内容を表示させることができます。そして更にファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」は、62 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、62 個のデータファイルのシート「4 結合ファイル作成コピー用」の内容を表示させることができます。つまり、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」は、最大 1,000,000 レコード 1008,000 フィールドの内容を表示することができ、最大 1,000,000 レコード 1008,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行うことが可能です。

上で述べたように **New2016F63HyperMonsteFile** 製品の 63 個のファイルは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

機能や構造的にはこのファイルとほとんど変わりありませんが、ファイル

New2016F51CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm や

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

の 62 個データファイルにはファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

とはワークシートの種類やユーザーフォームの機能に若干違いがあります。これらの違いを中心に下の 2、3 で説明させていただきます。

なお、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

と全く同じ構造・機能を持っているファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm

を私どものホームページのページ「2016 試用版ファイルダウンロード」の『PARTIII 「2016 試用版ファイル」のダウンロード』からダウンロードしてご覧頂くことができます。また、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

には極めて多くの機能があり、その全てを解説するには 5,000 ページ以上の解説が必要でほとんど不可能です。そのため、ファイルの使用から印刷までの作業を行っていく上で、頻繁に利用される必要最小限知っていただきたいマクロの利用方法や、また知っていると大変便利なマクロの利用方法、能率的なシステムの構築するためのマニュアルを私どものホームページのページ「使用マニュアルダウンロード」からダウンロードしてご覧いただけます。ページ「使用マニュアルダウンロード」の次の部分をダウンロードしてご覧ください。

I 新しいマニュアルのダウンロード

準備 pdf ファイルの保存方法.pdf のダウンロード

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf のダウンロード
- 2.基本的なシート.pdf のダウンロード
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf のダウンロード
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf のダウンロード
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf のダウンロード
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアルのダウンロード
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式设计マニュアル.pdf のダウンロード
- 11.印刷マクロ命令入力シートであるシート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 14.編集シートから入力シートへの表データー複写マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 15.システムの初期化、シートデーターの削除・消去等マクロマニュアル.pdf のダウンロード
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf のダウンロード
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見やすいメール本文の作成の仕方.pdf のダウンロード

2. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm に追加したシートと異なるシート:

- (1) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm の場合:

追加したシートは「CallDataFileの登録」です。

このシートは、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

およびファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

の62個データファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ  を選択すると次の[図1]の画面ようになります。

[図1]



上の[図 1]の画面のコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図2]の画面のようになりシート「CallDataFileの登録」が選択できます。

[图 2]

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm - Excel				
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理				
CallDataFileの登録				
NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Close	☒
2	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm	Close	☒
3	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm	Close	☒
4	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm	Close	☒
5	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm	Close	☒
6	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm	Close	☒

また、変更したシートはシート「ファイル作成コピー用63結合」です。

ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xslsm

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を改造しシート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」としました。このシートは 6 2 個のデータファイルの各シート「4 結合ファイル作成コピー用」と関数でリンクされており、リンク先管理をおこなうシートです。

ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の [図 3] の画面ようになります。

【図 3】

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	ファイル作成コピー用63結合	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	データファイルへ移動呼出	キャンセル	システム終了

上の [図 3] の画面の Command ボタン

ファイル作成コピー用63結合

をクリックすると、次の [図 4] の画面のようにシート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」が選択できます。

[図 4]



標準画面表示

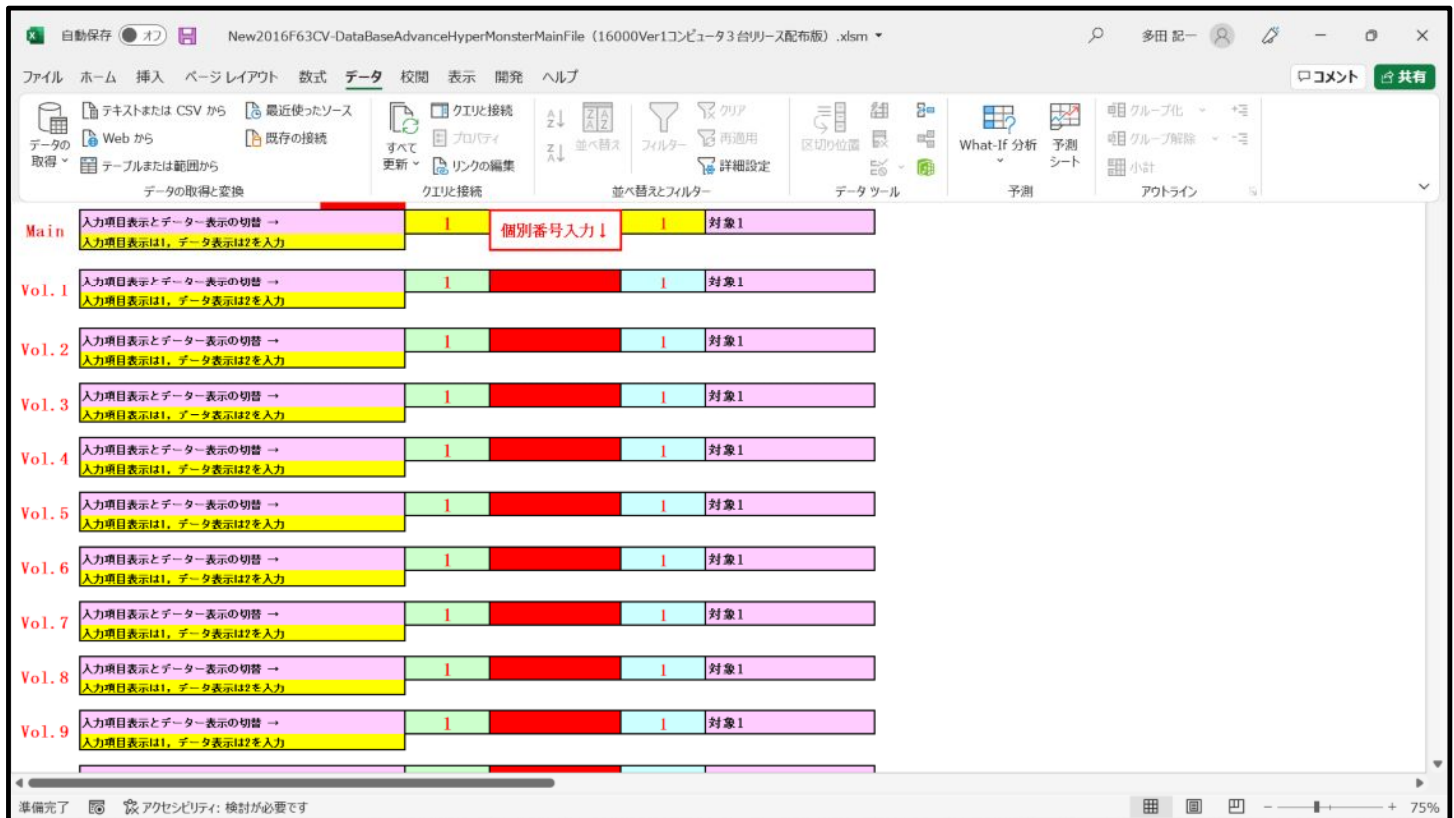
上の[図 4]の画面でコマンドボタン **標準画面表示** をクリックして標準画面表示に切り替え、セル **シート保護解除** の部分をダブルクリックするとシートの保護が解除されリンクの編集が可能となり、次の[図 5]の画面ようになります。

[図 5]



上の[図5]の画面の上側の「データ」の部分をクリックすると次の[図6]の画面のようになります。

[図6]



上の[図6]の画面の「リンクの編集」をクリックすると次の[図7]の画面のようになり、リンク先を変更すること等が可能となります。

まずファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いたら、[図7]の画面の

各ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

に対して、リンク元の部分でそれぞれファイルを選択し、次の[図7]の画面の「リンク元を開く(O)」をクリックしてリンク元を開いてください。そして、データーファイルを開いたらファイルを保存して閉じてください。この操作をデーターファイルの個数の 62 回繰り返してください。そして最後に、ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm を保存して閉じてください。

すると次回以降ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を開いて、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能を用いて、各データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

を開いて編集場合、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に対しての各リンク元のファイルとして容易に各データファイルができます。リンク元を開き上の一連の操作が完了したら必ず上の[図 5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」を保護してください。

但し、リンク元の変更をする必要はほとんどありません。ファイルのマクロ機能を用いデータファイルを呼び出し、そのファイル名を変更すると、元のファイル名のリンク先が自動的にファイル名変更先のリンクに変更されます。例えば、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

をメインファイルのマクロ機能を用いて呼び出し、ファイル名を

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

とすると、ファイル

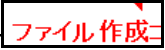
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のリンク先が自動的に

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 変更テスト.xlsm

に変更されます。

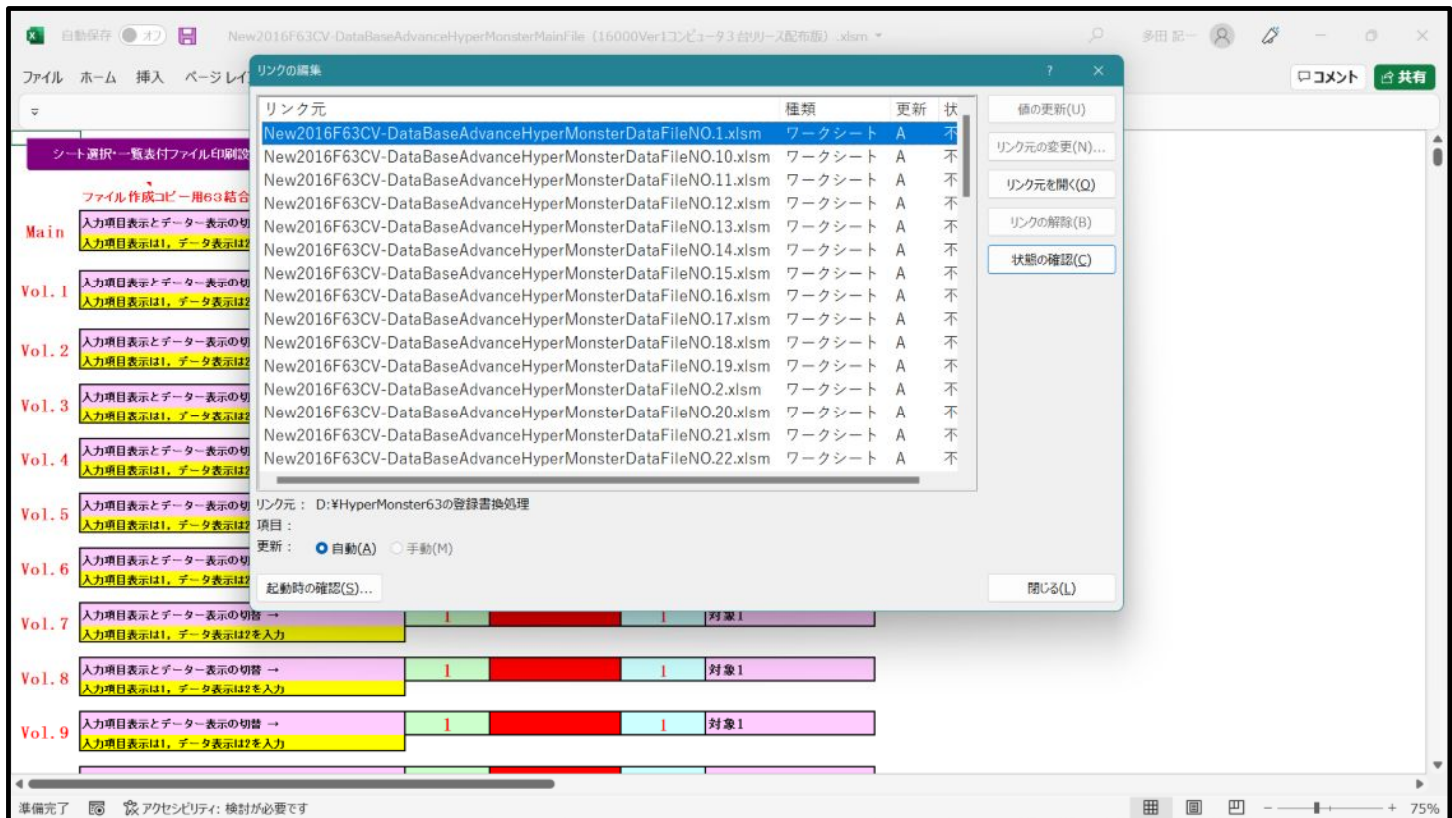
リンク先を変更する操作はどうしても必要な場合に限っておこなってください。なおその場合、リンク先の変更

処理が済んだら、必ず上の[図 5]の画面のセル  の部分をダブルクリックしてとシート

「ファイル作成コピー用 6 3 結合」を保護してください。

特にご注意くださいことは、シート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。もともとシート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」は、メインファイルに備わったマクロ機能を用い、「印刷フォーム」シートに複写し、「印刷フォーム」シート上で編集するものです。シート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」を複写した「印刷フォーム」シート上では行列やセルの削除を編集のためにおこなうことはできます。ですが、シート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」において、行列やセルの削除は絶対やらないでください。重ねてご注意申し上げます。

【図7】



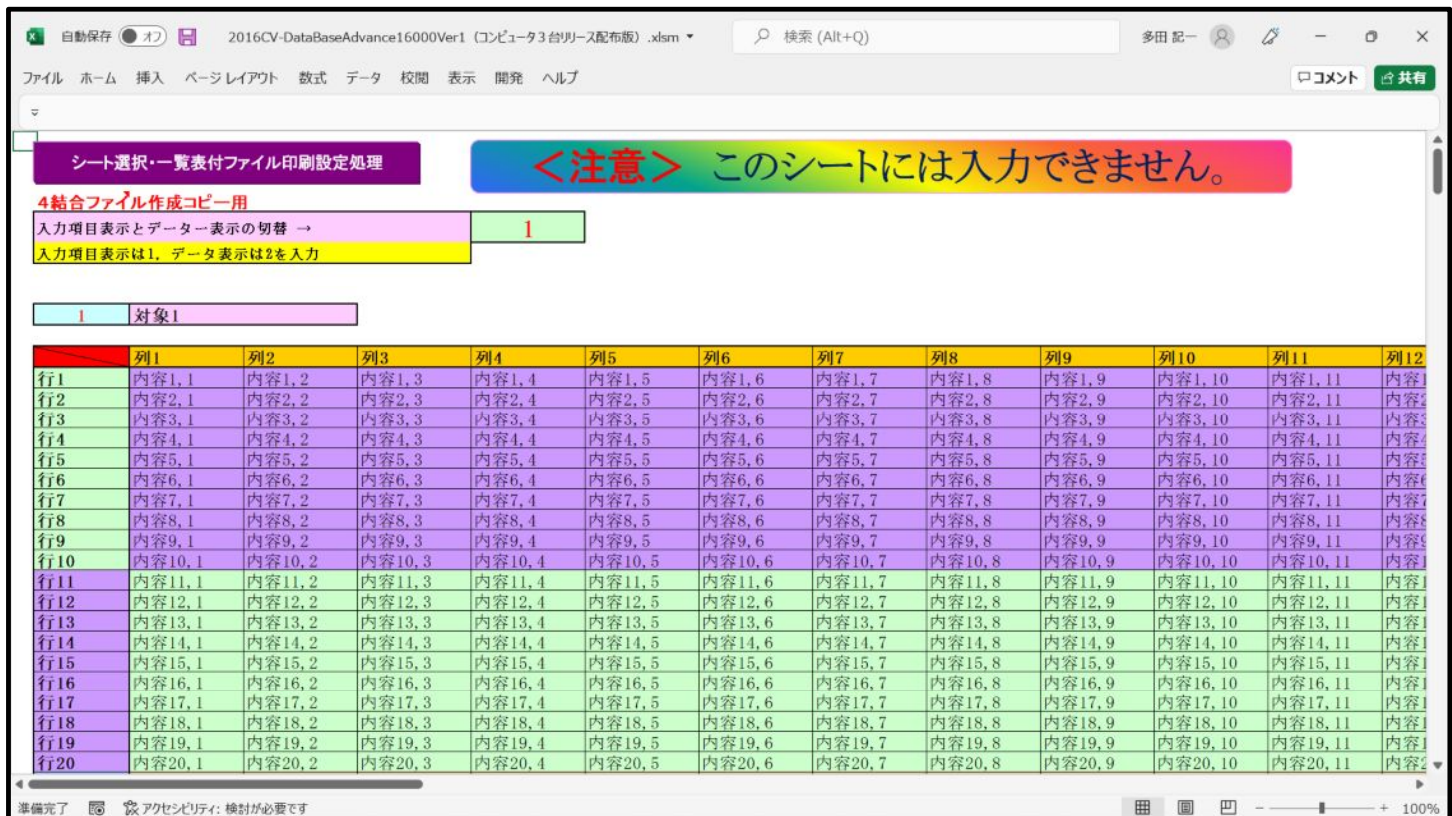
因みにファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm

のシート「4 結合ファイル作成コピー用」を示すと次の【図8】の画面のようになります。

これと比較して、シート「ファイル作成コピー用 6 3 結合」は見かけ上も機能の面でも大きく変更されています。

【図8】



(2) ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.60.xlsm の場合：

これらの 62 個のデータファイルは全て同じですので、
ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.60.xlsm
のうち、代表してファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を用いて説明させていただきます。

ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
を開いてユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録

を選択すると次の[図9]の画面ようになります。

[図9]



上の[図9]の画面のコマンドボタン

Fileの登録シート選択

をクリックすると、次の[図10]の画面のようになりシート「Fileの登録」が選択できます。

このシートは、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xlsm

およびファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のデータファイルのドライブ、フォルダー名、ファイル名の管理、ファイルの開閉状況を管理するためのシートです。

[図 1 0]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理				
Fileの登録				
NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	☐

3. 2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm と異なるユーザーフォームの部分：

- （1）ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm の場合：

ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

を開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ DataFile開閉等 を選択すると次の[図 1 1]の画面ようになります。

[図11]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ「DataFile開閉等」を選択した上の[図11]の画面の部分がファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

と異なるユーザーフォームの部分です。タブ「DataFile開閉等」の右側の全てのタブは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm

と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブ「DataFile開閉等」で表示されているコマンドボタン

CallDataFileの登録シート選択

については既に説明済みですので、これ以外のタブ「DataFile開閉等」のユーザーフォームのコマンドボタンの機能等について説明してまいります。

上のコマンドボタン

選択DataFileOpen処理呼出

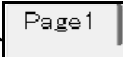
をクリックすると次の[図12]の画面になります。

[図 1 2]

上のユーザーフォーム[図 1 2]の画面はデータファイルを読み出すためのもので、タブが

Page1 | Page2 | Page3 | Page4 | Page5 | Page6 | Page7 の 7 個あり、そのうちのファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

のファイルを読み出すことができるタブ  が選択されている状態です。

の部分で読み出したいファイルにチェックを入れて、例えば、

- ☒ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.7.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.8.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.9.xlsm
- ☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.10.xlsm

選択DataFileオープン処理

としてコマンドボタン **選択DataFileオープン処理** をクリックすると、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の呼び出しが開始されます。呼び出しが開始されると、次の立ち上がり画面である[図 1 3]の画面が表示されます。

[図 1 3]



使用開始

上の[図 1 3]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 1 4]の画面が表示された後その次の[図 1 5]の画面のが表示されます。

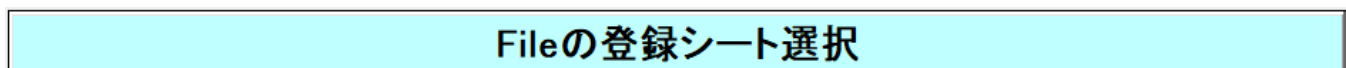
【図 1 4】



【図 1 5】



そして上の【図 1 5】の画面のコマンドボタン



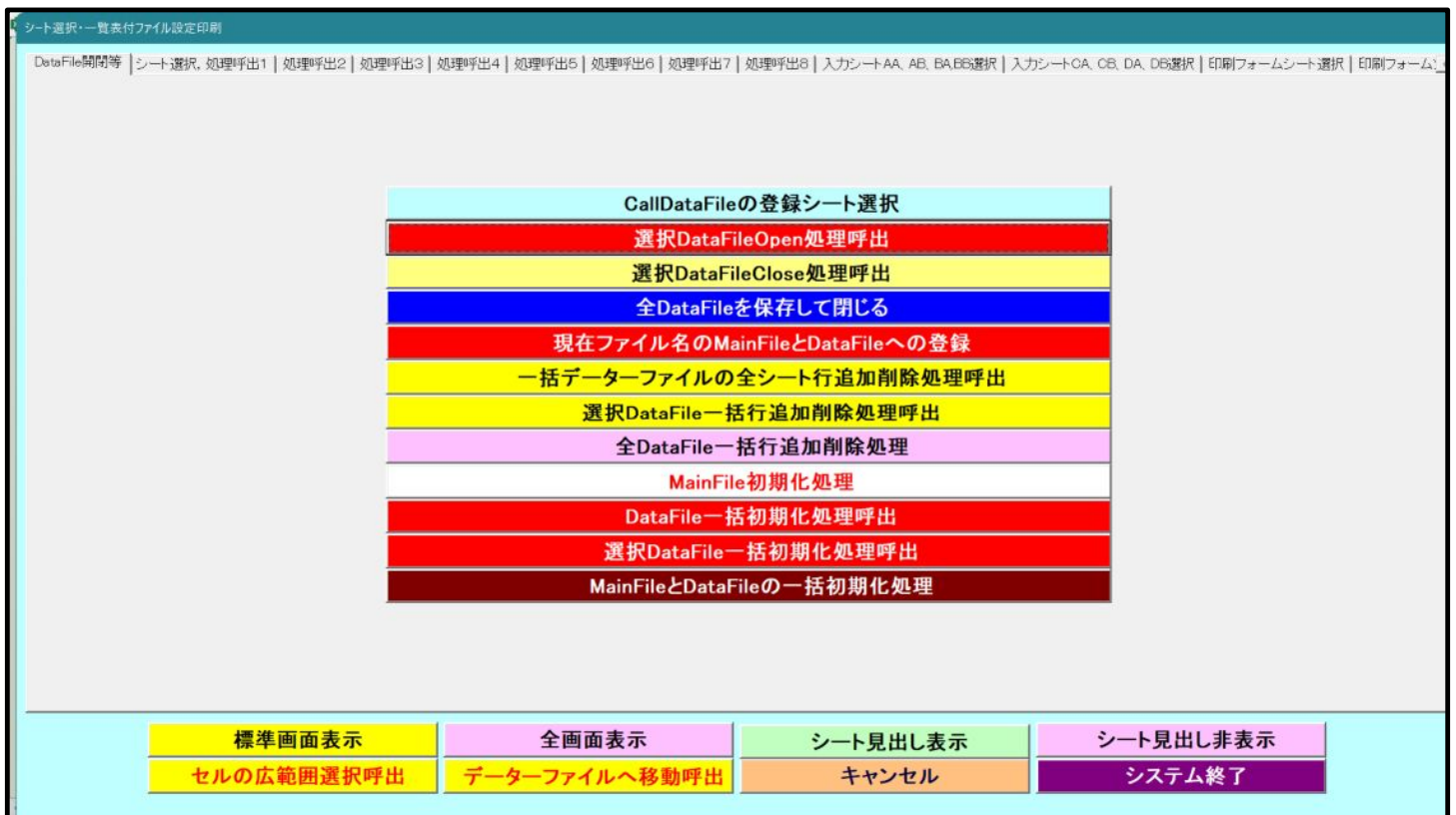
をクリックすると引き続き次の【図 1 6】の画面が表示されます。

[図 1 6]



そしたら[図 1 6]の画面の**シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ**をクリックすると次の[図 1 7]の画面になり、ファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 の呼び出しが完了と「なります。

[図 1 7]



なお、このユーザーフォームでは、62個のデータファイルにチェックを入れて62個のデータファイルを同時に呼び出すことのような形も可能なようにも思いますが、それは今のPCのスペックでは不可能です。私どものPCは基本速度2.8GB、最高速度4.7GBのCPU搭載で32GBのメモリー搭載のPCで呼び出し処理のテストをしましたが、入力シートのレコードがデフォルトの50でデータは何も入力していない全く初期状態でデータファイルを読み出す場合、せいぜい20個を同時に呼び出すのが限界でした。ましてや入力シートのレコード数を増やし、また、実際にデータを入力した場合は、同時にデータファイルを読み出す個数はもっともっと制限されてしまいますのでご承知おきください。

次に[図11]の画面のcommandボタン

選択DataFileClose処理呼出

をクリックすると次の[図18]の画面になります。

[図18]

選択DataFileClose処理

Page1 | Page2 | Page3 | Page4 | Page5 | Page6 | Page7

開かれているDataFileファイルと閉じる処理

<現在開いているDataFile>

NO.1	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	DataFileNO.1を閉じる
NO.2		DataFileNO.2を閉じる
NO.3		DataFileNO.3を閉じる
NO.4		DataFileNO.4を閉じる
NO.5		DataFileNO.5を閉じる
NO.6		DataFileNO.6を閉じる
NO.7		DataFileNO.7を閉じる
NO.8		DataFileNO.8を閉じる
NO.9		DataFileNO.9を閉じる
NO.10		DataFileNO.10を閉じる

注意

表示されていないファイルは開かれておりません。

開いている全てのDataFileを閉じる

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

上の[図18]の画面のユーザーフォームは、ファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版）.xlsm
に備わったデータファイルを読み出すマクロによって開かれているデータファイルを閉じる処理をおこなうマクロです。この画面ではデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
が開かれた状態です。
データファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を閉じるには、[図18]の画面のcommandボタン

DataFileNO.1を閉じる

 をクリックするとファイルを保存して閉じることができます。なお、ファイルを保存しないで閉じるには、先ず、[図11]の画面のcommandボタン

データファイルへ移動呼出

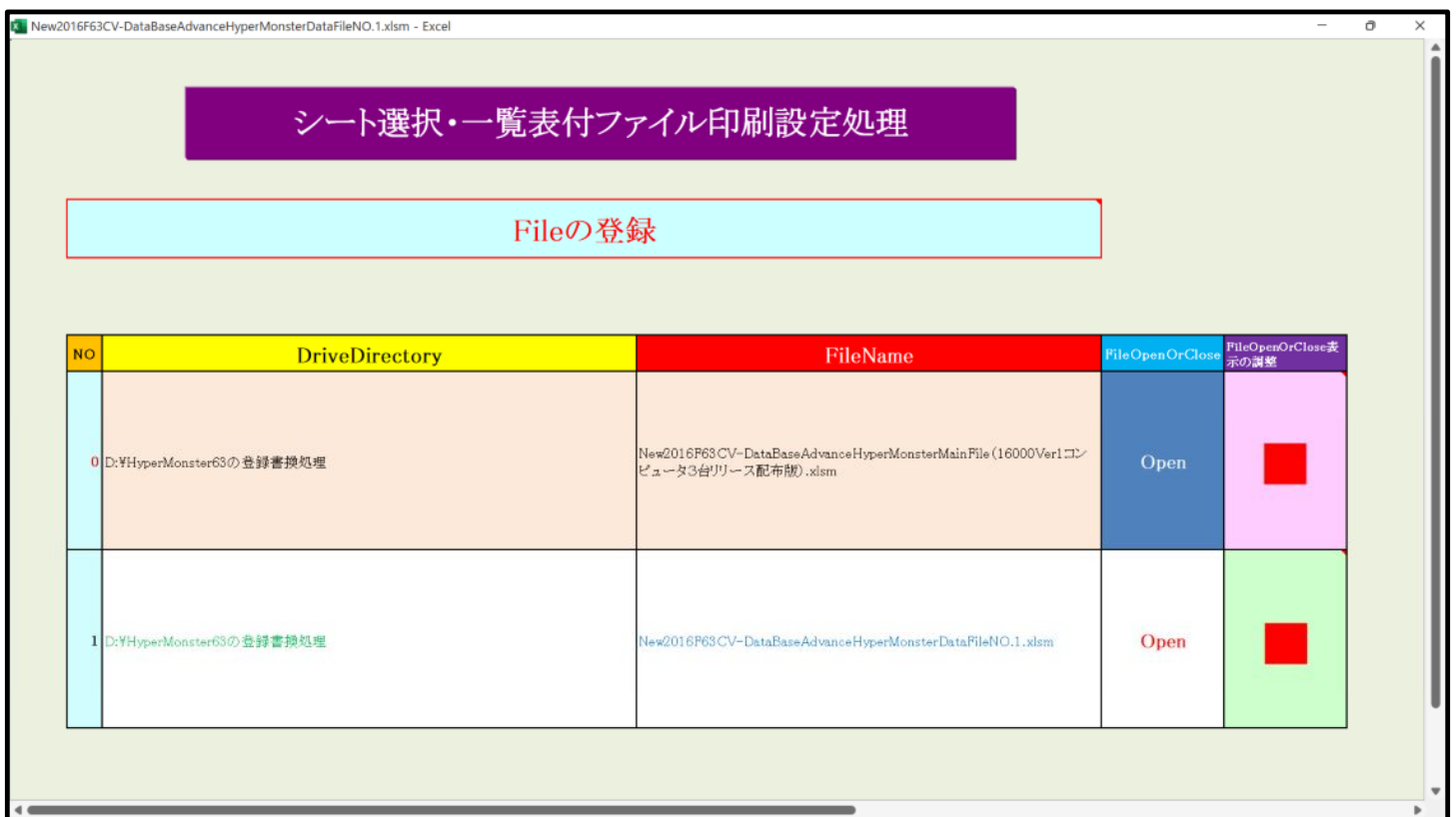
 をクリックし、次の[図19]のユーザーフォームの画面を表示させます。

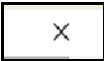
[図 1 9]

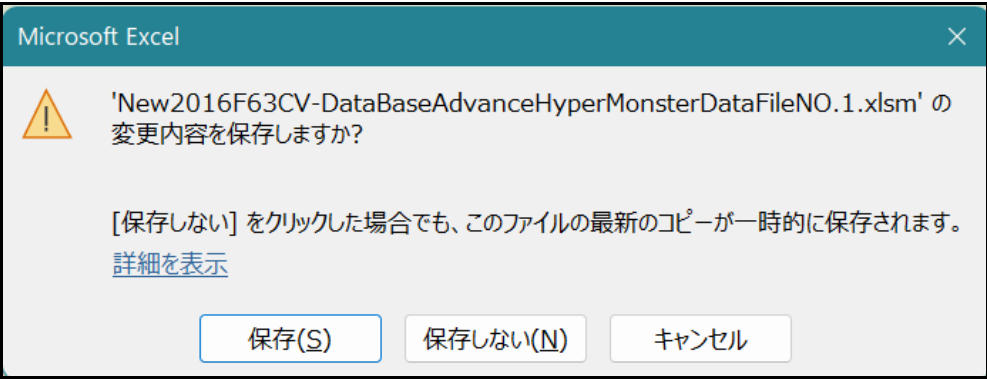


そして、上の[図 1 9]の画面のcommandボタン **DataFileNO.1へ移動** をクリックして、次の[図 2 0]の画面のようにファイル **New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm** のシート「Fileの登録」を表示させます。

[図 2 0]



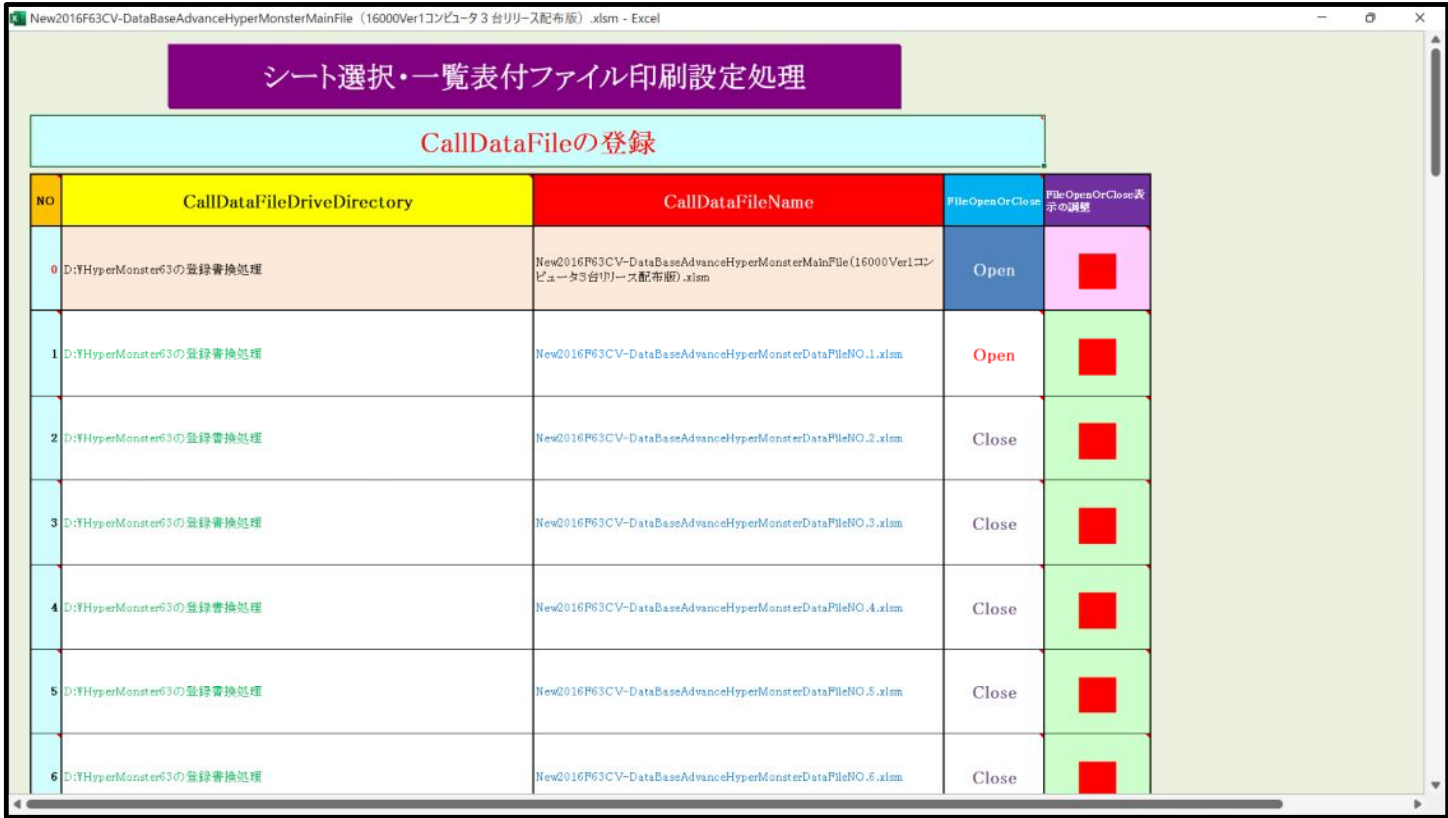
そしたら、[図 2 0]の画面の右上のの部分をクリックすると、メッセージ



が表示されますので  をクリックしてファイルを閉じてください。
更にファイル

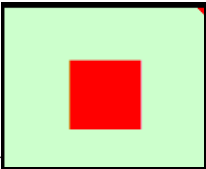
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
のシート「CallDataFile の登録」を表示させて次の[図 2 1]の画面のようにします。

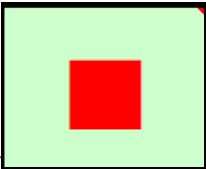
[図 2 1]



そして、上の[図 2 1]の画面の

1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	
---	--------------------------	---	------	---



の部分の最も右側のセルをダブルクリックして、シート「CallDataFile の登録」の状況を上の[図 2 1]の画面の状況から次の[図 2 2]の画面の状況に必ず変更してください。

[図 2 2]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理				
CallDataFileの登録				
NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xism	Close	☐
2	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xism	Close	☐
3	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xism	Close	☐
4	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xism	Close	☐
5	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xism	Close	☐
6	D:\HyperMonster63の登録書換処理\新しいフォルダー	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xism	Close	☐

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

全DataFileを保存して閉じる

をクリックすると、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xism

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、開いているデータファイルを全て保存して閉じることができます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xism

に備わっているマクロを通して開いているデータファイルがある場合、それらの全てのデータファイルのシート「File の登録」とファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xism

のシート「CallDataFile の登録」に現在のファイル名を登録することができ、今後改めてファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xism

を立ち上げた場合、登録したファイル呼び出して開くことができます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

一括データファイルの全シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 2 3]の画面になります。

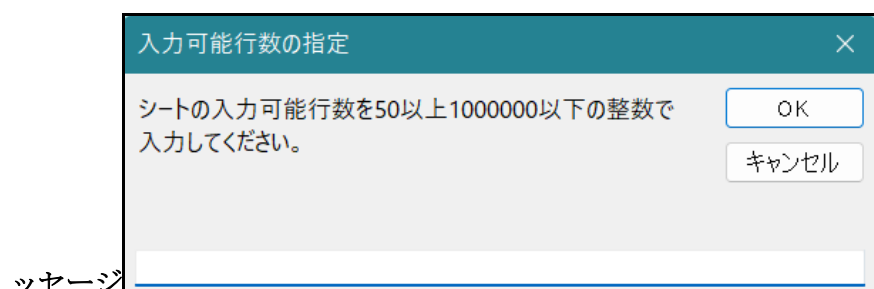
この場合、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
に備わったマクロ機能によって2つのデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
と
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
が呼び出されファイルが開かれています。

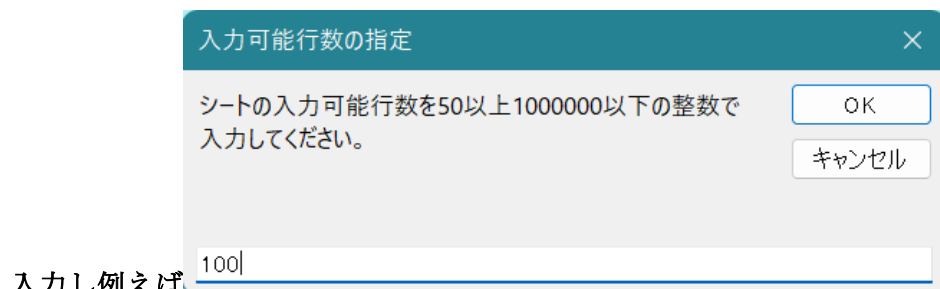
【図 2 3】



上の【図 2 3】の画面のの**DataFileNO.1の行追加削除処理**をクリックするとメ



ッセージが表示されますが入力シートの行数を下側に



入力し例えばと入力してボタンをクリックすると DataFileNO.1 の 80-枚の全ての入力シートの入力可能行数が 100 に設定されます。

コマンドボタン**DataFileNO.2の行追加削除処理**をクリックして、同様に DataFileNO.2 の 80 枚の全ての入力シートの入力行数を設定できます。

全DataFile一括行追加削除処理

入力可能行数の指定

シートの入力可能行数を50以上1000000以下の整数で入力してください。

OK

キャンセル

入力可能行数の指定

シートの入力可能行数を50以上1000000以下の整数で入力してください。

OK

キャンセル

500

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

選擇DataFile一括行追加削除處理呼出

[图 24]

[illegible]

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm
がファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布
版）.xlsm
に備わったマクロ機能によって開かれています。

1 行追加削除処理DataFileの選択（次のページにもシート選択あり）

☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	☐
☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm	☐
☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐

で入力シートの入力可能行数そ設定をおこないたいファイルにチェックを入れて、

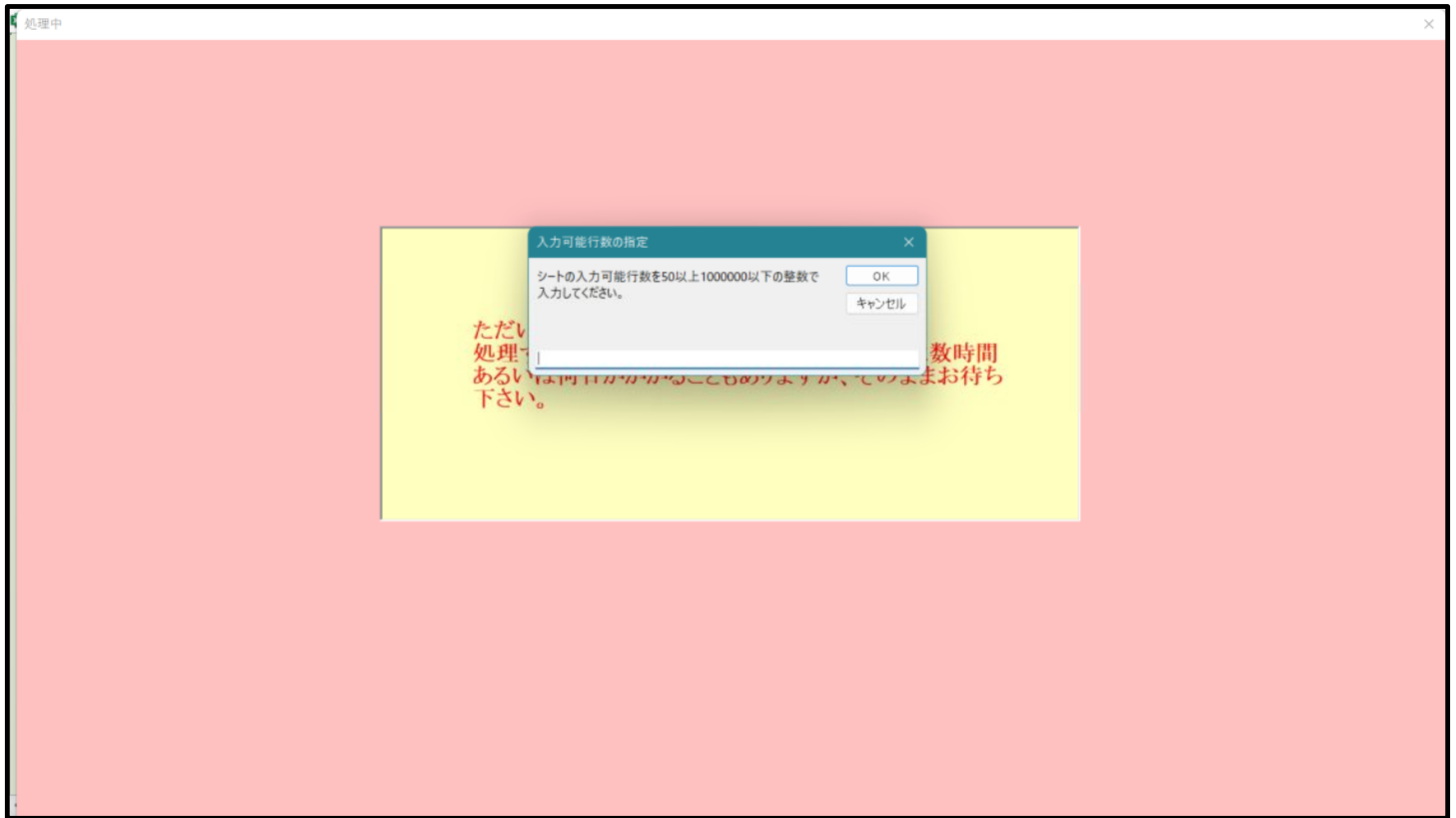
1 行追加削除処理DataFileの選択（次のページにもシート選択あり）

☒ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	☐
☐ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm	☐
☒ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐
☐	☐

選択DataFile行追加削除処理開始

として上の次の[図 2 4]の画面のコマンドボタンをクリック
すると次の[図 2 5]の画面のようにメッセージが表示されます。

[図 2 5]



上の[図 2 5]の画面のでメッセージの入力欄に

入力可能行数の指定

シートの入力可能行数を50以上1000000以下の整数で入力してください。

OK

キャンセル

150

と入力し、ボタン をクリックするとファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

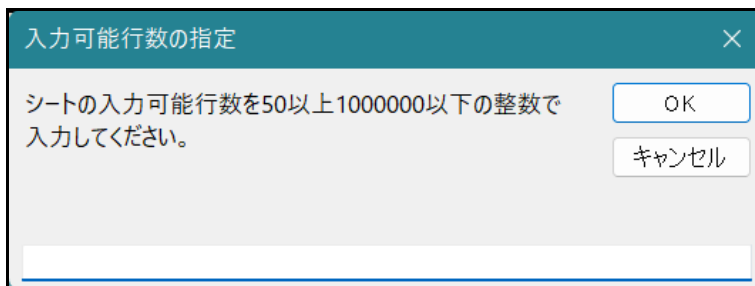
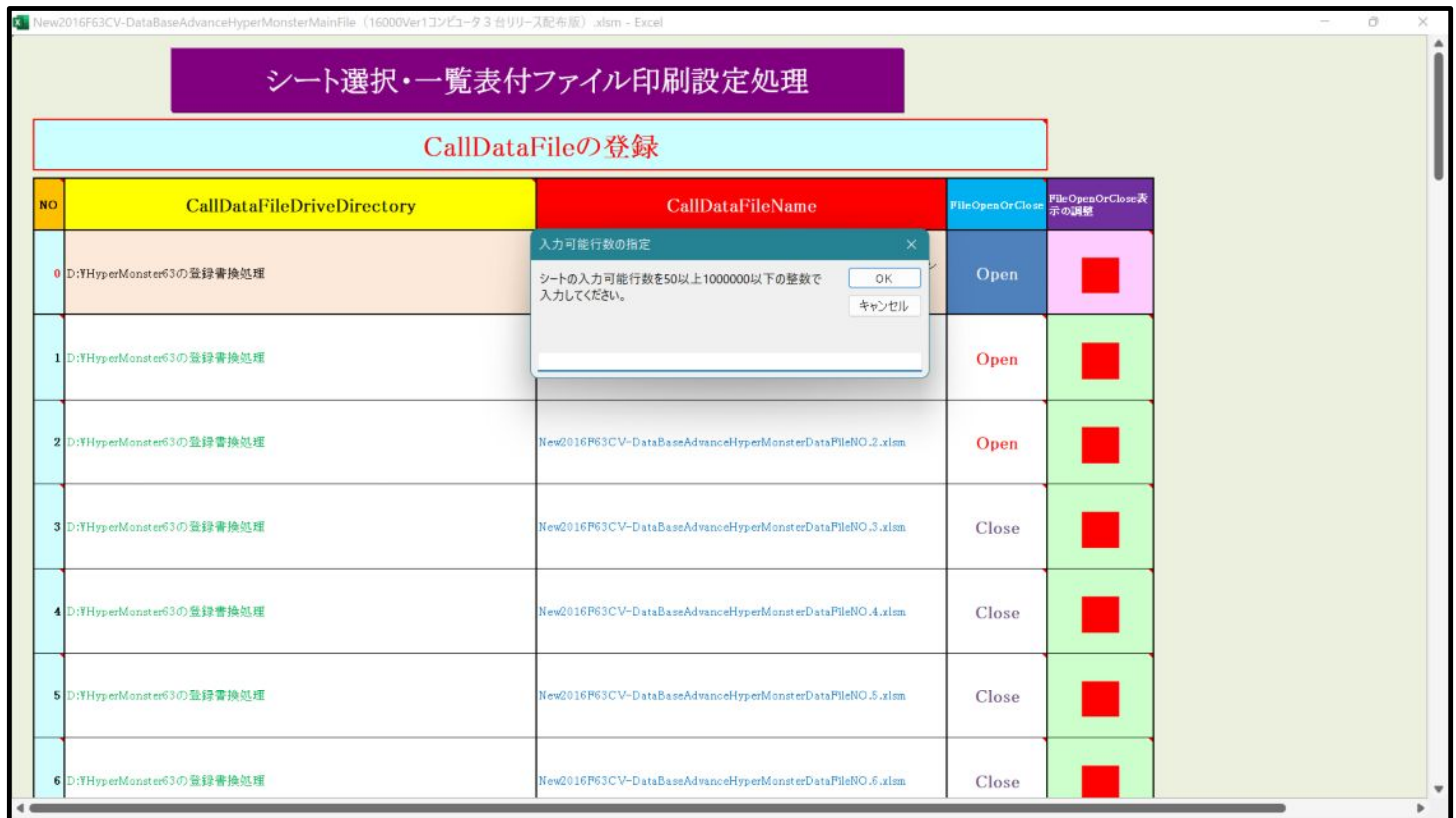
の 80 枚の全ての入力シートの入力可能行数を 150 行に設定できます。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

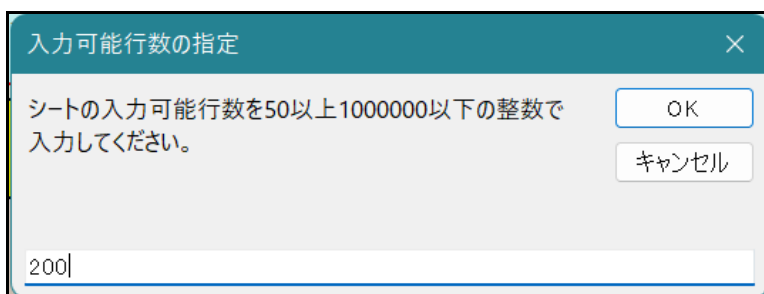
全DataFile一括行追加削除処理

をクリックすると、次の[図 2 6]の画面のようにメッセージが表示されます。

[図 2 6]



の下側の入力欄に



と入力してボタン をクリックすると

開かれている全てのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定できます。

今データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

が開かれているので、この 2 つのデータファイルの 80 枚全て入力シートの入力可能行数を 200 に設定されます。

次に[図 1 1]の画面の Command ボタン



について説明します。

メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のファイル名を変更し、

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

とし、様々な編集をおこなったとします。

コマンドボタン

MainFile初期化处理

をクリックすると下の[図 2 7]の画面が表示され、ファイル名

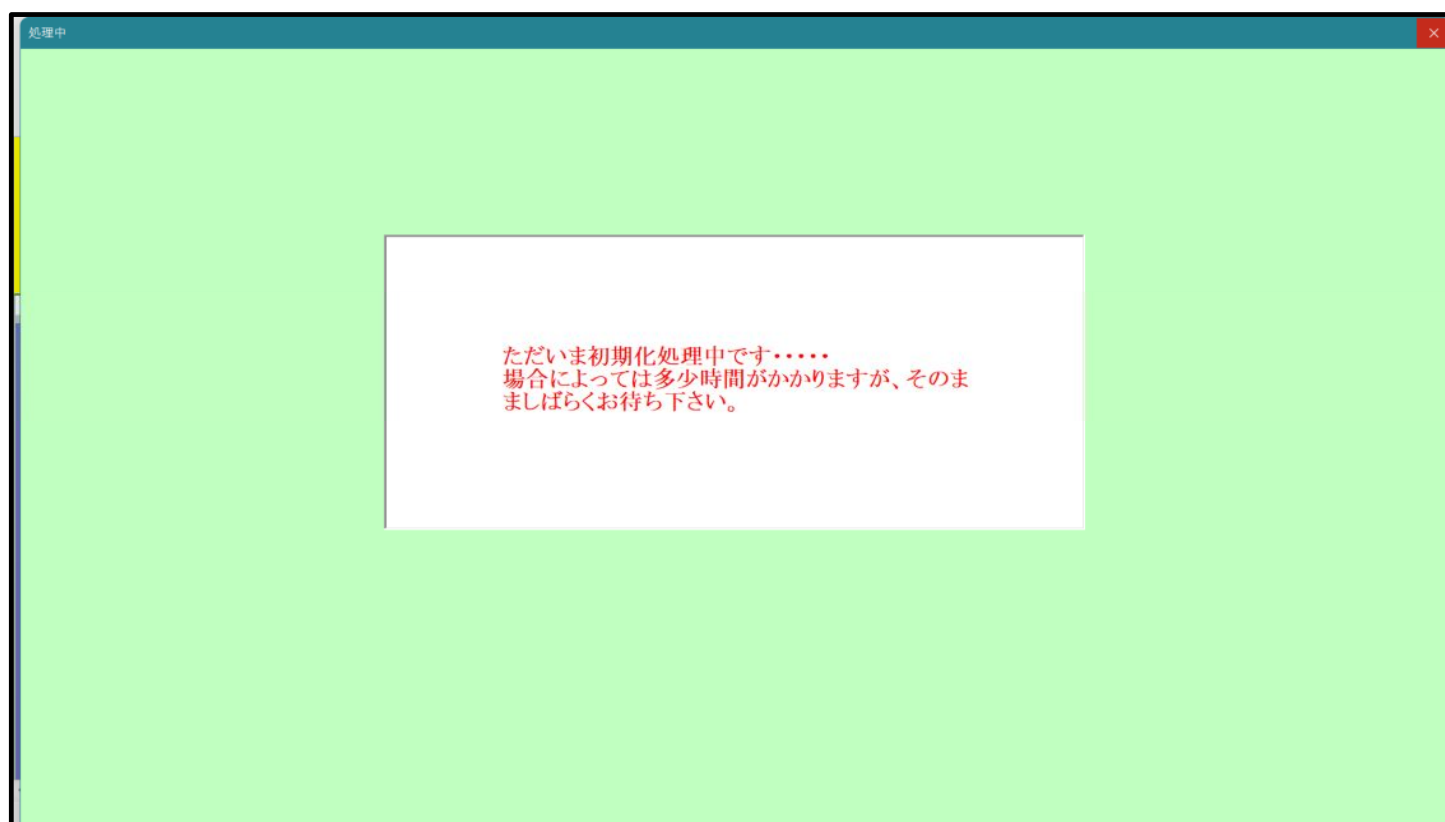
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻す処理が実行されます。処理が完了すると、その下の[図 2 8]の画面が表示されます。

[図 2 7]



[図 2 8]



なお、この処理が完了したら、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックして、必ずメインファイルと関連するデータファイルへ、ファイル名の登録をおこなってください。

ファイル名

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (テスト用) .xlsm

をこのファイル名の初期設定

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のファイル名に変更するとともに、様々な編集をおこなった状態も、購入したときの状態に戻ります。

次に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

DataFile一括初期化处理呼出

について説明します。

データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能によって 2 つのデータファイルが開かれているとします。

この状況でコマンドボタン

DataFile一括初期化处理呼出

をクリックすると次の[図 2 9]の画面が表示されます。

[図 2 9]



上の[図 2 9]の画面のcommandボタン **DataFileNO.1の初期化処理** をクリックすると、
データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

の初期化がおこなわれ、ファイル名が

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

また、上の[図 2 9]の画面のcommandボタン **DataFileNO.2の初期化処理** をクリックすると、
データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化がおこなわれ、ファイル名が

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

に変更されるとともに、編集されたファイルの状況が購入された時点の状況に初期化処理されます。

更にデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のファイル名を変更し、それぞれ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名になっており、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなったとします。

そしてメインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

に備わっているマクロ機能によって 2 つのデータファイルが開かれているとします。

この状況で上の[図 2 9]のcommandボタン **全DataFile一括初期化処理** をクリックすると、

2 つのデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

選択DataFile一括初期化処理

Page1 | Page2

2 処理

全シート選択

全チェックキャンセル

選択DataFile初期化処理開始

頁内全シート選択

頁内全チェックキャンセル

<注意> 表示されていないDataFileは開かれておりません。また、表示されていないDataFileをチェックしても初期化処理はされません。

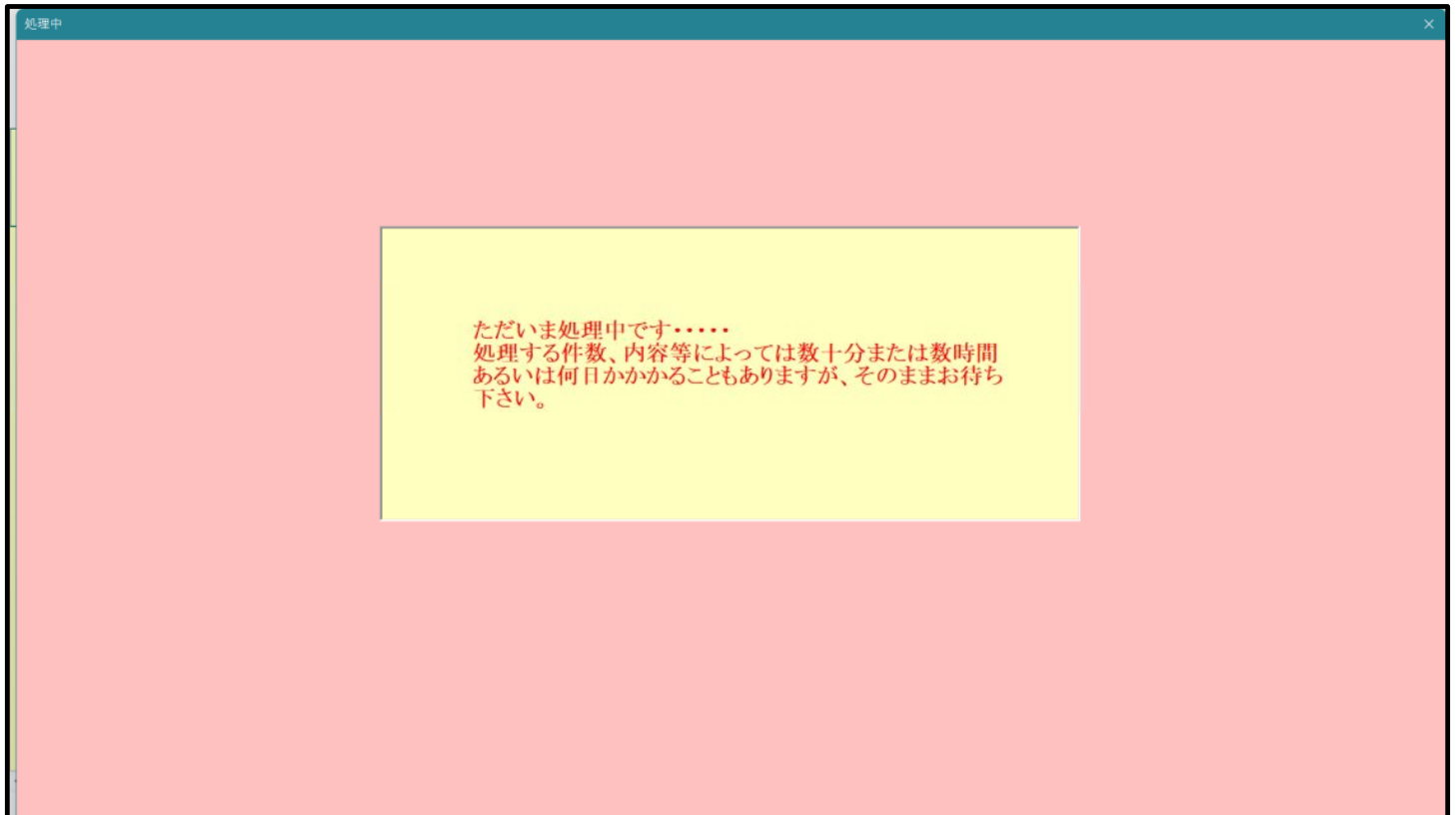
1 初期化処理DataFileの選択（次のページにもシート選択あり）

☐ New2016P63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xlsm
☐ New2016P63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2テスト用.xlsm
☐ New2016P63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3テスト用.xlsm

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

【図 3 1】



【図 3 2】



この初期化によって、2つのデーターファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3 テスト用.xlsm

のファイル名が、それぞれ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm

に変更されるとともに、このファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化处理されます。

最後に[図 1 1]の画面のコマンドボタン

MainFileとDataFileの一括初期化处理

について説明します。

このコマンドボタンをクリックすると、メインファイルとファイルに備わったマクロ機能で呼び出されている全てのデータファイルの初期化がおこなわれます。

例えば、メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のファイル名を変更して

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

として様々な編集をおこない、また、この変更したメインファイルに備わってるマクロ機能を用いて2つのデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

を呼び出して、この2つデータファイルでも様々な編集をおこなっていたとします。

このような状況のもとで、コマンドボタン

MainFileとDataFileの一括初期化处理

をクリックするとメインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

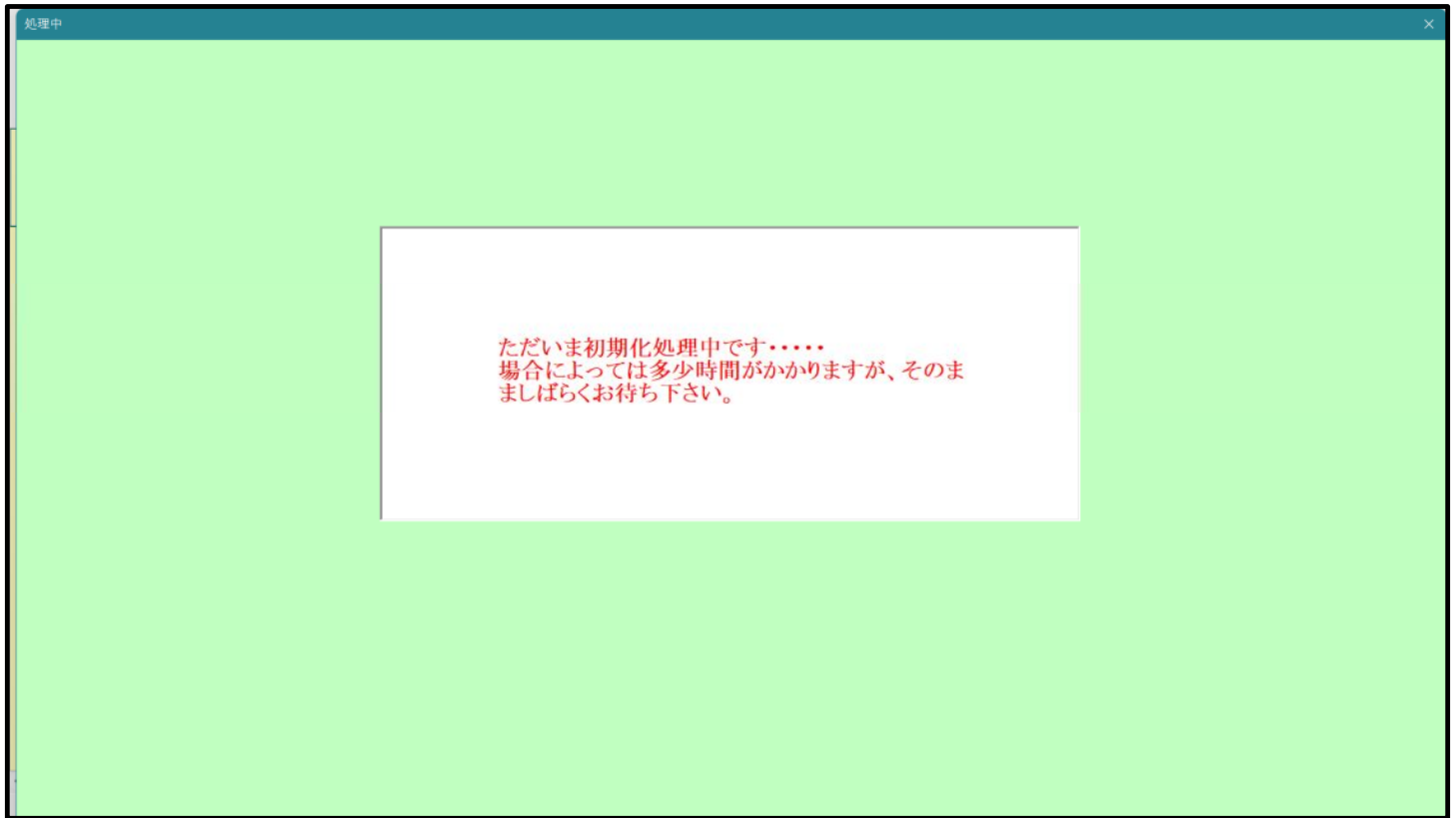
および2つのデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

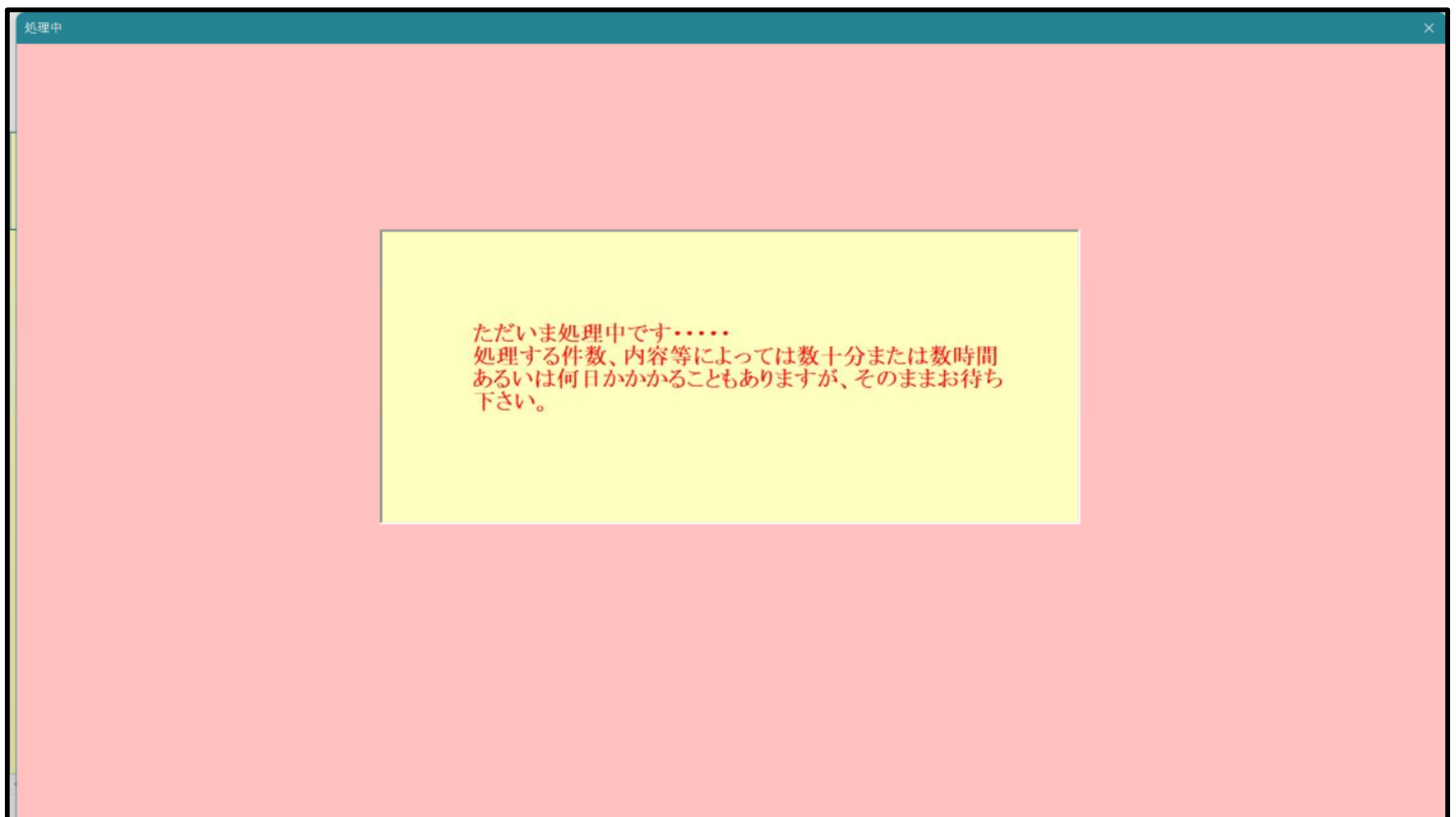
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

の初期化が開始されます。開始されると、次の[図 3 3]の画面が表示された後、[図 3 4]の画面が表示され、更にその次の[図 3 5]の画面が表示されたら初期化が完了となります。

【図 3 3】



【図 3 4】



[図 3 5]



この初期化によって、メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)
テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版).xlsm
に

データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

に

データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2 テスト用.xlsm

のファイル名は

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

にそれぞれ変更されるとともに、これらのファイル名で様々なファイルの編集をおこなっていたら、編集されたファイルの状況を購入された時点の状況に初期化处理されます。

(2) ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm の場合：

ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm～

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.62.xlsm

のどのデータファイルについても同じなので、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を用いて説明いたします。

ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

はもともと原則的にはメインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能用いて開くべきファイルです。メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能用いてファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

開いていき、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録を選択すると次の[図 3 6]の画面ようになります。

[図 3 6]



ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷処理」のタブ

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録を選択した上の[図 3 6]の画面の部分がファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

と異なるユーザーフォームの部分です。

タブFileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録の右側の全てのタブは、ファイル

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1（コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

と全く同じユーザーフォームで機能も全く同じです。

タブFileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録で表示されているコマンドボタン

Fileの登録シート選択

については既に説明済みですので、上のコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

について説明いたします。

このコマンドボタンは、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

またはこのフェイル名を変更した場合、そのファイル名をメインファイルおよびそのデータファイルに登録して、今後改めて、メインファイルを通してそのデータファイル呼び出しておこなうことができるようにするためのものです。

例えば、メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能用いてファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

呼び出し、データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のファイル名を

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

と変更した場合、ファイルを一旦閉じて再びメインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

に備わったマクロ機能用いてファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

を呼び出して開くにはメインファイルとデータファイルに登録が必要で、そのための登録用のマクロボタンです。

メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm

のシート「CallDataFile の登録」

と

データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「File の登録」の状況がそれぞれ次の[図 3 7]、[図 3 8]の画面のようになっていたとします。

[図 3 7]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理				
CallDataFileの登録				
NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	File Open Or Close	File Open Or Close 表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	
2	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm	Close	
3	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xlsm	Close	
4	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xlsm	Close	
5	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xlsm	Close	
6	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xlsm	Close	

【図 3 8】

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm - Excel (応答なし)

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

Fileの登録

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xlsm	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm	Open	☐

そして今度は、データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のファイル名を

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

に変更してコマンドボタン

現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録

をクリックすると、メインファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「CallDataFile の登録」

と

データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1 テスト用.xlsm

のシート「File の登録」の状況はそれぞれ次の【図 3 9】、【図 4 0】の画面のようになります。

[図 3 9]

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

CallDataFileの登録

NO	CallDataFileDriveDirectory	CallDataFileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xism	Open	☐
2	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xism	Close	☐
3	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.3.xism	Close	☐
4	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.4.xism	Close	☐
5	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.5.xism	Close	☐
6	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.6.xism	Close	☐

[図 4 0]

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

Fileの登録

NO	DriveDirectory	FileName	FileOpenOrClose	FileOpenOrClose表示の調整
0	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile(16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism	Open	☐
1	D:\HyperMonster63の登録書換処理	New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1テスト用.xism	Open	☐

このセルをクリックするの表示がきには「C」「Close」(「Open」)します。

4. ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を用いて、最大 1,000,000 レコード 1008,000 フィールドのデータの中から必要なデータを取り出してシステムに組み込まれたマクロ機能を用いて、データを次々変更しながら、印刷したり、また、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信するシステムを構築する方法:

ここでは、単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「一学期中間考査個票」と

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する「修正前期募集校長宛可否通知書」を作成して説明してまいります。

(1) データファイルのデータの入力等について:

「一学期中間考査個票」を作成するためにデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を選択します。そして Esc を押すと標準画面となり、次の[図 4 1]の画面のようになります。

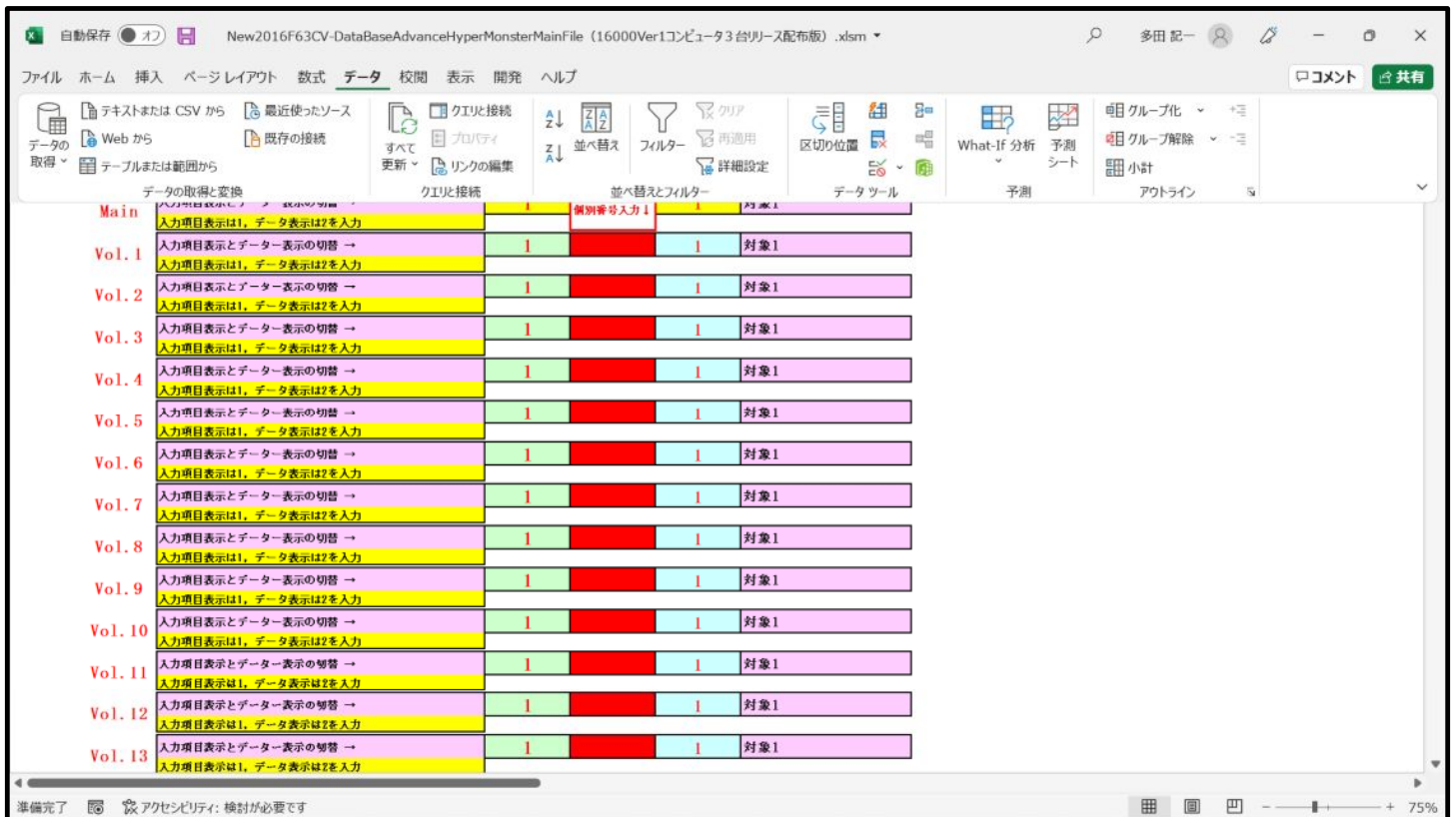
[図 4 1]



そして更に、上の[図 4 1]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

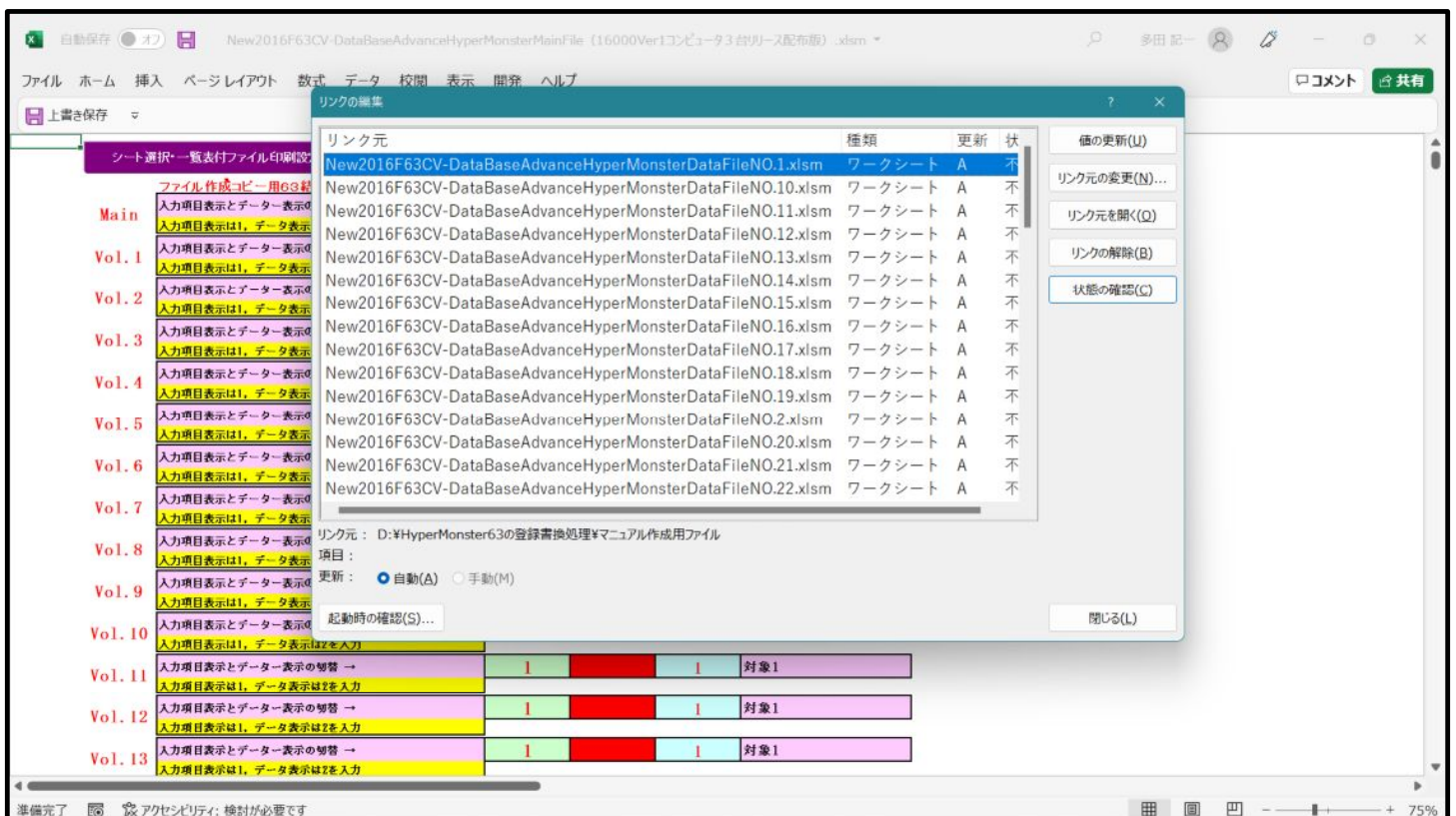
を解除し、**データ** を選択すると、次の[図 4 2]の画面のようになります。

【図 4 2】



更に上の【図 4 2】の画面の リンクの編集 の部分を選択すると次の【図 4 3】の画面のようになります

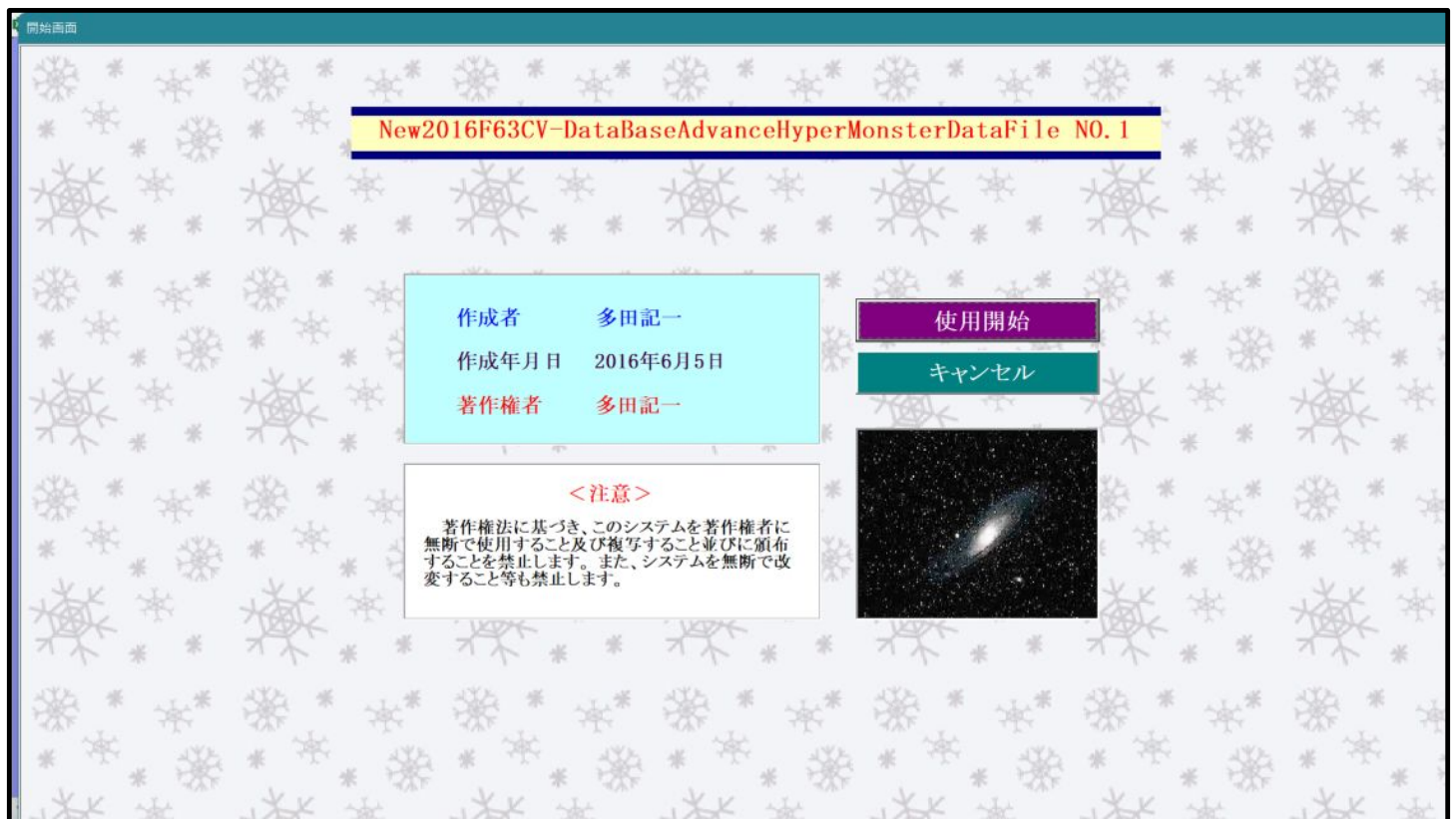
【図 4 3】



上の【図 4 3】の画面のボタン リンク元を開く(Q) をクリックするとリンク元のファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
開かれてまいります、最初に次の[図 4 4]の画面が表示されます。

[図 4 4]



上の[図 4 4]の画面のコマンドボタン

使用開始

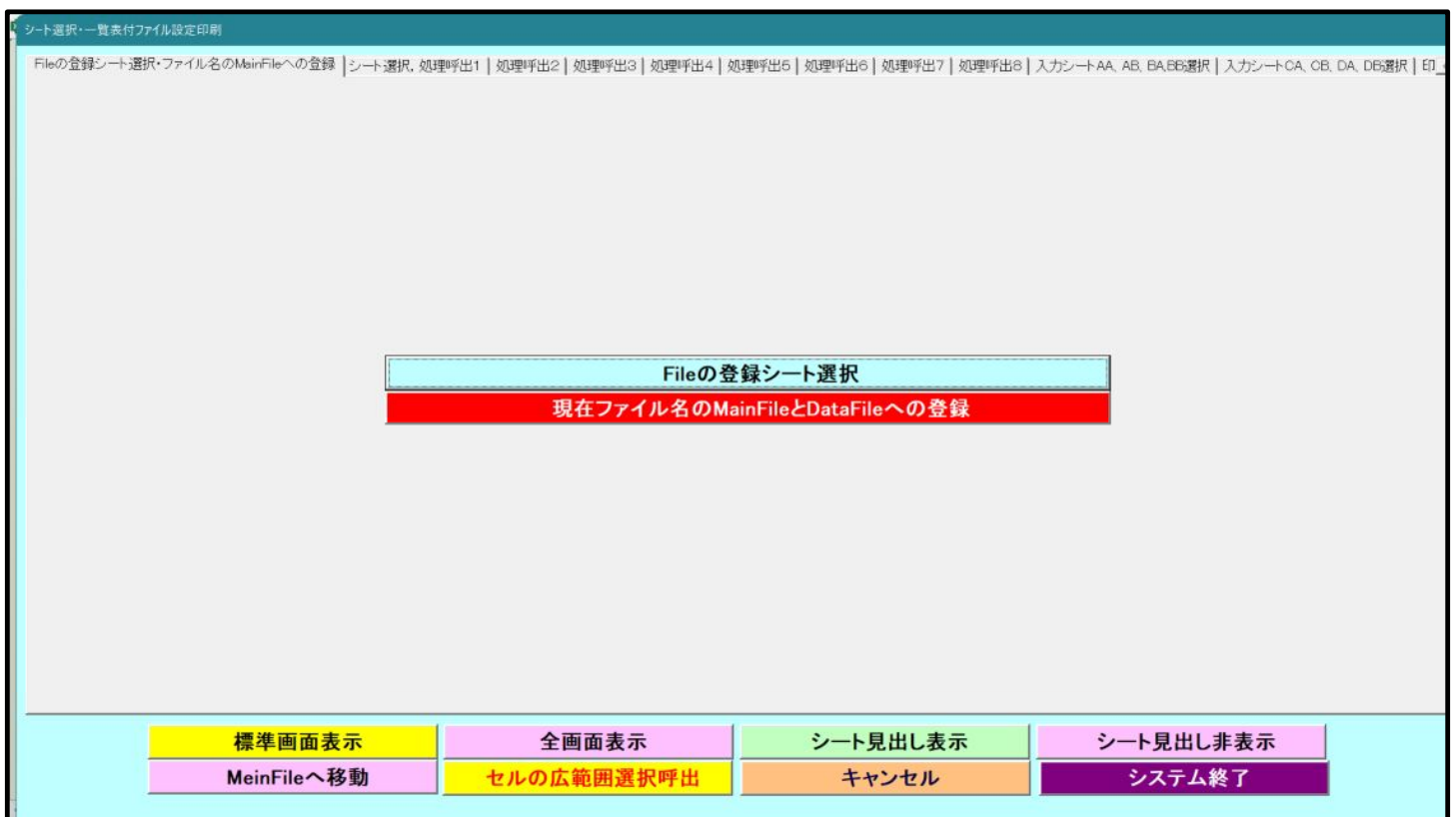
をクリックすると次の[図 4 5]

の画面が表示された後、その次の[図 4 6]の画面が表示されます。

【図 4 5】



【図 4 6】



上の【図 4 6】の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の【図 4 7】の画面になります。

[図 4 7]

シート選択・一覧表示ファイル設定印刷			
Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 [シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA,BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷]			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の[図 4 7]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックすると次の[図 4 8]の画面になります。但し[図 4 8]の画面は表示倍率が 50%のものです。

[図 48]

[illegible]

そして次の[図 4 9]の画面のように

39 入力AA1一学期中間考査

の部分の右側のセルの値を変更し、セル **39** をダブルクリックすると入力シート「入力 AA1」のシート名が「入力 AA1 一学期中間考査」に変更され入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」が選択され、下の [図 5 0] の画面のようになります。

[図 4 9]

The screenshot displays the Excel application interface. The title bar shows the file name 'New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNo.1.xlsx'. The ribbon includes '自動保存' (AutoSave), 'オフ' (Off), '検索' (Search), and '多田 配一' (Tadai Hieiichi). The '入力 AA1' worksheet is selected, showing a table with columns for 'シート名・インターフェース表名' and 'シート名'. The table lists various data points, including '入力AA1' and '入力AA2'. The status bar at the bottom indicates '準備完了' (Ready) and 'アクセンシティ: 検計が必要です' (Accessibility: Calculation required).

【図 5 0】



引き続き上の【図 5 0】の画面の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックすると、次の【図 5 1】の画面のようになります。

【図 5 1】



項目表示入力A

上の[図 5 1]の画面の「項目表示入力A」をクリックすると次の[図 5 2]の画面のようになりますが、入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の項目表示を設定します。

[図 5 2]

自動保存 印刷 New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択一覧表示ファイル印刷設定処理 編集上の注意呼び出し

項目表示入力A

<注意>
行と列のクロスするセルにフィールド名を入力しますが、システムが正常に作動しなくなるケースが出てきますので、無入力あるいは空白セルは絶対につくらないようにして下さい。なお、同じ名前のフィールド名も避けるようにして下さい。

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19
行403	内容403.1	内容403.2	内容403.3	内容403.4	内容403.5	内容403.6	内容403.7	内容403.8	内容403.9	内容403.10	内容403.11	内容403.12	内容403.13	内容403.14	内容403.15	内容403.16	内容403.17	内容403.18	内容403.19
行404	内容404.1	内容404.2	内容404.3	内容404.4	内容404.5	内容404.6	内容404.7	内容404.8	内容404.9	内容404.10	内容404.11	内容404.12	内容404.13	内容404.14	内容404.15	内容404.16	内容404.17	内容404.18	内容404.19
行405	内容405.1	内容405.2	内容405.3	内容405.4	内容405.5	内容405.6	内容405.7	内容405.8	内容405.9	内容405.10	内容405.11	内容405.12	内容405.13	内容405.14	内容405.15	内容405.16	内容405.17	内容405.18	内容405.19
行406	内容406.1	内容406.2	内容406.3	内容406.4	内容406.5	内容406.6	内容406.7	内容406.8	内容406.9	内容406.10	内容406.11	内容406.12	内容406.13	内容406.14	内容406.15	内容406.16	内容406.17	内容406.18	内容406.19
行407	内容407.1	内容407.2	内容407.3	内容407.4	内容407.5	内容407.6	内容407.7	内容407.8	内容407.9	内容407.10	内容407.11	内容407.12	内容407.13	内容407.14	内容407.15	内容407.16	内容407.17	内容407.18	内容407.19
行408	内容408.1	内容408.2	内容408.3	内容408.4	内容408.5	内容408.6	内容408.7	内容408.8	内容408.9	内容408.10	内容408.11	内容408.12	内容408.13	内容408.14	内容408.15	内容408.16	内容408.17	内容408.18	内容408.19
行409	内容409.1	内容409.2	内容409.3	内容409.4	内容409.5	内容409.6	内容409.7	内容409.8	内容409.9	内容409.10	内容409.11	内容409.12	内容409.13	内容409.14	内容409.15	内容409.16	内容409.17	内容409.18	内容409.19
行410	内容410.1	内容410.2	内容410.3	内容410.4	内容410.5	内容410.6	内容410.7	内容410.8	内容410.9	内容410.10	内容410.11	内容410.12	内容410.13	内容410.14	内容410.15	内容410.16	内容410.17	内容410.18	内容410.19
行411	内容411.1	内容411.2	内容411.3	内容411.4	内容411.5	内容411.6	内容411.7	内容411.8	内容411.9	内容411.10	内容411.11	内容411.12	内容411.13	内容411.14	内容411.15	内容411.16	内容411.17	内容411.18	内容411.19
行412	内容412.1	内容412.2	内容412.3	内容412.4	内容412.5	内容412.6	内容412.7	内容412.8	内容412.9	内容412.10	内容412.11	内容412.12	内容412.13	内容412.14	内容412.15	内容412.16	内容412.17	内容412.18	内容412.19
行413	内容413.1	内容413.2	内容413.3	内容413.4	内容413.5	内容413.6	内容413.7	内容413.8	内容413.9	内容413.10	内容413.11	内容413.12	内容413.13	内容413.14	内容413.15	内容413.16	内容413.17	内容413.18	内容413.19
行414	内容414.1	内容414.2	内容414.3	内容414.4	内容414.5	内容414.6	内容414.7	内容414.8	内容414.9	内容414.10	内容414.11	内容414.12	内容414.13	内容414.14	内容414.15	内容414.16	内容414.17	内容414.18	内容414.19
行415	内容415.1	内容415.2	内容415.3	内容415.4	内容415.5	内容415.6	内容415.7	内容415.8	内容415.9	内容415.10	内容415.11	内容415.12	内容415.13	内容415.14	内容415.15	内容415.16	内容415.17	内容415.18	内容415.19
行416	内容416.1	内容416.2	内容416.3	内容416.4	内容416.5	内容416.6	内容416.7	内容416.8	内容416.9	内容416.10	内容416.11	内容416.12	内容416.13	内容416.14	内容416.15	内容416.16	内容416.17	内容416.18	内容416.19
行417	内容417.1	内容417.2	内容417.3	内容417.4	内容417.5	内容417.6	内容417.7	内容417.8	内容417.9	内容417.10	内容417.11	内容417.12	内容417.13	内容417.14	内容417.15	内容417.16	内容417.17	内容417.18	内容417.19
行418	内容418.1	内容418.2	内容418.3	内容418.4	内容418.5	内容418.6	内容418.7	内容418.8	内容418.9	内容418.10	内容418.11	内容418.12	内容418.13	内容418.14	内容418.15	内容418.16	内容418.17	内容418.18	内容418.19
行419	内容419.1	内容419.2	内容419.3	内容419.4	内容419.5	内容419.6	内容419.7	内容419.8	内容419.9	内容419.10	内容419.11	内容419.12	内容419.13	内容419.14	内容419.15	内容419.16	内容419.17	内容419.18	内容419.19
行420	内容420.1	内容420.2	内容420.3	内容420.4	内容420.5	内容420.6	内容420.7	内容420.8	内容420.9	内容420.10	内容420.11	内容420.12	内容420.13	内容420.14	内容420.15	内容420.16	内容420.17	内容420.18	内容420.19
行421	内容421.1	内容421.2	内容421.3	内容421.4	内容421.5	内容421.6	内容421.7	内容421.8	内容421.9	内容421.10	内容421.11	内容421.12	内容421.13	内容421.14	内容421.15	内容421.16	内容421.17	内容421.18	内容421.19
行422	内容422.1	内容422.2	内容422.3	内容422.4	内容422.5	内容422.6	内容422.7	内容422.8	内容422.9	内容422.10	内容422.11	内容422.12	内容422.13	内容422.14	内容422.15	内容422.16	内容422.17	内容422.18	内容422.19
行423	内容423.1	内容423.2	内容423.3	内容423.4	内容423.5	内容423.6	内容423.7	内容423.8	内容423.9	内容423.10	内容423.11	内容423.12	内容423.13	内容423.14	内容423.15	内容423.16	内容423.17	内容423.18	内容423.19
行424	内容424.1	内容424.2	内容424.3	内容424.4	内容424.5	内容424.6	内容424.7	内容424.8	内容424.9	内容424.10	内容424.11	内容424.12	内容424.13	内容424.14	内容424.15	内容424.16	内容424.17	内容424.18	内容424.19
行425	内容425.1	内容425.2	内容425.3	内容425.4	内容425.5	内容425.6	内容425.7	内容425.8	内容425.9	内容425.10	内容425.11	内容425.12	内容425.13	内容425.14	内容425.15	内容425.16	内容425.17	内容425.18	内容425.19
行426	内容426.1	内容426.2	内容426.3	内容426.4	内容426.5	内容426.6	内容426.7	内容426.8	内容426.9	内容426.10	内容426.11	内容426.12	内容426.13	内容426.14	内容426.15	内容426.16	内容426.17	内容426.18	内容426.19
行427	内容427.1	内容427.2	内容427.3	内容427.4	内容427.5	内容427.6	内容427.7	内容427.8	内容427.9	内容427.10	内容427.11	内容427.12	内容427.13	内容427.14	内容427.15	内容427.16	内容427.17	内容427.18	内容427.19
行428	内容428.1	内容428.2	内容428.3	内容428.4	内容428.5	内容428.6	内容428.7	内容428.8	内容428.9	内容428.10	内容428.11	内容428.12	内容428.13	内容428.14	内容428.15	内容428.16	内容428.17	内容428.18	内容428.19
行429	内容429.1	内容429.2	内容429.3	内容429.4	内容429.5	内容429.6	内容429.7	内容429.8	内容429.9	内容429.10	内容429.11	内容429.12	内容429.13	内容429.14	内容429.15	内容429.16	内容429.17	内容429.18	内容429.19
行430	内容430.1	内容430.2	内容430.3	内容430.4	内容430.5	内容430.6	内容430.7	内容430.8	内容430.9	内容430.10	内容430.11	内容430.12	内容430.13	内容430.14	内容430.15	内容430.16	内容430.17	内容430.18	内容430.19
行431	内容431.1	内容431.2	内容431.3	内容431.4	内容431.5	内容431.6	内容431.7	内容431.8	内容431.9	内容431.10	内容431.11	内容431.12	内容431.13	内容431.14	内容431.15	内容431.16	内容431.17	内容431.18	内容431.19
行432	内容432.1	内容432.2	内容432.3	内容432.4	内容432.5	内容432.6	内容432.7	内容432.8	内容432.9	内容432.10	内容432.11	内容432.12	内容432.13	内容432.14	内容432.15	内容432.16	内容432.17	内容432.18	内容432.19
行433	内容433.1	内容433.2	内容433.3	内容433.4	内容433.5	内容433.6	内容433.7	内容433.8	内容433.9	内容433.10	内容433.11	内容433.12	内容433.13	内容433.14	内容433.15	内容433.16	内容433.17	内容433.18	内容433.19
行434	内容434.1	内容434.2	内容434.3	内容434.4	内容434.5	内容434.6	内容434.7	内容434.8	内容434.9	内容434.10	内容434.11	内容434.12	内容434.13	内容434.14	内容434.15	内容434.16	内容434.17	内容434.18	内容434.19
行435	内容435.1	内容435.2	内容435.3	内容435.4	内容435.5	内容435.6	内容435.7	内容435.8	内容435.9	内容435.10	内容435.11	内容435.12	内容435.13	内容435.14	内容435.15	内容435.16	内容435.17	内容435.18	内容435.19

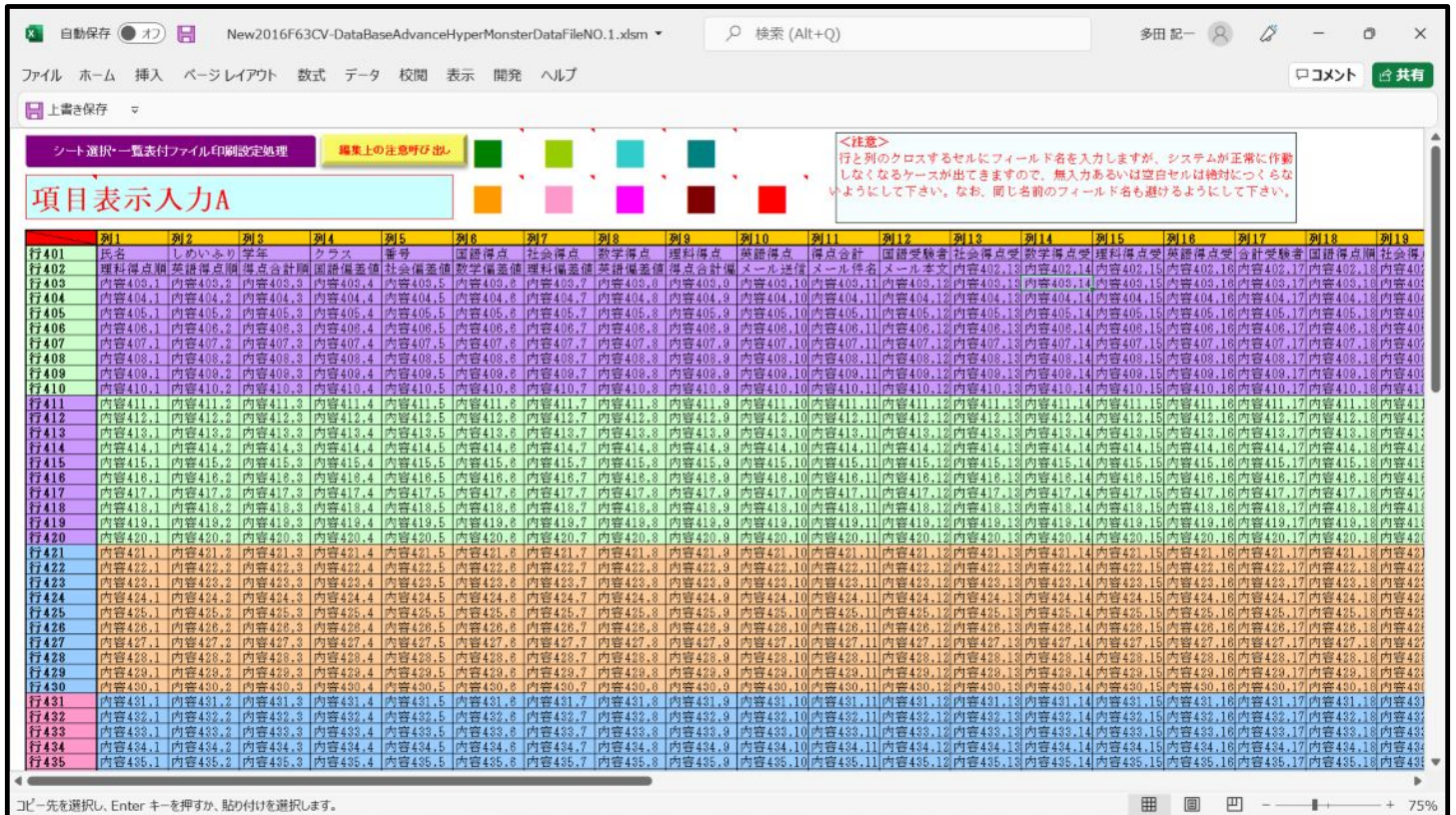
準備完了 印刷 アクセシビリティ: 検討が必要です

上の[図 5 2]の画面の

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の[図 5 3]の画面の入力します。

【図 5 3】



そして、上の【図 5 3】の画面のコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると

次の【図 5 4】の画面になります。

【図 5 4】



上の【図 5 4】の画面のタブ **入力シートAA, AB, BA,BB選択** を選択すると次の【図 5 5】の画面なりませんが、

【図 5 5】の画面のコマンドボタン

入力AA1一学期中間考査

をクリックすると入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」が選択され下の【図 5 6】の画面のようになります。

【図 5 5】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷

入力AA1一学期中間考査	入力BA1
入力AA2	入力BA2
入力AA3	入力BA3
入力AA4	入力BA4
入力AA5	入力BA5
入力AA6	入力BA6
入力AA7	入力BA7
入力AA8	入力BA8
入力AA9	入力BA9
入力AA10	入力BA10
入力AB1	入力BB1
入力AB2	入力BB2
入力AB3	入力BB3
入力AB4	入力BB4
入力AB5	入力BB5
入力AB6	入力BB6
入力AB7	入力BB7
入力AB8	入力BB8
入力AB9	入力BB9
入力AB10	入力BB10

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

【図 5 6】

自動保存 ☐ オフ ☐ オン New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 検索 (Alt+C) 多田 配一 コメント 共有

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 50行

入力AA1一学期中間考査

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの誤作に繋がりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA1列、B1列、C1列での入力または消去操作
③データのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	氏名	しめいふりが	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語
		行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401
1	対象1												
2	対象2												
3	対象3												
4	対象4												
5	対象5												
6	対象6												
7	対象7												
8	対象8												
9	対象9												
10	対象10												
11	対象11												
12	対象12												
13	対象13												
14	対象14												
15	対象15												
16	対象16												
17	対象17												
18	対象18												
19	対象19												
20	対象20												
21	対象21												
22	対象22												
23	対象23												
24	対象24												

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 95%

上の[図 5 6]の画面の項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 5 7]の画面です。

[図 5 7]

自動保存 オフ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

検索 (Alt+Q)

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

上書き保存

コメント共有

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 50行

<注意>

このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出

<注意>追加内容呼び出し

入力AA1一学期中間考査

ID	対象	氏名	りしが ないふ	学年	クラス	番号	国語 得点	社会 得点	数学 得点	理科 得点	英語 得点	得点 合計
列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	
1 対象1	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401
2 対象2												
3 対象3												
4 対象4												
5 対象5												
6 対象6												
7 対象7												
8 対象8												
9 対象9												
10 対象10												
11 対象11												
12 対象12												
13 対象13												
14 対象14												
15 対象15												
16 対象16												
17 対象17												
18 対象18												
19 対象19												
20 対象20												

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

そして、[図 5 7]の画面の表にデーターを入力したのが次の[図 5 8]の画面です。ただし、この入力データーはテスト用のものです。

[図 5 8]

自動保存 オフ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

検索 (Alt+Q)

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

コメント共有

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 50行

<注意>

このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り・貼り付け操作
②第1行〜行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
のデータの強制処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出

<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	氏名	りしが め ない ふ	学 年	ク ラ ス	番 号	国 語 得 点	社 会 得 点	数 学 得 点	理 科 得 点	英 語 得 点	得 点 合 計												
													列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
													行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401	行401
1 対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番		100	100	100	100	100	500												
2 対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番		87	80	65	88	45	365												
3 対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番		33	87	44	56	88	308												
4 対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番		89	78	28	79	97	371												
5 対象5	猿	さる	1年	1組	5番		98	66	80	90	45	379												
6 対象6	雉	きじ	1年	1組	6番		45	75	98	45	70	333												
7 対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番		66	79	76	99	65	385												
8 対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番		45	45	79	42	55	266												
9 対象9	蛇さん	いざな	1年	1組	9番		58	61	56	34	43	252												
10 対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番		77	70	85	74	98	404												
11 対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番		60	75	74	89	56	354												
12 対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番		66	69	78	100	77	390												
13 対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番		88	98	55	99	81	421												
14 対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番		77	99	49	80	98	403												
15 対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番		56	100	30	70	34	290												
16 対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番		52	64	11	65	0	192												
17 対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番		69	75	45	51	85	325												
18 対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番		82	78	69	70	90	389												
19 対象19	フグオさん	ふくおさん	2年	2組	9番		42	41	100	90	45	318												
20 対象20	カツオ君	かつおくん	2年	2組	10番		44	48	47	60	66	265												

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

95%

次に「修正前期募集校長宛可否通知書」を作成するためにデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
のデータの入力等について次のように行います。

まず、ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

を立ち上げ、シート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を選択します。そして **Esc** を押すと標準画面
となり、次の[図 5 9]の画面のようになります。

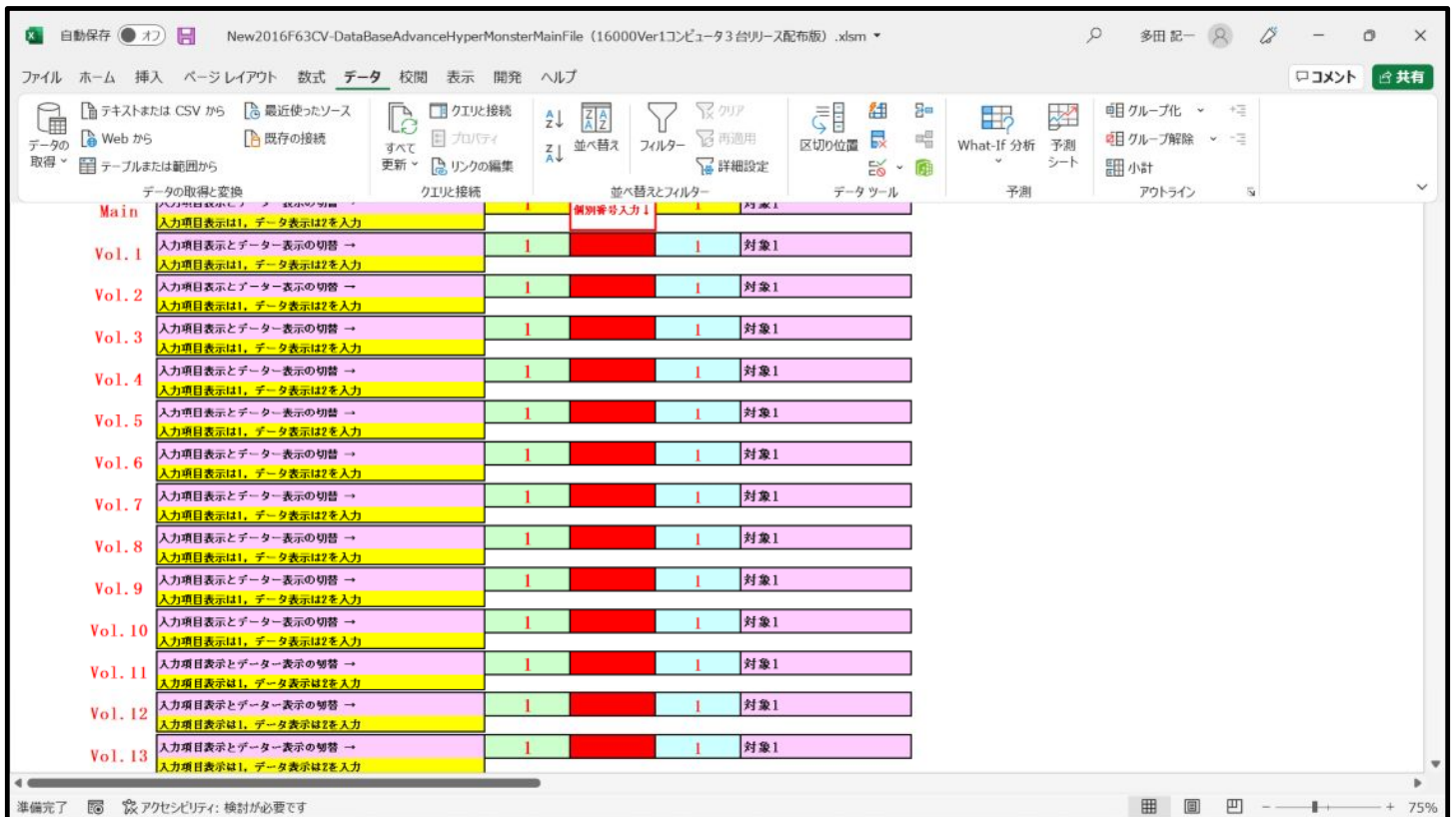
[図 5 9]



そして更に、上の[図 5 9]の画面のセル **シート保護解除** を選択してダブルクリックしてシートの保護

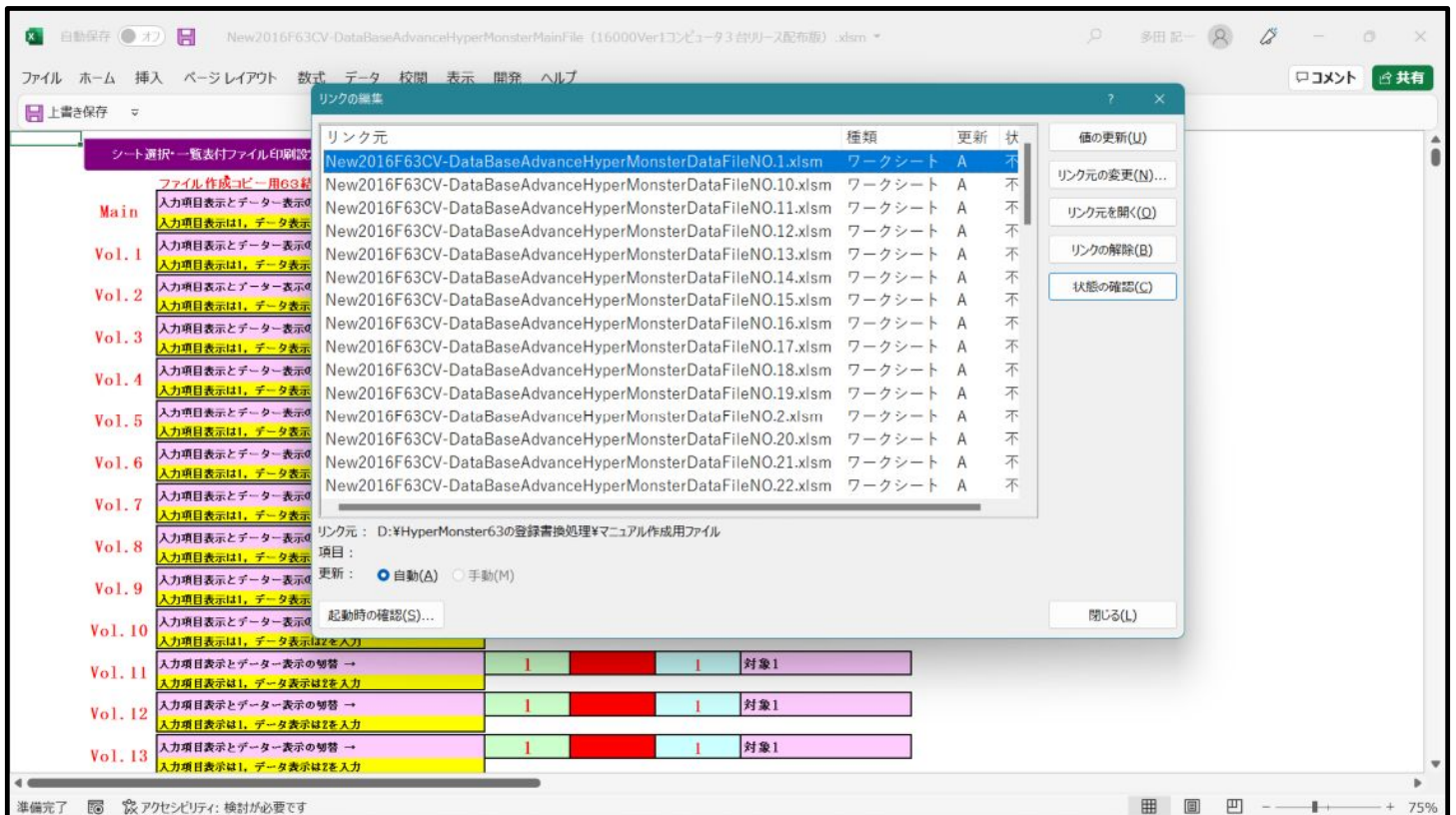
を解除し、**データ** を選択すると、次の[図 6 0]の画面のようになります。

【図 6 0】



更に上の【図 6 0】の画面の リンクの編集 の部分を選択すると次の【図 6 1】の画面のようになります

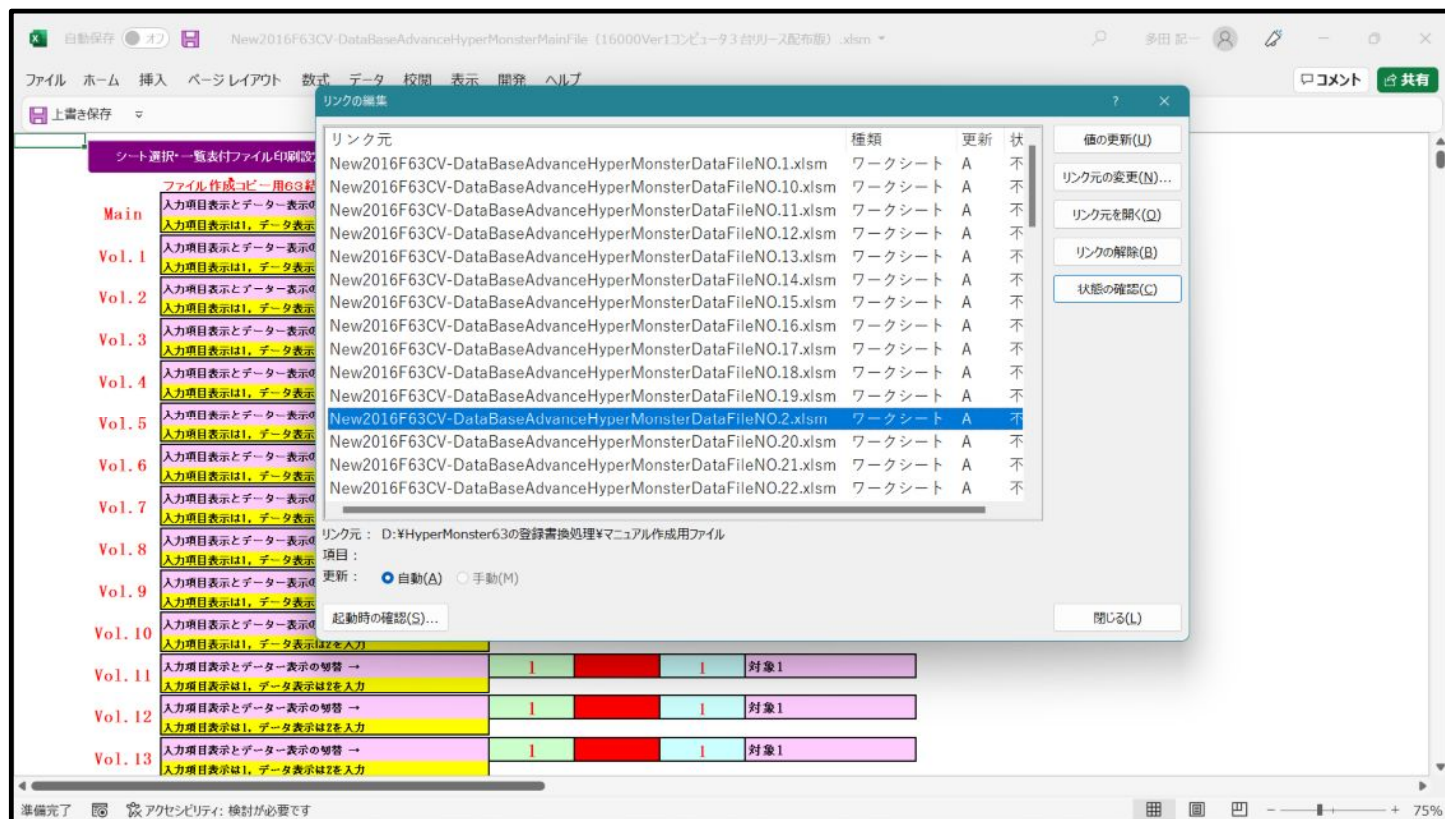
【図 6 1】



上の【図 6 1】の画面のリンク元の部分で

を選択して次の[図 6 2]の画面のようにします。

[図 6 2]



そして上の[図 6 2]の画面のボタン **リンク元を開く(O)** をクリックするとリンク元のファイル **New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm** 開かれてまいります、最初に次の[図 6 3]の画面が表示されます。

[図 6 3]



上の[図 6 3]の画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックすると次の[図 6 4]の画面が表示された後、その次の[図 6 5]の画面が表示されます。

[図 6 4]



[図 6 5]



上の[図 6 5]の画面のタブ **シート選択, 処理呼出1** を選択すると次の[図 6 6]の画面になります。

[図 6 6]



上の[図 6 6]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると次の[図 6 7]の画面になります。但し[図 6 7]の画面は表示倍率が 50%のものです。

【図 6 7】

シート選択 - 販売ファイル印刷設定処理

NO	シート名・インターフェース名	NO	シート名・インターフェース名	NO	シート名・インターフェース名	NO	シート名・インターフェース名	NO	シート名・インターフェース名
1	シート名	51	入力AA1	101	入力AA10	151	入力AA10	201	入力AA10
2	シート名	52	入力AA2	102	入力AA11	152	入力AA11	202	入力AA11
3	シート名	53	入力AA3	103	入力AA12	153	入力AA12	203	入力AA12
4	シート名	54	入力AA4	104	入力AA13	154	入力AA13	204	入力AA13
5	シート名	55	入力AA5	105	入力AA14	155	入力AA14	205	入力AA14
6	シート名	56	入力AA6	106	入力AA15	156	入力AA15	206	入力AA15
7	シート名	57	入力AA7	107	入力AA16	157	入力AA16	207	入力AA16
8	シート名	58	入力AA8	108	入力AA17	158	入力AA17	208	入力AA17
9	シート名	59	入力AA9	109	入力AA18	159	入力AA18	209	入力AA18
10	シート名	60	入力AA10	110	入力AA19	160	入力AA19	210	入力AA19
11	シート名	61	入力AA11	111	入力AA20	161	入力AA20	211	入力AA20
12	シート名	62	入力AA12	112	入力AA21	162	入力AA21	212	入力AA21
13	シート名	63	入力AA13	113	入力AA22	163	入力AA22	213	入力AA22
14	シート名	64	入力AA14	114	入力AA23	164	入力AA23	214	入力AA23
15	シート名	65	入力AA15	115	入力AA24	165	入力AA24	215	入力AA24
16	シート名	66	入力AA16	116	入力AA25	166	入力AA25	216	入力AA25
17	シート名	67	入力AA17	117	入力AA26	167	入力AA26	217	入力AA26
18	シート名	68	入力AA18	118	入力AA27	168	入力AA27	218	入力AA27
19	シート名	69	入力AA19	119	入力AA28	169	入力AA28	219	入力AA28
20	シート名	70	入力AA20	120	入力AA29	170	入力AA29	220	入力AA29
21	シート名	71	入力AA21	121	入力AA30	171	入力AA30	221	入力AA30
22	シート名	72	入力AA22	122	入力AA31	172	入力AA31	222	入力AA31
23	シート名	73	入力AA23	123	入力AA32	173	入力AA32	223	入力AA32
24	シート名	74	入力AA24	124	入力AA33	174	入力AA33	224	入力AA33
25	シート名	75	入力AA25	125	入力AA34	175	入力AA34	225	入力AA34
26	シート名	76	入力AA26	126	入力AA35	176	入力AA35	226	入力AA35
27	シート名	77	入力AA27	127	入力AA36	177	入力AA36	227	入力AA36
28	シート名	78	入力AA28	128	入力AA37	178	入力AA37	228	入力AA37
29	シート名	79	入力AA29	129	入力AA38	179	入力AA38	229	入力AA38
30	シート名	80	入力AA30	130	入力AA39	180	入力AA39	230	入力AA39
31	シート名	81	入力AA31	131	入力AA40	181	入力AA40	231	入力AA40
32	シート名	82	入力AA32	132	入力AA41	182	入力AA41	232	入力AA41
33	シート名	83	入力AA33	133	入力AA42	183	入力AA42	233	入力AA42
34	シート名	84	入力AA34	134	入力AA43	184	入力AA43	234	入力AA43
35	シート名	85	入力AA35	135	入力AA44	185	入力AA44	235	入力AA44
36	シート名	86	入力AA36	136	入力AA45	186	入力AA45	236	入力AA45
37	シート名	87	入力AA37	137	入力AA46	187	入力AA46	237	入力AA46
38	シート名	88	入力AA38	138	入力AA47	188	入力AA47	238	入力AA47
39	シート名	89	入力AA39	139	入力AA48	189	入力AA48	239	入力AA48
40	シート名	90	入力AA40	140	入力AA49	190	入力AA49	240	入力AA49
41	シート名	91	入力AA41	141	入力AA50	191	入力AA50	241	入力AA50
42	シート名	92	入力AA42	142	入力AA51	192	入力AA51	242	入力AA51
43	シート名	93	入力AA43	143	入力AA52	193	入力AA52	243	入力AA52
44	シート名	94	入力AA44	144	入力AA53	194	入力AA53	244	入力AA53
45	シート名	95	入力AA45	145	入力AA54	195	入力AA54	245	入力AA54
46	シート名	96	入力AA46	146	入力AA55	196	入力AA55	246	入力AA55
47	シート名	97	入力AA47	147	入力AA56	197	入力AA56	247	入力AA56
48	シート名	98	入力AA48	148	入力AA57	198	入力AA57	248	入力AA57
49	シート名	99	入力AA49	149	入力AA58	199	入力AA58	249	入力AA58
50	シート名	100	入力AA50	150	入力AA59	200	入力AA59	250	入力AA59

そして次の【図 6 8】の画面のように

39 入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

の部分の右側のセルの値を変更し、セル 39 をダブルクリックすると入力シート「入力 AA1」のシート名が「入力 AA1 (高校入試通知書等作成データー)」に変更され入力シート「入力 AA1 (高校入試通知書等作成データー)」が選択され、下の【図 6 9】の画面のようになります。

【図 6 8】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 50行

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

50%

【図 6 9】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 50行

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

95%

引き続き上の【図 6 9】の画面のボタン

をクリックすると、次の【図 7 0】の画面のようになります。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

を

【図 7 0】

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BEを選択 | 入力シートCA, CB, DA, DE選択 | 印刷

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MainFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

上の【図 7 0】の画面の**項目表示入力A**をクリックすると次の【図 7 1】の画面のようになりますが、入力シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の表の項目表示を設定します。

【図 7 1】

自動保存 20210616F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsx 検索 (Alt+C) 多田 配一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 編集上の注意呼び出し

項目表示入力A

＜注意＞
行と列のクロスするセルにフィールド名を入力しますが、システムが正常に動作しなくなるケースが出てきますので、無入力あるいは空白セルは絶対につくらないようにして下さい。なお、同じ名前のフィールド名も避けるようにして下さい。

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19
行801	内容801.1	内容801.2	内容801.3	内容801.4	内容801.5	内容801.6	内容801.7	内容801.8	内容801.9	内容801.10	内容801.11	内容801.12	内容801.13	内容801.14	内容801.15	内容801.16	内容801.17	内容801.18	内容801.19
行802	内容802.1	内容802.2	内容802.3	内容802.4	内容802.5	内容802.6	内容802.7	内容802.8	内容802.9	内容802.10	内容802.11	内容802.12	内容802.13	内容802.14	内容802.15	内容802.16	内容802.17	内容802.18	内容802.19
行803	内容803.1	内容803.2	内容803.3	内容803.4	内容803.5	内容803.6	内容803.7	内容803.8	内容803.9	内容803.10	内容803.11	内容803.12	内容803.13	内容803.14	内容803.15	内容803.16	内容803.17	内容803.18	内容803.19
行804	内容804.1	内容804.2	内容804.3	内容804.4	内容804.5	内容804.6	内容804.7	内容804.8	内容804.9	内容804.10	内容804.11	内容804.12	内容804.13	内容804.14	内容804.15	内容804.16	内容804.17	内容804.18	内容804.19
行805	内容805.1	内容805.2	内容805.3	内容805.4	内容805.5	内容805.6	内容805.7	内容805.8	内容805.9	内容805.10	内容805.11	内容805.12	内容805.13	内容805.14	内容805.15	内容805.16	内容805.17	内容805.18	内容805.19
行806	内容806.1	内容806.2	内容806.3	内容806.4	内容806.5	内容806.6	内容806.7	内容806.8	内容806.9	内容806.10	内容806.11	内容806.12	内容806.13	内容806.14	内容806.15	内容806.16	内容806.17	内容806.18	内容806.19
行807	内容807.1	内容807.2	内容807.3	内容807.4	内容807.5	内容807.6	内容807.7	内容807.8	内容807.9	内容807.10	内容807.11	内容807.12	内容807.13	内容807.14	内容807.15	内容807.16	内容807.17	内容807.18	内容807.19
行808	内容808.1	内容808.2	内容808.3	内容808.4	内容808.5	内容808.6	内容808.7	内容808.8	内容808.9	内容808.10	内容808.11	内容808.12	内容808.13	内容808.14	内容808.15	内容808.16	内容808.17	内容808.18	内容808.19
行809	内容809.1	内容809.2	内容809.3	内容809.4	内容809.5	内容809.6	内容809.7	内容809.8	内容809.9	内容809.10	内容809.11	内容809.12	内容809.13	内容809.14	内容809.15	内容809.16	内容809.17	内容809.18	内容809.19
行810	内容810.1	内容810.2	内容810.3	内容810.4	内容810.5	内容810.6	内容810.7	内容810.8	内容810.9	内容810.10	内容810.11	内容810.12	内容810.13	内容810.14	内容810.15	内容810.16	内容810.17	内容810.18	内容810.19
行811	内容811.1	内容811.2	内容811.3	内容811.4	内容811.5	内容811.6	内容811.7	内容811.8	内容811.9	内容811.10	内容811.11	内容811.12	内容811.13	内容811.14	内容811.15	内容811.16	内容811.17	内容811.18	内容811.19
行812	内容812.1	内容812.2	内容812.3	内容812.4	内容812.5	内容812.6	内容812.7	内容812.8	内容812.9	内容812.10	内容812.11	内容812.12	内容812.13	内容812.14	内容812.15	内容812.16	内容812.17	内容812.18	内容812.19
行813	内容813.1	内容813.2	内容813.3	内容813.4	内容813.5	内容813.6	内容813.7	内容813.8	内容813.9	内容813.10	内容813.11	内容813.12	内容813.13	内容813.14	内容813.15	内容813.16	内容813.17	内容813.18	内容813.19
行814	内容814.1	内容814.2	内容814.3	内容814.4	内容814.5	内容814.6	内容814.7	内容814.8	内容814.9	内容814.10	内容814.11	内容814.12	内容814.13	内容814.14	内容814.15	内容814.16	内容814.17	内容814.18	内容814.19
行815	内容815.1	内容815.2	内容815.3	内容815.4	内容815.5	内容815.6	内容815.7	内容815.8	内容815.9	内容815.10	内容815.11	内容815.12	内容815.13	内容815.14	内容815.15	内容815.16	内容815.17	内容815.18	内容815.19
行816	内容816.1	内容816.2	内容816.3	内容816.4	内容816.5	内容816.6	内容816.7	内容816.8	内容816.9	内容816.10	内容816.11	内容816.12	内容816.13	内容816.14	内容816.15	内容816.16	内容816.17	内容816.18	内容816.19
行817	内容817.1	内容817.2	内容817.3	内容817.4	内容817.5	内容817.6	内容817.7	内容817.8	内容817.9	内容817.10	内容817.11	内容817.12	内容817.13	内容817.14	内容817.15	内容817.16	内容817.17	内容817.18	内容817.19
行818	内容818.1	内容818.2	内容818.3	内容818.4	内容818.5	内容818.6	内容818.7	内容818.8	内容818.9	内容818.10	内容818.11	内容818.12	内容818.13	内容818.14	内容818.15	内容818.16	内容818.17	内容818.18	内容818.19
行819	内容819.1	内容819.2	内容819.3	内容819.4	内容819.5	内容819.6	内容819.7	内容819.8	内容819.9	内容819.10	内容819.11	内容819.12	内容819.13	内容819.14	内容819.15	内容819.16	内容819.17	内容819.18	内容819.19
行820	内容820.1	内容820.2	内容820.3	内容820.4	内容820.5	内容820.6	内容820.7	内容820.8	内容820.9	内容820.10	内容820.11	内容820.12	内容820.13	内容820.14	内容820.15	内容820.16	内容820.17	内容820.18	内容820.19
行821	内容821.1	内容821.2	内容821.3	内容821.4	内容821.5	内容821.6	内容821.7	内容821.8	内容821.9	内容821.10	内容821.11	内容821.12	内容821.13	内容821.14	内容821.15	内容821.16	内容821.17	内容821.18	内容821.19
行822	内容822.1	内容822.2	内容822.3	内容822.4	内容822.5	内容822.6	内容822.7	内容822.8	内容822.9	内容822.10	内容822.11	内容822.12	内容822.13	内容822.14	内容822.15	内容822.16	内容822.17	内容822.18	内容822.19
行823	内容823.1	内容823.2	内容823.3	内容823.4	内容823.5	内容823.6	内容823.7	内容823.8	内容823.9	内容823.10	内容823.11	内容823.12	内容823.13	内容823.14	内容823.15	内容823.16	内容823.17	内容823.18	内容823.19
行824	内容824.1	内容824.2	内容824.3	内容824.4	内容824.5	内容824.6	内容824.7	内容824.8	内容824.9	内容824.10	内容824.11	内容824.12	内容824.13	内容824.14	内容824.15	内容824.16	内容824.17	内容824.18	内容824.19
行825	内容825.1	内容825.2	内容825.3	内容825.4	内容825.5	内容825.6	内容825.7	内容825.8	内容825.9	内容825.10	内容825.11	内容825.12	内容825.13	内容825.14	内容825.15	内容825.16	内容825.17	内容825.18	内容825.19
行826	内容826.1	内容826.2	内容826.3	内容826.4	内容826.5	内容826.6	内容826.7	内容826.8	内容826.9	内容826.10	内容826.11	内容826.12	内容826.13	内容826.14	内容826.15	内容826.16	内容826.17	内容826.18	内容826.19
行827	内容827.1	内容827.2	内容827.3	内容827.4	内容827.5	内容827.6	内容827.7	内容827.8	内容827.9	内容827.10	内容827.11	内容827.12	内容827.13	内容827.14	内容827.15	内容827.16	内容827.17	内容827.18	内容827.19
行828	内容828.1	内容828.2	内容828.3	内容828.4	内容828.5	内容828.6	内容828.7	内容828.8	内容828.9	内容828.10	内容828.11	内容828.12	内容828.13	内容828.14	内容828.15	内容828.16	内容828.17	内容828.18	内容828.19
行829	内容829.1	内容829.2	内容829.3	内容829.4	内容829.5	内容829.6	内容829.7	内容829.8	内容829.9	内容829.10	内容829.11	内容829.12	内容829.13	内容829.14	内容829.15	内容829.16	内容829.17	内容829.18	内容829.19
行830	内容830.1	内容830.2	内容830.3	内容830.4	内容830.5	内容830.6	内容830.7	内容830.8	内容830.9	内容830.10	内容830.11	内容830.12	内容830.13	内容830.14	内容830.15	内容830.16	内容830.17	内容830.18	内容830.19
行831	内容831.1	内容831.2	内容831.3	内容831.4	内容831.5	内容831.6	内容831.7	内容831.8	内容831.9	内容831.10	内容831.11	内容831.12	内容831.13	内容831.14	内容831.15	内容831.16	内容831.17	内容831.18	内容831.19
行832	内容832.1	内容832.2	内容832.3	内容832.4	内容832.5	内容832.6	内容832.7	内容832.8	内容832.9	内容832.10	内容832.11	内容832.12	内容832.13	内容832.14	内容832.15	内容832.16	内容832.17	内容832.18	内容832.19
行833	内容833.1	内容833.2	内容833.3	内容833.4	内容833.5	内容833.6	内容833.7	内容833.8	内容833.9	内容833.10	内容833.11	内容833.12	内容833.13	内容833.14	内容833.15	内容833.16	内容833.17	内容833.18	内容833.19
行834	内容834.1	内容834.2	内容834.3	内容834.4	内容834.5	内容834.6	内容834.7	内容834.8	内容834.9	内容834.10	内容834.11	内容834.12	内容834.13	内容834.14	内容834.15	内容834.16	内容834.17	内容834.18	内容834.19
行835	内容835.1	内容835.2	内容835.3	内容835.4	内容835.5	内容835.6	内容835.7	内容835.8	内容835.9	内容835.10	内容835.11	内容835.12	内容835.13	内容835.14	内容835.15	内容835.16	内容835.17	内容835.18	内容835.19

準備完了 75%

上の[図 7 1]の画面の

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20
行401	内容401.1	内容401.2	内容401.3	内容401.4	内容401.5	内容401.6	内容401.7	内容401.8	内容401.9	内容401.10	内容401.11	内容401.12	内容401.13	内容401.14	内容401.15	内容401.16	内容401.17	内容401.18	内容401.19	内容401.20
行402	内容402.1	内容402.2	内容402.3	内容402.4	内容402.5	内容402.6	内容402.7	内容402.8	内容402.9	内容402.10	内容402.11	内容402.12	内容402.13	内容402.14	内容402.15	内容402.16	内容402.17	内容402.18	内容402.19	内容402.20

の部分に次の[図 7 2]の画面のように入力します。

[図 7 2]

自動保存 保存 New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

書き込み

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

編集上の注意呼び出し

項目表示入力A

<注意>
行と列のクロスするセルにフィールド名を入力しますが、システムが正常に作動しなくなるケースが出てきますので、無入力あるいは空白セルは絶対につくらないようにして下さい。なお、同じ名前前のフィールド名も避けるようにして下さい。

	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19
行801	受験番号	受験生氏名	受験生より	受験生性別	受験生中学	受験生出身	受験生市町	受験生出身	受験生学科	受験生学科	受験生通知	合否等	内定結果	受験生郵便	受験生中学	メール送信	メール件名	メール本文	内容801
行802	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容802.7	内容802.8	内容802.9	内容802.10	内容802.11	内容802.12	内容802.13	内容802.14	内容802.15	内容802.16	内容802.17	内容802.18	内容802
行803	内容803.1	内容803.2	内容803.3	内容803.4	内容803.5	内容803.6	内容803.7	内容803.8	内容803.9	内容803.10	内容803.11	内容803.12	内容803.13	内容803.14	内容803.15	内容803.16	内容803.17	内容803.18	内容803
行804	内容804.1	内容804.2	内容804.3	内容804.4	内容804.5	内容804.6	内容804.7	内容804.8	内容804.9	内容804.10	内容804.11	内容804.12	内容804.13	内容804.14	内容804.15	内容804.16	内容804.17	内容804.18	内容804
行805	内容805.1	内容805.2	内容805.3	内容805.4	内容805.5	内容805.6	内容805.7	内容805.8	内容805.9	内容805.10	内容805.11	内容805.12	内容805.13	内容805.14	内容805.15	内容805.16	内容805.17	内容805.18	内容805
行806	内容806.1	内容806.2	内容806.3	内容806.4	内容806.5	内容806.6	内容806.7	内容806.8	内容806.9	内容806.10	内容806.11	内容806.12	内容806.13	内容806.14	内容806.15	内容806.16	内容806.17	内容806.18	内容806
行807	内容807.1	内容807.2	内容807.3	内容807.4	内容807.5	内容807.6	内容807.7	内容807.8	内容807.9	内容807.10	内容807.11	内容807.12	内容807.13	内容807.14	内容807.15	内容807.16	内容807.17	内容807.18	内容807
行808	内容808.1	内容808.2	内容808.3	内容808.4	内容808.5	内容808.6	内容808.7	内容808.8	内容808.9	内容808.10	内容808.11	内容808.12	内容808.13	内容808.14	内容808.15	内容808.16	内容808.17	内容808.18	内容808
行809	内容809.1	内容809.2	内容809.3	内容809.4	内容809.5	内容809.6	内容809.7	内容809.8	内容809.9	内容809.10	内容809.11	内容809.12	内容809.13	内容809.14	内容809.15	内容809.16	内容809.17	内容809.18	内容809
行810	内容810.1	内容810.2	内容810.3	内容810.4	内容810.5	内容810.6	内容810.7	内容810.8	内容810.9	内容810.10	内容810.11	内容810.12	内容810.13	内容810.14	内容810.15	内容810.16	内容810.17	内容810.18	内容810
行811	内容811.1	内容811.2	内容811.3	内容811.4	内容811.5	内容811.6	内容811.7	内容811.8	内容811.9	内容811.10	内容811.11	内容811.12	内容811.13	内容811.14	内容811.15	内容811.16	内容811.17	内容811.18	内容811
行812	内容812.1	内容812.2	内容812.3	内容812.4	内容812.5	内容812.6	内容812.7	内容812.8	内容812.9	内容812.10	内容812.11	内容812.12	内容812.13	内容812.14	内容812.15	内容812.16	内容812.17	内容812.18	内容812
行813	内容813.1	内容813.2	内容813.3	内容813.4	内容813.5	内容813.6	内容813.7	内容813.8	内容813.9	内容813.10	内容813.11	内容813.12	内容813.13	内容813.14	内容813.15	内容813.16	内容813.17	内容813.18	内容813
行814	内容814.1	内容814.2	内容814.3	内容814.4	内容814.5	内容814.6	内容814.7	内容814.8	内容814.9	内容814.10	内容814.11	内容814.12	内容814.13	内容814.14	内容814.15	内容814.16	内容814.17	内容814.18	内容814
行815	内容815.1	内容815.2	内容815.3	内容815.4	内容815.5	内容815.6	内容815.7	内容815.8	内容815.9	内容815.10	内容815.11	内容815.12	内容815.13	内容815.14	内容815.15	内容815.16	内容815.17	内容815.18	内容815
行816	内容816.1	内容816.2	内容816.3	内容816.4	内容816.5	内容816.6	内容816.7	内容816.8	内容816.9	内容816.10	内容816.11	内容816.12	内容816.13	内容816.14	内容816.15	内容816.16	内容816.17	内容816.18	内容816
行817	内容817.1	内容817.2	内容817.3	内容817.4	内容817.5	内容817.6	内容817.7	内容817.8	内容817.9	内容817.10	内容817.11	内容817.12	内容817.13	内容817.14	内容817.15	内容817.16	内容817.17	内容817.18	内容817
行818	内容818.1	内容818.2	内容818.3	内容818.4	内容818.5	内容818.6	内容818.7	内容818.8	内容818.9	内容818.10	内容818.11	内容818.12	内容818.13	内容818.14	内容818.15	内容818.16	内容818.17	内容818.18	内容818
行819	内容819.1	内容819.2	内容819.3	内容819.4	内容819.5	内容819.6	内容819.7	内容819.8	内容819.9	内容819.10	内容819.11	内容819.12	内容819.13	内容819.14	内容819.15	内容819.16	内容819.17	内容819.18	内容819
行820	内容820.1	内容820.2	内容820.3	内容820.4	内容820.5	内容820.6	内容820.7	内容820.8	内容820.9	内容820.10	内容820.11	内容820.12	内容820.13	内容820.14	内容820.15	内容820.16	内容820.17	内容820.18	内容820
行821	内容821.1	内容821.2	内容821.3	内容821.4	内容821.5	内容821.6	内容821.7	内容821.8	内容821.9	内容821.10	内容821.11	内容821.12	内容821.13	内容821.14	内容821.15	内容821.16	内容821.17	内容821.18	内容821
行822	内容822.1	内容822.2	内容822.3	内容822.4	内容822.5	内容822.6	内容822.7	内容822.8	内容822.9	内容822.10	内容822.11	内容822.12	内容822.13	内容822.14	内容822.15	内容822.16	内容822.17	内容822.18	内容822
行823	内容823.1	内容823.2	内容823.3	内容823.4	内容823.5	内容823.6	内容823.7	内容823.8	内容823.9	内容823.10	内容823.11	内容823.12	内容823.13	内容823.14	内容823.15	内容823.16	内容823.17	内容823.18	内容823
行824	内容824.1	内容824.2	内容824.3	内容824.4	内容824.5	内容824.6	内容824.7	内容824.8	内容824.9	内容824.10	内容824.11	内容824.12	内容824.13	内容824.14	内容824.15	内容824.16	内容824.17	内容824.18	内容824
行825	内容825.1	内容825.2	内容825.3	内容825.4	内容825.5	内容825.6	内容825.7	内容825.8	内容825.9	内容825.10	内容825.11	内容825.12	内容825.13	内容825.14	内容825.15	内容825.16	内容825.17	内容825.18	内容825
行826	内容826.1	内容826.2	内容826.3	内容826.4	内容826.5	内容826.6	内容826.7	内容826.8	内容826.9	内容826.10	内容826.11	内容826.12	内容826.13	内容826.14	内容826.15	内容826.16	内容826.17	内容826.18	内容826
行827	内容827.1	内容827.2	内容827.3	内容827.4	内容827.5	内容827.6	内容827.7	内容827.8	内容827.9	内容827.10	内容827.11	内容827.12	内容827.13	内容827.14	内容827.15	内容827.16	内容827.17	内容827.18	内容827
行828	内容828.1	内容828.2	内容828.3	内容828.4	内容828.5	内容828.6	内容828.7	内容828.8	内容828.9	内容828.10	内容828.11	内容828.12	内容828.13	内容828.14	内容828.15	内容828.16	内容828.17	内容828.18	内容828
行829	内容829.1	内容829.2	内容829.3	内容829.4	内容829.5	内容829.6	内容829.7	内容829.8	内容829.9	内容829.10	内容829.11	内容829.12	内容829.13	内容829.14	内容829.15	内容829.16	内容829.17	内容829.18	内容829
行830	内容830.1	内容830.2	内容830.3	内容830.4	内容830.5	内容830.6	内容830.7	内容830.8	内容830.9	内容830.10	内容830.11	内容830.12	内容830.13	内容830.14	内容830.15	内容830.16	内容830.17	内容830.18	内容830
行831	内容831.1	内容831.2	内容831.3	内容831.4	内容831.5	内容831.6	内容831.7	内容831.8	内容831.9	内容831.10	内容831.11	内容831.12	内容831.13	内容831.14	内容831.15	内容831.16	内容831.17	内容831.18	内容831
行832	内容832.1	内容832.2	内容832.3	内容832.4	内容832.5	内容832.6	内容832.7	内容832.8	内容832.9	内容832.10	内容832.11	内容832.12	内容832.13	内容832.14	内容832.15	内容832.16	内容832.17	内容832.18	内容832
行833	内容833.1	内容833.2	内容833.3	内容833.4	内容833.5	内容833.6	内容833.7	内容833.8	内容833.9	内容833.10	内容833.11	内容833.12	内容833.13	内容833.14	内容833.15	内容833.16	内容833.17	内容833.18	内容833
行834	内容834.1	内容834.2	内容834.3	内容834.4	内容834.5	内容834.6	内容834.7	内容834.8	内容834.9	内容834.10	内容834.11	内容834.12	内容834.13	内容834.14	内容834.15	内容834.16	内容834.17	内容834.18	内容834
行835	内容835.1	内容835.2	内容835.3	内容835.4	内容835.5	内容835.6	内容835.7	内容835.8	内容835.9	内容835.10	内容835.11	内容835.12	内容835.13	内容835.14	内容835.15	内容835.16	内容835.17	内容835.18	内容835

コピー先を選択し、Enter キーを押すか、貼り付けを選択します。

75%

そして、上の[図 7 2]の画面のコマンドボタン
次の[図 7 3]の画面になります。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると

[図 7 3]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録

シート選択, 処理呼出1

処理呼出2

処理呼出3

処理呼出4

処理呼出5

処理呼出6

処理呼出7

処理呼出8

入力シートAA, AB, BA,BB選択

入力シートCA, CB, DA, DB選択

印

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデーターへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデーターから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データー削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

MeinFileへ移動

セルの広範囲選択呼出

キャンセル

システム終了

上の[図 7 3]の画面のタブ **入力シートAA, AB, BA,BB選択** を選択すると次の[図 7 4]の画面になりますが、
[図 7 4]の画面のコマンドボタン

入力AA1（高校入試通知書等作成データー）

をクリックすると入力シート「入力 AA 1 （高校入試通知書等作成データー）」が選択され下の[図 7 5]の画面のようになります。

[図 7 4]

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)										入力BA1									
入力AA2										入力BA2									
入力AA3										入力BA3									
入力AA4										入力BA4									
入力AA5										入力BA5									
入力AA6										入力BA6									
入力AA7										入力BA7									
入力AA8										入力BA8									
入力AA9										入力BA9									
入力AA10										入力BA10									
入力AB1										入力BB1									
入力AB2										入力BB2									
入力AB3										入力BB3									
入力AB4										入力BB4									
入力AB5										入力BB5									
入力AB6										入力BB6									
入力AB7										入力BB7									
入力AB8										入力BB8									
入力AB9										入力BB9									
入力AB10										入力BB10									

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

[図 7 5]

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 配一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択・一覧表示付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 50行

入力AA 1 (高校入試通知書等作成データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	受験番号	受験生氏名	受験生ふりが	受験生性別	受験生中学コ	受験生出身中	受験生市町村	受験生出身中	受験生学科等	受験生学科等	受験生通知書合
列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801
1	対象1											
2	対象2											
3	対象3											
4	対象4											
5	対象5											
6	対象6											
7	対象7											
8	対象8											
9	対象9											
10	対象10											
11	対象11											
12	対象12											
13	対象13											
14	対象14											
15	対象15											
16	対象16											
17	対象17											
18	対象18											
19	対象19											
20	対象20											
21	対象21											
22	対象22											
23	対象23											
24	対象24											

準備完了 設定アクセシビリティ: 検計が必要です 95%

上の[図 7 5]の画面の項目表示を縦型に編集し直したのが次の[図 7 6]の画面です。

[図 7 6]

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 50行**

入力AA 1 (高校入試通知書等作成データー)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの障害につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データーのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で実装します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	受 検 番 号	受 験 生 氏 名	が 受 験 生 ふ り	受 験 生 性 別	コ ー ド 中 学	中 受 験 校 生 出 身	村 受 験 生 市 町	名 中 受 験 校 生 長 宛 身	等 受 1 受 験 生 学 科	等 受 2 受 験 生 学 科	区 書 分 作 成 通 令 知
		列1 行801	列2 行801	列3 行801	列4 行801	列5 行801	列6 行801	列7 行801	列8 行801	列9 行801	列10 行801	列11 行801
1	対象1											
2	対象2											
3	対象3											
4	対象4											
5	対象5											
6	対象6											
7	対象7											
8	対象8											
9	対象9											
10	対象10											
11	対象11											
12	対象12											
13	対象13											
14	対象14											
15	対象15											
16	対象16											
17	対象17											
18	対象18											
19	対象19											

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 95%

上の[図 7 6]の画面の表にデーターを入力していきたいのですが、入力する前に、表の入力可能行数が50行と少ないので、表の入力可能行数が500行に増加したいと思います。これからその手順を説明いたします。

上の[図 7 6]の画面のボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると次の[図 7 7]の画面になります。

【図 7 7】

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ)	入力BA1
入力AA2	入力BA2
入力AA3	入力BA3
入力AA4	入力BA4
入力AA5	入力BA5
入力AA6	入力BA6
入力AA7	入力BA7
入力AA8	入力BA8
入力AA9	入力BA9
入力AA10	入力BA10
入力AB1	入力BB1
入力AB2	入力BB2
入力AB3	入力BB3
入力AB4	入力BB4
入力AB5	入力BB5
入力AB6	入力BB6
入力AB7	入力BB7
入力AB8	入力BB8
入力AB9	入力BB9
入力AB10	入力BB10

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の【図 7 7】の画面のタブ **処理呼出6** を選択すると次の【図 7 8】の画面になります。

【図 7 8】

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | **処理呼出6** | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷

選択入力シート行追加削除処理呼出	選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出
入力シート行調整消去処理呼出	選択編集シート行挿入罫線区切り無しDATA入力準備処理呼出
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出	選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出
入力シート行調整消去等処理罫線区切り無し処理呼出	選択編集シート行削除DATA入力準備罫線無し準備処理呼出
入力罫線5本区切り作成処理呼出	選択編集シート罫線5本区切り作成処理呼出
入力罫線区切り無し作成処理呼出	選択編集シート罫線5本区切り無し作成処理呼出
選択入力シート罫線5本区切り作成処理呼出	選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出
選択入力シート罫線区切り無し作成処理呼出	選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り無し処理呼出

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

MeinFileへ移動 セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の【図 7 8】の画面のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると次の【図 7 9】の画面になります。

[図 7 9]

上ののチェックボックス

☐ 入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

にチェックを入れて

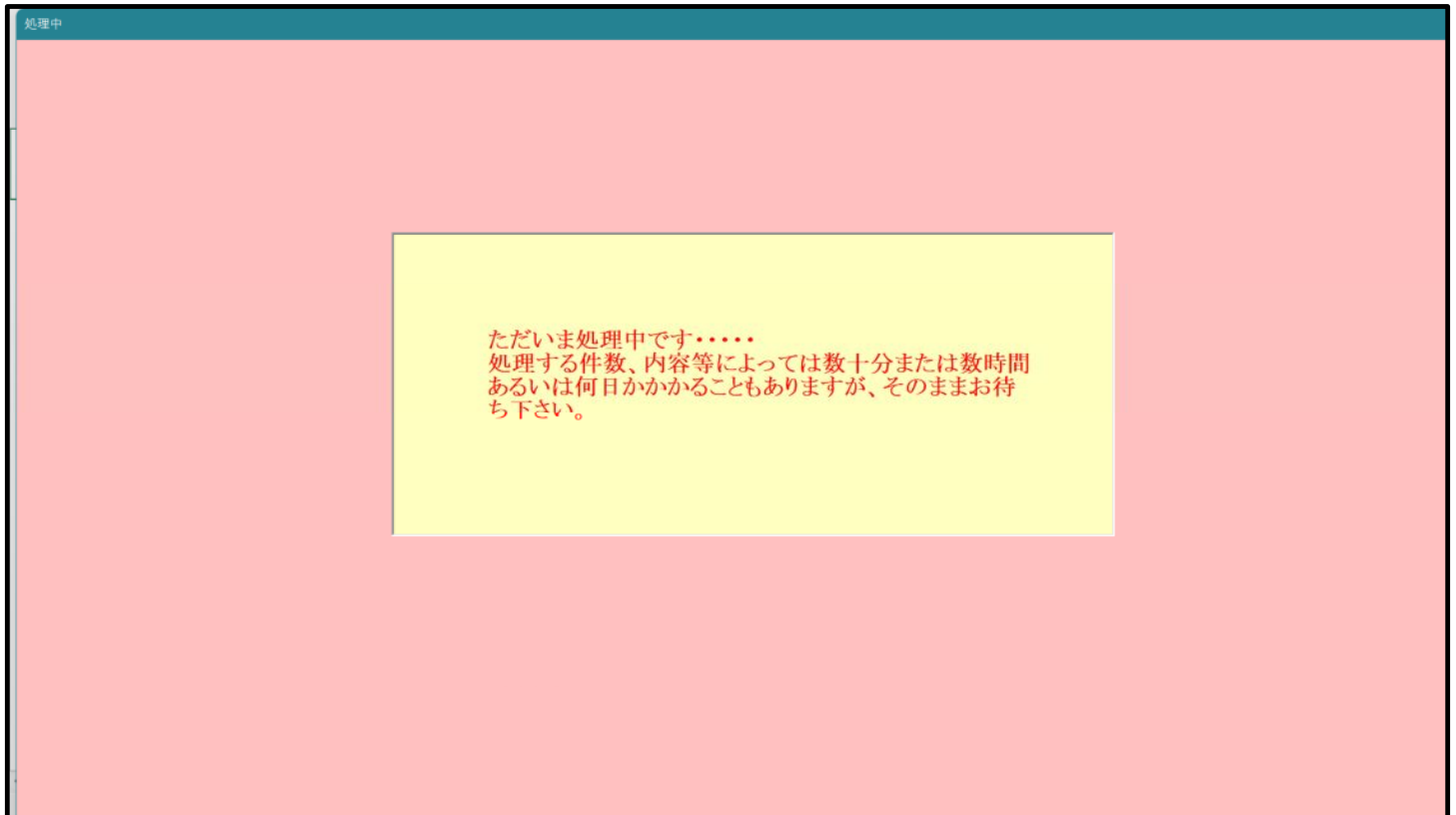
☒ 入力AA1 (高校入試通知書等作成データー)

として、そして  に  と入力し、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると表の入力可能行数の追加処理が開始されます。表の入力可能行数の追加処理が開始されると次の[図 8 0]の画面が表示され、追加処理が終了するとその下の[図 8 1]の画面が表示されます。

【図 8 0】



【図 8 1】



そして、上の【図 8 1】の画面の Command ボタン **キャンセル** をクリックすると、次の上の【図 8 2】の画面のようになり、入力シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の表の入力可能行数が 500 行になっていることが確認できます。

【図 8 2】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 500行

入力AA 1 (高校入試通知書等作成データー)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの障害につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データーのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	受験番号	受験生氏名	が受験生ふりがな	受験生性別	受験生中学校コード	受験生出身中学校	受験生市町村	受験生出身中学校長宛	受験生学科等1	受験生学科等2	受験生学科等3	受験生通知書作成命令
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
		行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801
1	対象1												
2	対象2												
3	対象3												
4	対象4												
5	対象5												
6	対象6												
7	対象7												
8	対象8												
9	対象9												
10	対象10												
11	対象11												
12	対象12												
13	対象13												
14	対象14												
15	対象15												
16	対象16												
17	対象17												
18	対象18												
19	対象19												

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 95%

これで、入力シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データー)」の表の入力可能行数を 5 0 0 行に追加する手順についての説明は終了します。
そして、【図 8 2】の画面の表にデーターを入力したのが次の【図 8 3】の画面です。ただし、この入力データーはテスト用のものです。

【図 8 3】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 500行

入力AA1高校入試通知書等作成データー

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの障害につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び貼り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データーのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	受験番号	受験生氏名	受験生ふりがな	受験生性別	受験生中学校コード	受験生出身中学校	受験生市町村	受験生出身中学校	受験生学科等1	受験生学科等2	受験生学科等3	受験生通知書
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
		行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801	行801
1	対象1	5001	受験者氏名1	ふりがな1	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
2	対象2	5002	受験者氏名2	ふりがな2	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
3	対象3	5003	受験者氏名3	ふりがな3	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
4	対象4	5004	受験者氏名4	ふりがな4	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
5	対象5	5005	受験者氏名5	ふりがな5	男	105	中学校105			〇〇〇〇105	普通科	専門科以外	否
6	対象6	5006	受験者氏名6	ふりがな6	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
7	対象7	5007	受験者氏名7	ふりがな7	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
8	対象8	5008	受験者氏名8	ふりがな8	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
9	対象9	5009	受験者氏名9	ふりがな9	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
10	対象10	5010	受験者氏名10	ふりがな10	男	1701	中学校1701			〇〇〇〇1701	普通科	専門科以外	否
11	対象11	5011	受験者氏名11	ふりがな11	男	125	中学校125			〇〇〇〇125	普通科	専門科以外	否
12	対象12	5012	受験者氏名12	ふりがな12	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
13	対象13	5013	受験者氏名13	ふりがな13	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
14	対象14	5014	受験者氏名14	ふりがな14	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否
15	対象15	5015	受験者氏名15	ふりがな15	男	105	中学校105			〇〇〇〇105	普通科	専門科以外	否
16	対象16	5016	受験者氏名16	ふりがな16	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
17	対象17	5017	受験者氏名17	ふりがな17	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
18	対象18	5018	受験者氏名18	ふりがな18	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
19	対象19	5019	受験者氏名19	ふりがな19	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
20	対象20	5020	受験者氏名20	ふりがな20	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
21	対象21	5021	受験者氏名21	ふりがな21	男	205	中学校205			〇〇〇〇205	普通科	専門科以外	否
22	対象22	5022	受験者氏名22	ふりがな22	男	1202	中学校1202			〇〇〇〇1202	普通科	専門科以外	否
23	対象23	5023	受験者氏名23	ふりがな23	男	1202	中学校1202			〇〇〇〇1202	普通科	専門科以外	否
24	対象24	5024	受験者氏名24	ふりがな24	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇1103	普通科	専門科以外	否

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 95%

(2) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm のシートの設定:

ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

を立ち上げシート「シート名設定」を選択すると次の[図 8 4]の画面のようになります。但し画面の表示倍率は50%です。

[図 8 4]

[illegible]

上の[図 8 4]の画面でセルの値を次の[図 8 5]の画面のように変更します。

[图 8 5]

自動保存

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

コメント共有

上書き保存

シート選択 - 一覧表付ファイルの作成と管理

<注意> 変更するシートの名称を元の入力時は、黄色いシートを選択。一覧表付ファイルの新規登録をクリックし、新規更新に該当したコピーと対応するファイル名で保存すると自動的にワークブック作業簿が自動生成されエクセルファイルになります。下準備、必要となるプログラムが提供されます。システムが構築される図柄があります。

また、同じ名前を入力した場合も追加された図柄の場合もシステムが検知できる図柄が表示されているためにはなりません。

なお、[編集]ボタンは右クリックして開くこともできます。(※) システムが検知できない図柄がある場合は、その図柄を表示します。

<注> 説明書目次

No.	シート名・インターフェース表番号	No.	シート名・インターフェース表番号	No.	シート名・インターフェース表番号	No.	シート名・インターフェース表番号	No.	シート名・インターフェース表番号
1	シート名決定	51	シート名決定	101	シート名決定	151	シート名決定	201	シート名決定
2	シート名決定	52	シート名決定	102	シート名決定	152	シート名決定	202	シート名決定
3	シート名決定	53	シート名決定	103	シート名決定	153	シート名決定	203	シート名決定
4	シート名決定	54	シート名決定	104	シート名決定	154	シート名決定	204	シート名決定
5	シート名決定	55	シート名決定	105	シート名決定	155	シート名決定	205	シート名決定
6	シート名決定	56	シート名決定	106	シート名決定	156	シート名決定	206	シート名決定
7	シート名決定	57	シート名決定	107	シート名決定	157	シート名決定	207	シート名決定
8	シート名決定	58	シート名決定	108	シート名決定	158	シート名決定	208	シート名決定
9	シート名決定	59	シート名決定	109	シート名決定	159	シート名決定	209	シート名決定
10	シート名決定	60	シート名決定	110	シート名決定	160	シート名決定	210	シート名決定
11	シート名決定	61	シート名決定	111	シート名決定	161	シート名決定	211	シート名決定
12	シート名決定	62	シート名決定	112	シート名決定	162	シート名決定	212	シート名決定
13	シート名決定	63	シート名決定	113	シート名決定	163	シート名決定	213	シート名決定
14	シート名決定	64	シート名決定	114	シート名決定	164	シート名決定	214	シート名決定
15	シート名決定	65	シート名決定	115	シート名決定	165	シート名決定	215	シート名決定
16	シート名決定	66	シート名決定	116	シート名決定	166	シート名決定	216	シート名決定
17	シート名決定	67	シート名決定	117	シート名決定	167	シート名決定	217	シート名決定
18	シート名決定	68	シート名決定	118	シート名決定	168	シート名決定	218	シート名決定
19	シート名決定	69	シート名決定	119	シート名決定	169	シート名決定	219	シート名決定
20	シート名決定	70	シート名決定	120	シート名決定	170	シート名決定	220	シート名決定
21	シート名決定	71	シート名決定	121	シート名決定	171	シート名決定	221	シート名決定
22	シート名決定	72	シート名決定	122	シート名決定	172	シート名決定	222	シート名決定
23	シート名決定	73	シート名決定	123	シート名決定	173	シート名決定	223	シート名決定
24	シート名決定	74	シート名決定	124	シート名決定	174	シート名決定	224	シート名決定
25	シート名決定	75	シート名決定	125	シート名決定	175	シート名決定	225	シート名決定
26	シート名決定	76	シート名決定	126	シート名決定	176	シート名決定	226	シート名決定
27	シート名決定	77	シート名決定	127	シート名決定	177	シート名決定	227	シート名決定
28	シート名決定	78	シート名決定	128	シート名決定	178	シート名決定	228	シート名決定
29	シート名決定	79	シート名決定	129	シート名決定	179	シート名決定	229	シート名決定
30	シート名決定	80	シート名決定	130	シート名決定	180	シート名決定	230	シート名決定
31	シート名決定	81	シート名決定	131	シート名決定	181	シート名決定	231	シート名決定
32	シート名決定	82	シート名決定	132	シート名決定	182	シート名決定	232	シート名決定
33	シート名決定	83	シート名決定	133	シート名決定	183	シート名決定	233	シート名決定
34	シート名決定	84	シート名決定	134	シート名決定	184	シート名決定	234	シート名決定
35	シート名決定	85	シート名決定	135	シート名決定	185	シート名決定	235	シート名決定
36	シート名決定	86	シート名決定	136	シート名決定	186	シート名決定	236	シート名決定
37	シート名決定	87	シート名決定	137	シート名決定	187	シート名決定	237	シート名決定
38	シート名決定	88	シート名決定	138	シート名決定	188	シート名決定	238	シート名決定
39	シート名決定	89	シート名決定	139	シート名決定	189	シート名決定	239	シート名決定
40	シート名決定	90	シート名決定	140	シート名決定	190	シート名決定	240	シート名決定
41	シート名決定	91	シート名決定	141	シート名決定	191	シート名決定	241	シート名決定
42	シート名決定	92	シート名決定	142	シート名決定	192	シート名決定	242	シート名決定
43	シート名決定	93	シート名決定	143	シート名決定	193	シート名決定	243	シート名決定
44	シート名決定	94	シート名決定	144	シート名決定	194	シート名決定	244	シート名決定
45	シート名決定	95	シート名決定	145	シート名決定	195	シート名決定	245	シート名決定
46	シート名決定	96	シート名決定	146	シート名決定	196	シート名決定	246	シート名決定
47	シート名決定	97	シート名決定	147	シート名決定	197	シート名決定	247	シート名決定
48	シート名決定	98	シート名決定	148	シート名決定	198	シート名決定	248	シート名決定
49	シート名決定	99	シート名決定	149	シート名決定	199	シート名決定	249	シート名決定
50	シート名決定	100	シート名決定	150	シート名決定	200	シート名決定	250	シート名決定

準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

50%

つまり

14	一覧表付ファイル作成入力設定1
15	一覧表付ファイル作成入力設定2

の部分

14	一学期中間考查一覧表付ファイル作成入力設定1
15	修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2

に、

119	印刷フォーム1
120	印刷フォーム2

の部分

119	一学期中間考查印刷フォーム1
120	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

に、

149	印刷フォーム1ソートデーター
150	印刷フォーム2ソートデーター

の部分

149	一学期中間考査印刷フォーム1ソートデーター
150	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター

に、それぞれ変更します。そして、右側のセルのように値を変更した後、左側の数値のセルの部分をダブルクリックするとシート名が変更されて変更されたシート選択がされます。

たとえば、

14 一覧表付ファイル作成入力設定1

の右側のセルの値を

14 一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1

と変更し、左側のセル **14** をダブルクリックするとシート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」が選択されて次の[図86]の画面のようになります。他のケースについても同様です。シート名を変更した全ての部分について、同様の操作を行ってください。

[図86]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1

1. 入力元の設定

項目	設定	内容
シート名		
デ	一	タ
デ	一	タ
異	同	比
デ	一	タ
For	Next	の

2. 入力先の設定

項目	設定	内容
シート名		
入	力	先
入	力	先
入	力	最
入	力	最
入	力	最
通	し	ベ
通	し	ベ
区	分	内
区	分	内

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項目	設定	内容
印刷処理か ファイルの メール送信 の設定		
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号		
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号		
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号		
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダ		

(3) ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版)のシート「63結合ファイル作成コピー用」の印刷フォームシートへの複写について：

この複写処理をおこなう前に、以後の処理を比較的やりやすくするために複写先のシート等の背景色を設定したいと思います。但しこの背景色の設定は必ずやる必要はありません。

それでは背景色の設定の仕方について説明いたします。

各シートに配置されているコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックする

と、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定処理」が表示され、次の[図87]の画面が

表示されます。但し[図87]の画面はタブ

シート選択, 処理呼出1

が選択されている状態です。

[図 8 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

DataFile開閉等 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォーム印刷

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	ファイル作成コピー用63結合	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | データファイルへ移動呼出 | キャンセル | システム終了

上の[図 8 7]の画面のタブ **処理呼出5** を選択すると次の[図 8 8]の画面になります。

[図 8 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

DataFile開閉等 | シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | **処理呼出5** | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA,BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォーム印刷

選択編集シート編集領域色無し処理呼出
全編集シート編集領域色無し処理
選択編集シート編集領域色塗り替え処理呼出
全編集シート編集領域色選択処理

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | データファイルへ移動呼出 | キャンセル | システム終了

上の[図 8 8]の画面のコマンドボタン

選択編集シート編集領域色塗り替え処理呼出

をクリックすると次の[図 8 9]の画面になります。

[図 8 9]

選択編集シート編集領域色塗り替え処理

Page1 (印刷フォームシートデータ) | Page2 (印刷フォーム) | Page3(追加シート1～30) | Page4(追加シート31～60) | Page5(追加シート61～64)

1 色の選択
色の番号の入力

3 処理
全シート選択 全チェックキャンセル
Page1シート全選択 Page1チェックキャンセル
色塗り替え処理開始

2 編集領域色塗り替え処理対象シート選択

☐ 一学期中間考査印刷フォーム1シートデータ	☐ 印刷フォーム16シートデータ
☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデータ	☐ 印刷フォーム17シートデータ
☐ 印刷フォーム3シートデータ	☐ 印刷フォーム18シートデータ
☐ 印刷フォーム4シートデータ	☐ 印刷フォーム19シートデータ
☐ 印刷フォーム5シートデータ	☐ 印刷フォーム20シートデータ
☐ 印刷フォーム6シートデータ	☐ 印刷フォーム21シートデータ
☐ 印刷フォーム7シートデータ	☐ 印刷フォーム22シートデータ
☐ 印刷フォーム8シートデータ	☐ 印刷フォーム23シートデータ
☐ 印刷フォーム9シートデータ	☐ 印刷フォーム24シートデータ
☐ 印刷フォーム10シートデータ	☐ 印刷フォーム25シートデータ
☐ 印刷フォーム11シートデータ	☐ 印刷フォーム26シートデータ
☐ 印刷フォーム12シートデータ	☐ 印刷フォーム27シートデータ
☐ 印刷フォーム13シートデータ	☐ 印刷フォーム28シートデータ
☐ 印刷フォーム14シートデータ	☐ 印刷フォーム29シートデータ
☐ 印刷フォーム15シートデータ	☐ 印刷フォーム30シートデータ

色の番号調査・入力へ キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

そして、上の[図 8 9]の画面の Command ボタン **色の番号調査・入力へ** をクリックすると次の[図 9 0]の画面になります。

[図 9 0]

色の番号調査・入力

左側の Command ボタンの番号は、右の対応する位置の色のカラーコードを表しています。対応する Command ボタンをクリックすると、この画面の前の画面「選択編集シート編集領域色塗り替え処理」の「色の番号の入力」欄に塗りたい色に対応するカラーコードが入力されます。

<注意> 右の「色なし」は「0」を指定								番号
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
1	53	52	51	49	11	55	56	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
9	46	12	10	14	5	47	16	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
3	45	43	50	42	41	13	48	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
7	44	6	4	8	33	54	15	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
38	40	36	35	34	37	39	2	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
17	18	19	20	21	22	23	24	
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
25	26	27	28	29	30	31	32	

キャンセル 戻る

色無し
色なし

上の[図 9 0]の画面の右側の色のサンプル



のうち  の色を背景色として設定したいので上の[図 9 0]の画面の左側の

<注意> 右の「色なし」は「0」を指定							番号
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
1	53	52	51	49	11	55	56
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
9	46	12	10	14	5	47	16
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
3	45	43	50	42	41	13	48
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
7	44	6	4	8	33	54	15
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
38	40	36	35	34	37	39	2
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
17	18	19	20	21	22	23	24
番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号	番号
25	26	27	28	29	30	31	32

中から  と相対的に同じ位置にある

番号
17

 の部分をクリックすると次の[図 9 1]の画面が表示されます。

[図 9 1]

選択編集シート編集領域色塗り替え処理

Page1 (印刷フォームソートデータ) | Page2 (印刷フォーム) | Page3G追加シート1～30 | Page4G追加シート31～60 | Page5G追加シート61～64 |

1 色の選択
色の番号の入力

3 処理

全シート選択

全チェックキャンセル

色塗り替え処理開始

Page1シート全選択

Page1チェックキャンセル

2 編集領域色塗り替え処理対象シート選択

☐ 一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ	☐ 印刷フォーム16ソートデータ
☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ	☐ 印刷フォーム17ソートデータ
☐ 印刷フォーム3ソートデータ	☐ 印刷フォーム18ソートデータ
☐ 印刷フォーム4ソートデータ	☐ 印刷フォーム19ソートデータ
☐ 印刷フォーム5ソートデータ	☐ 印刷フォーム20ソートデータ
☐ 印刷フォーム6ソートデータ	☐ 印刷フォーム21ソートデータ
☐ 印刷フォーム7ソートデータ	☐ 印刷フォーム22ソートデータ
☐ 印刷フォーム8ソートデータ	☐ 印刷フォーム23ソートデータ
☐ 印刷フォーム9ソートデータ	☐ 印刷フォーム24ソートデータ
☐ 印刷フォーム10ソートデータ	☐ 印刷フォーム25ソートデータ
☐ 印刷フォーム11ソートデータ	☐ 印刷フォーム26ソートデータ
☐ 印刷フォーム12ソートデータ	☐ 印刷フォーム27ソートデータ
☐ 印刷フォーム13ソートデータ	☐ 印刷フォーム28ソートデータ
☐ 印刷フォーム14ソートデータ	☐ 印刷フォーム29ソートデータ
☐ 印刷フォーム15ソートデータ	☐ 印刷フォーム30ソートデータ

色の番号調査・入力へ

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

上の[図 9 1]の画面で

- ☐ 一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
- ☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ

の部分にチェックを入れて

- ☒ 一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
- ☒ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデータ

とし、また上の[図 9 1]の画面でタブ Page2 (印刷フォーム) を選択すると次の[図 9 2]の画面になりますが、[図 9 2]の画面の

- ☐ 一学期中間考査印刷フォーム1
- ☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にもチェックを入れて

- ☒ 一学期中間考査印刷フォーム1
- ☒ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

とします。

[図 9 2]

選択編集シート編集領域色塗り替え処理

Page1 (印刷フォームシートデータ) | Page2 (印刷フォーム) | Page3G追加シート1～30 | Page4G追加シート31～60 | Page5G追加シート61～64 |

3 処理

全シート選択	全チェックキャンセル	色塗り替え処理開始
Page2シート全選択	Page2チェックキャンセル	

2 編集領域色塗り替え処理対象シート選択

☐ 一学期中間考査印刷フォーム1	☐ 印刷フォーム16
☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2	☐ 印刷フォーム17
☐ 印刷フォーム3	☐ 印刷フォーム18
☐ 印刷フォーム4	☐ 印刷フォーム19
☐ 印刷フォーム5	☐ 印刷フォーム20
☐ 印刷フォーム6	☐ 印刷フォーム21
☐ 印刷フォーム7	☐ 印刷フォーム22
☐ 印刷フォーム8	☐ 印刷フォーム23
☐ 印刷フォーム9	☐ 印刷フォーム24
☐ 印刷フォーム10	☐ 印刷フォーム25
☐ 印刷フォーム11	☐ 印刷フォーム26
☐ 印刷フォーム12	☐ 印刷フォーム27
☐ 印刷フォーム13	☐ 印刷フォーム28
☐ 印刷フォーム14	☐ 印刷フォーム29
☐ 印刷フォーム15	☐ 印刷フォーム30

色の番号調査・入力へ キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

そしたら、[図 9 2]の画面の Command ボタン **色塗り替え処理開始** をクリックするとチェックを入れた 4 個のシートの背景色の設定が開始されます。途中下の [図 9 3]の画面が表示され、[図 9 4]の画面が表示されたら処理は完了となります。

[図 9 3]

処理中

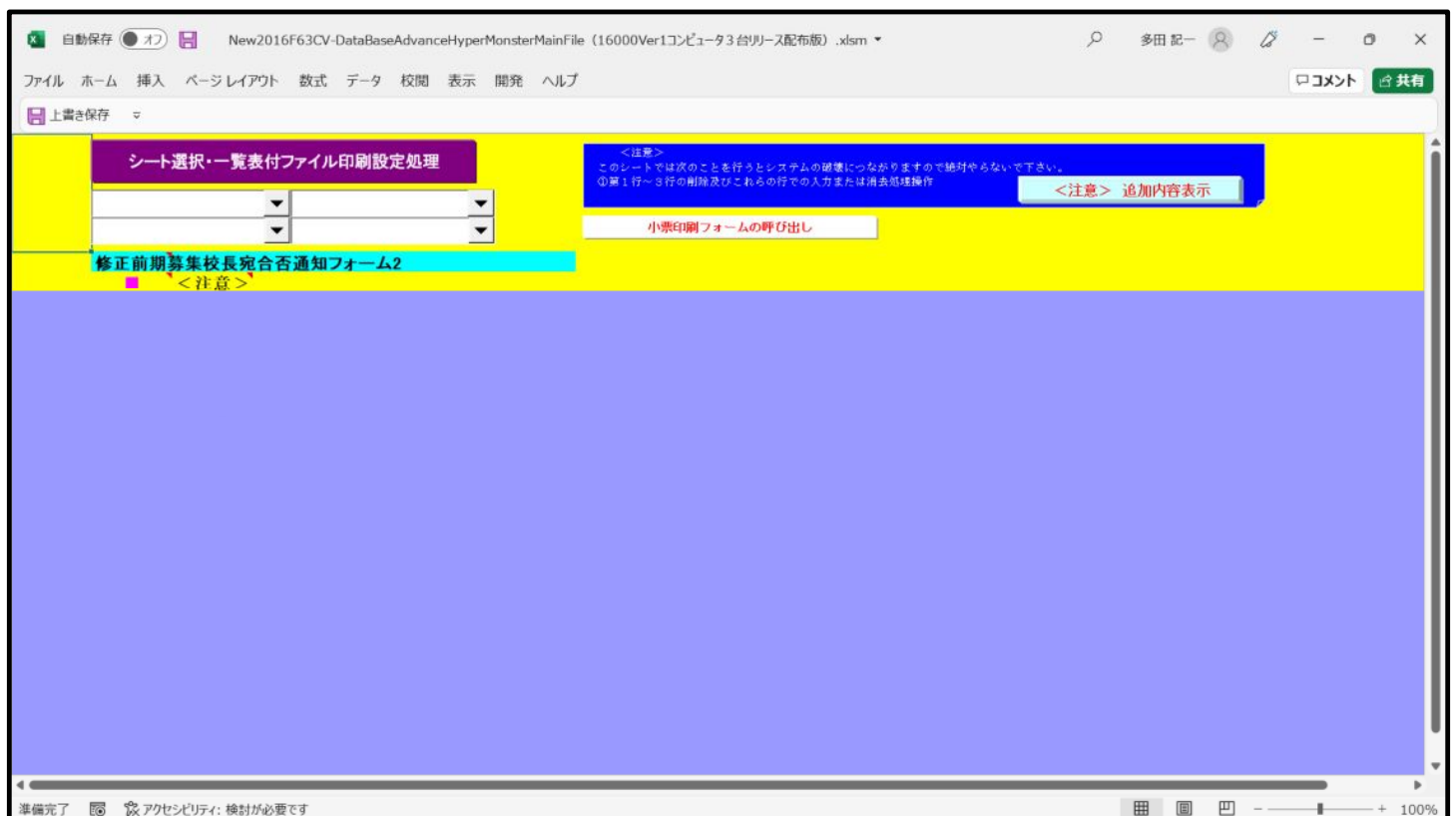
ただいま処理中です。
しばらくお待ち下さい。

【図 9 4】



因みに、上の【図 9 4】の画面のコマンドボタン **キャンセル** をクリックすると、シート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2 ソートデータ」が表示され、次の【図 9 5】の画面のようにになっていることが確認できます。

【図 9 5】



これでシートの背景色の設定の説明は終了いたします。

それでは、これからファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」の印刷フォームシートへの複写の仕方について説明いたします。

各シートに配置してあるコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックすると、

ユーザーフォーム「シート選択。一覧表付ファイル印刷設定処理」が表示され、次の[図 9 6]の画面が

表示されます。但し[図 9 6]の画面はタブ **DataFile開閉等** が選択されている状態のものです。

[図 9 6]の画面のタブ **処理呼出2** を選択すると [図 9 7]の画面になります。

[図 9 6]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定印刷			
DataFile開閉等	シート選択, 処理呼出1	処理呼出2	処理呼出3
処理呼出4	処理呼出5	処理呼出6	処理呼出7
処理呼出8	入力シートAA, AB, BA,BB選択	入力シートCA, CB, DA, DB選択	印刷フォームシート選択
印刷フォーム			
CallDataFileの登録シート選択			
選択DataFileOpen処理呼出			
選択DataFileClose処理呼出			
全DataFileを保存して閉じる			
現在ファイル名のMainFileとDataFileへの登録			
一括データファイルの全シート行追加削除処理呼出			
選択DataFile一括行追加削除処理呼出			
全DataFile一括行追加削除処理			
MainFile初期化处理			
DataFile一括初期化处理呼出			
選択DataFile一括初期化处理呼出			
MainFileとDataFileの一括初期化处理			
標準画面表示			
全画面表示			
シート見出し表示			
シート見出し非表示			
セルの広範囲選択呼出			
データファイルへ移動呼出			
キャンセル			
システム終了			

【図 9 7】

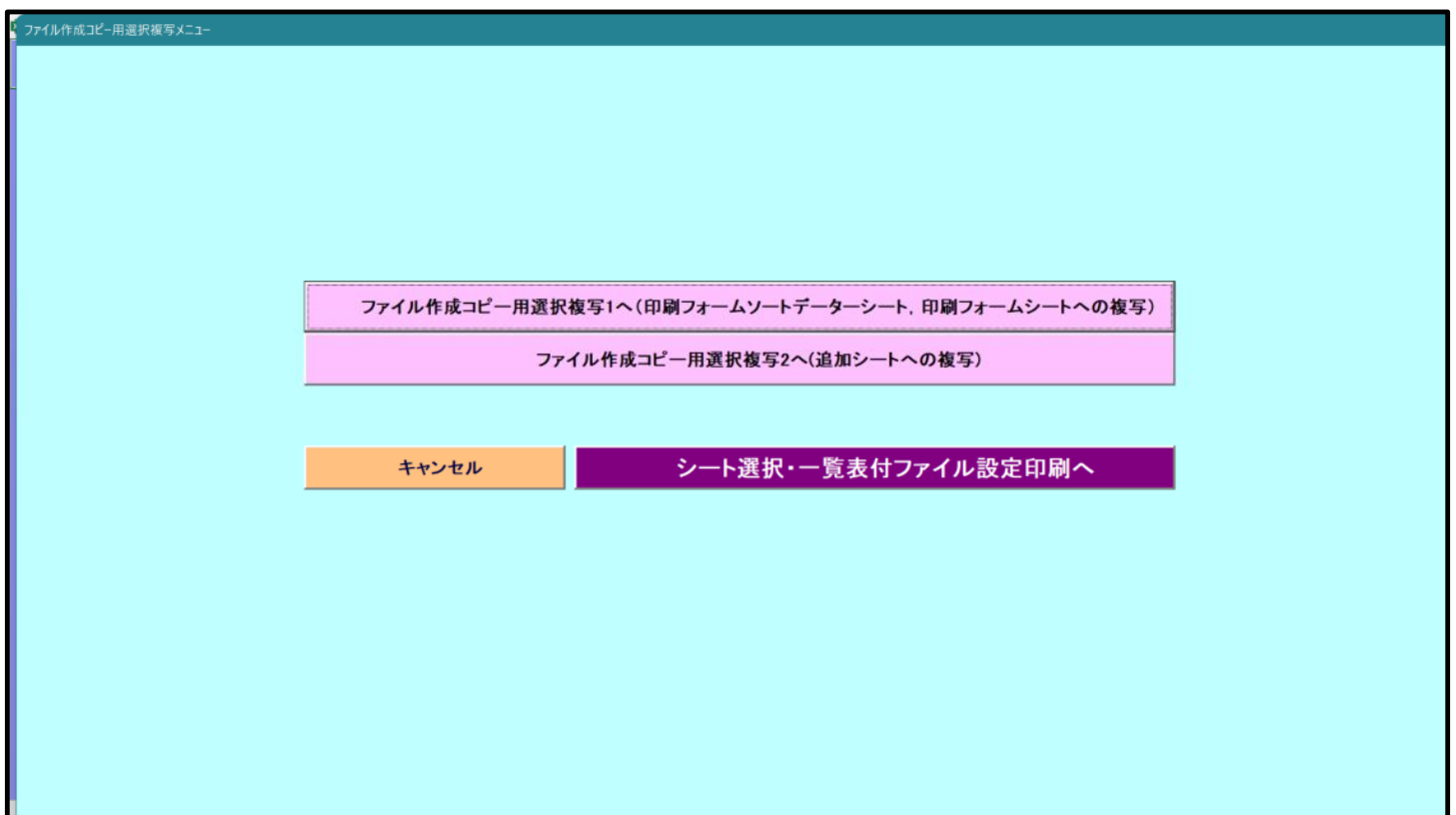


上の【図 9 7】の画面のコマンドボタン

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出

をクリックすると次の【図 9 8】の画面になります。

【9 8】



上の[図 9 8]画面のコマンドボタン

ファイル作成コピー用選択複写1へ(印刷フォームソートデータシート, 印刷フォームシートへの複写)

をクリックすると次の[図 9 9]画面になります。

[図 9 9]

そして、上の[図 9 9]画面のタブ **Page3 (印刷フォーム1～15への複写)** を選択すると次の[図 1 0 0]画面になります。

【図 1 0 0】

上の【図 1 0 0】の画面の

- ☐ 一学期中間考査印刷フォーム1
- ☐ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

の部分にチェックを入れて

- ☒ 一学期中間考査印刷フォーム1
- ☒ 修正前期募集校長宛合否通知フォーム2

とし、そしてこれらのチェックボックスの右側のコンボボックス

でそれぞれ

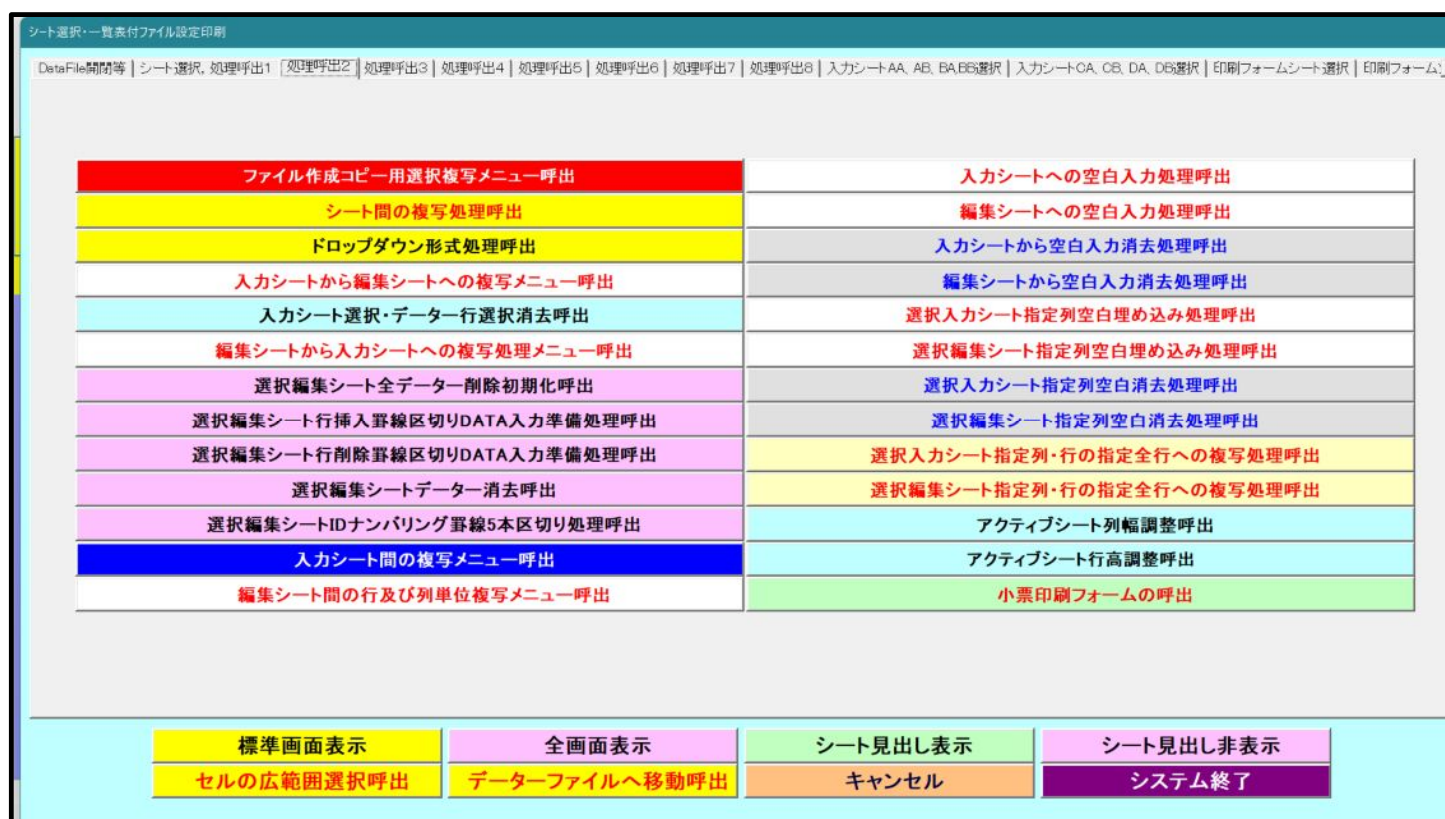
複写処理実行

と選択し、【図 1 0 0】の画面の Command ボタン **複写処理実行** をクリックすると、シート「6 3 結合ファイル作成コピー用」が 2 つの「印刷フォーム」シート「一学期中間考査印刷フォーム 1」「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」へ複写処理が開始されます。複写処理が開始され、途中【図 1 0 1】の画面が表示され、【図 1 0 2】の画面が表示されたら複写は完了となります。ただ、シート「6 3 結合ファイル作成コピー用」には複雑な関数が 40 列×25,000 行ほど入力されており、複写処理にはかなりの時間が必要です。

【図 1 0 1】



【図 1 0 2】

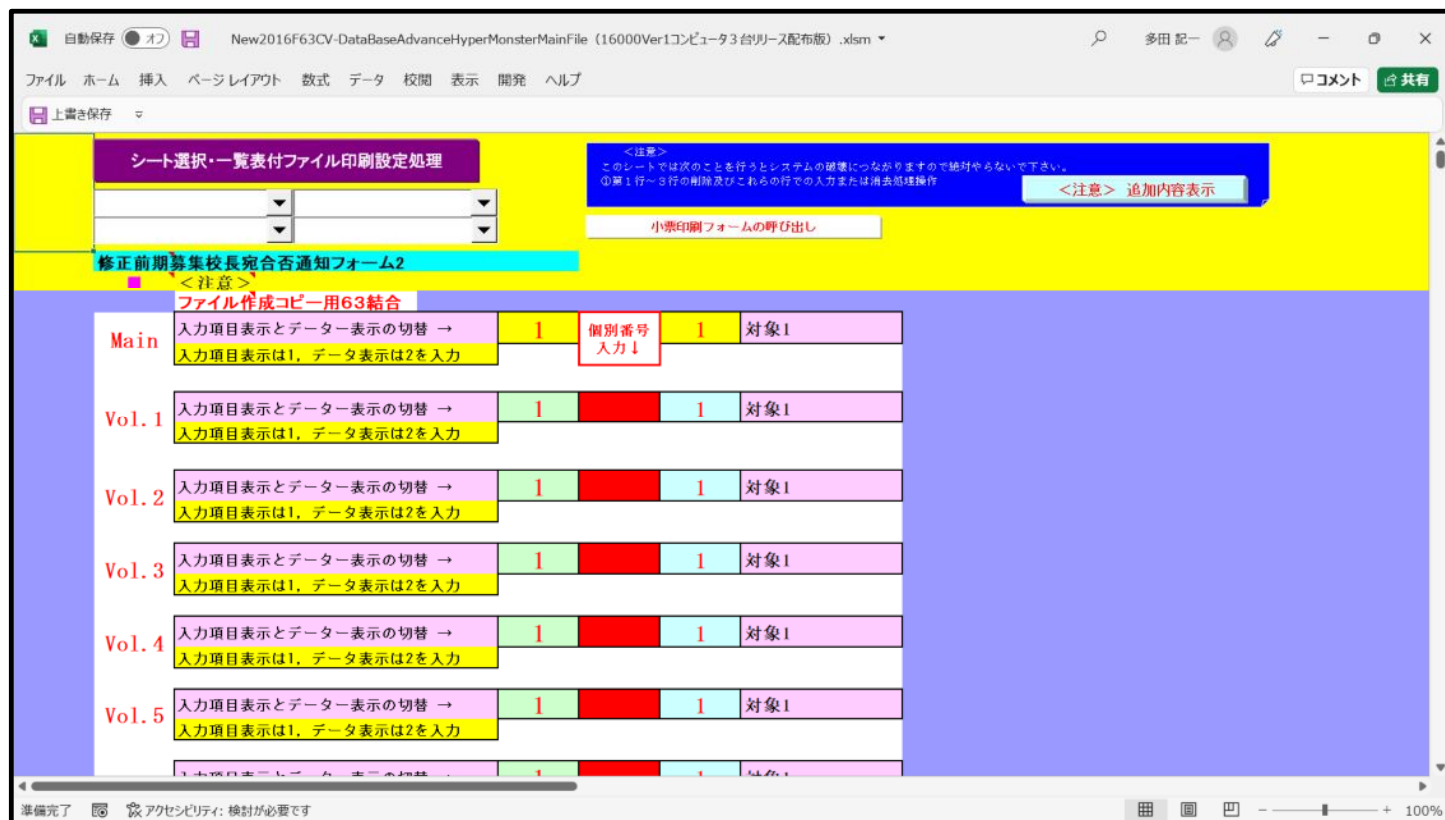


なお、上の【図 1 0 2】の画面のコマンドボタン

キャンセル

をクリックすると複写先のシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」が表示され次の【図 1 0 3】の画面のようになっていることが確認できます。

[図 103]



(4) 印刷フォームの様式作成について:

ここでは、印刷フォーム作成の仕方について印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」、「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2」を例に説明してまいります。

① 単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計：

ここでは、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

一学期中間考査のデーターは、データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

のシート「入力 AA1 一学期中間考査」において作成しました。

また、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「63 結合ファイル作成コピー用」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの2つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」を加工して、印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

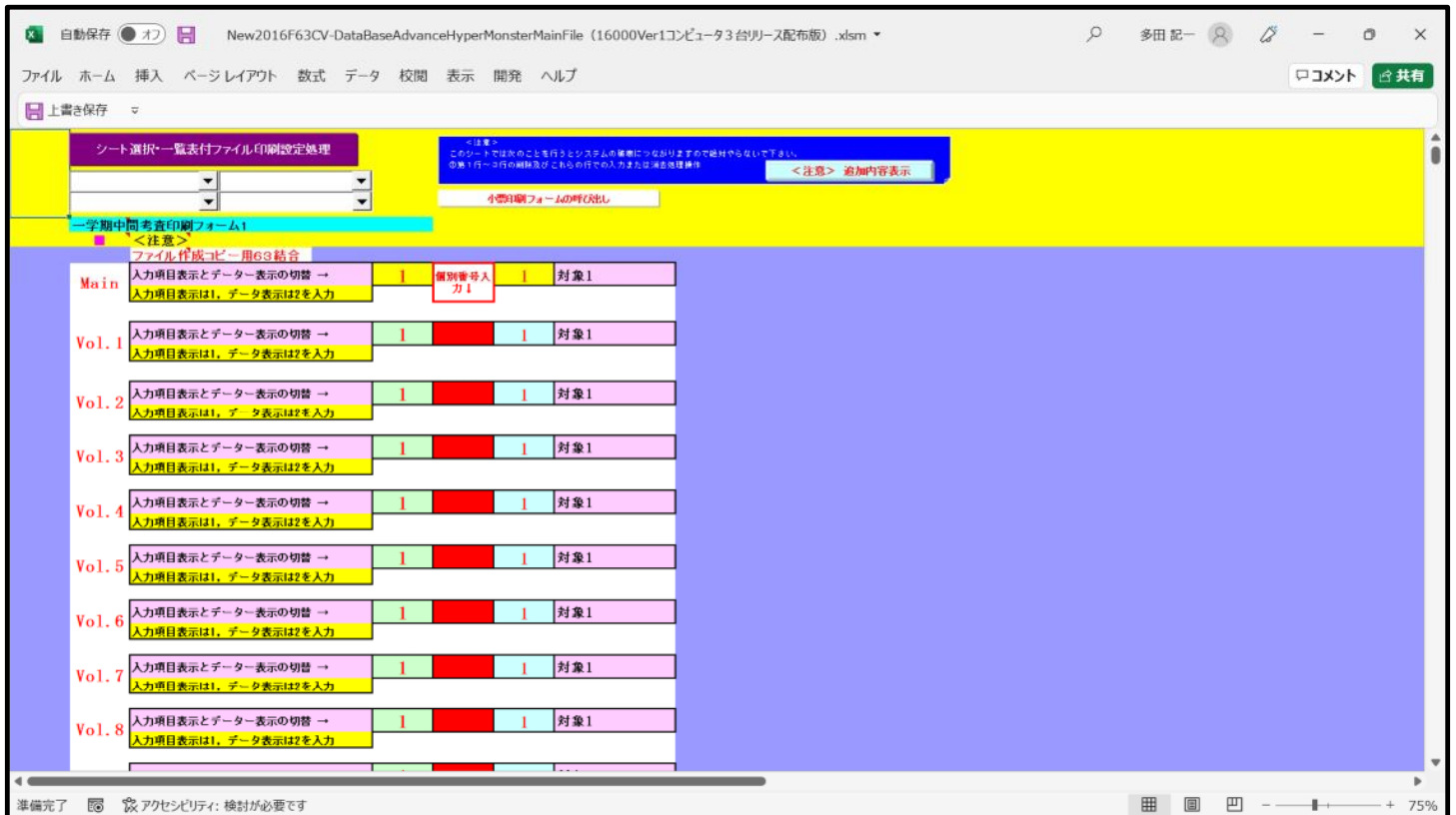
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を印刷フォームシート

「一学期中間考査印刷フォーム1」へ複写した印刷フォームシート

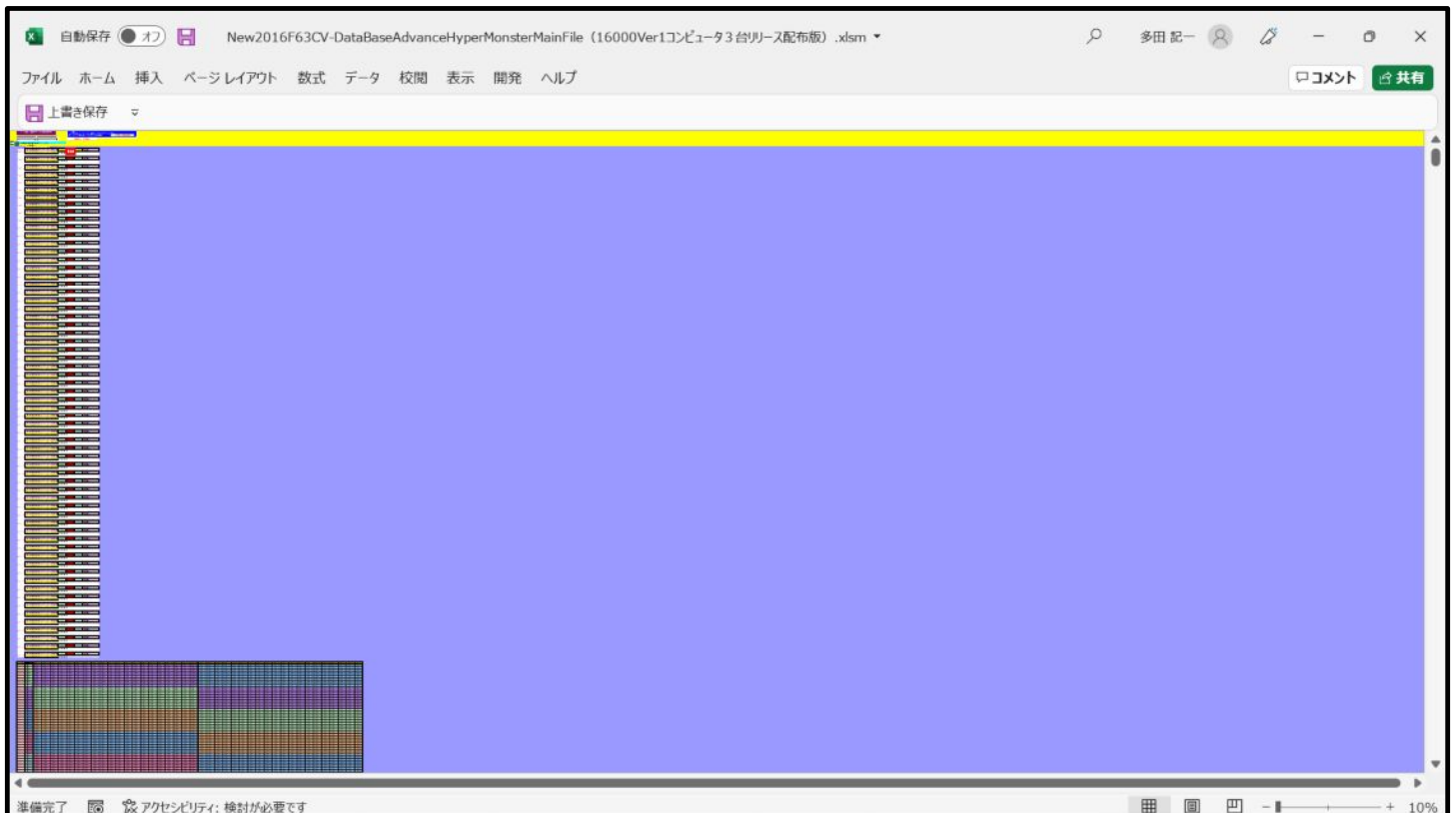
「一学期中間考査印刷フォーム 1」の状況は次の[図 104]の画面のようになっていました。

[図 104]



上の[図 1 0 4]の画面である程度のシートの全体の様子がつかめるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 0 5]の画面です。

[図 105]



ここで、上の[図104]の画面で印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム1」に関係のない部分つまりデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm のシート
「入力 AA1 一学期中間考査」の表示に関係のない部分を全て削除していきます。

具体的には、**Main** や **Vol.1** が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロールしながら **Vol.1** と表示されていない行および **Vol.1** と表示されていても

Vol.1	行401	氏名	しんいりりりり	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験番号	社会受験番号	数学受験番号	理科受験番号	英語受験番号	得点合計	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール作成名	メール本文	内容402,13	内容402,14	内容402,15	内容402,16	内容402,17	内容402,18	内容402,19	内容402,20	内容403,1	内容403,2	内容403,3	内容403,4
Vol.1	行403	内容403,1	内容403,2	内容403,3	内容403,4	内容403,5	内容403,6	内容403,7	内容403,8	内容403,9	内容403,10	内容403,11	内容403,12	内容403,13	内容403,14	内容403,15	内容403,16	内容403,17	内容403,18	内容403,19	内容403,20	内容404,1	内容404,2	内容404,3
Vol.1	行404	内容404,1	内容404,2	内容404,3	内容404,4	内容404,5	内容404,6	内容404,7	内容404,8	内容404,9	内容404,10	内容404,11	内容404,12	内容404,13	内容404,14	内容404,15	内容404,16	内容404,17	内容404,18	内容404,19	内容404,20	内容405,1	内容405,2	内容405,3
Vol.1	行405	内容405,1	内容405,2	内容405,3	内容405,4	内容405,5	内容405,6	内容405,7	内容405,8	内容405,9	内容405,10	内容405,11	内容405,12	内容405,13	内容405,14	内容405,15	内容405,16	内容405,17	内容405,18	内容405,19	内容405,20	内容406,1	内容406,2	内容406,3
Vol.1	行406	内容406,1	内容406,2	内容406,3	内容406,4	内容406,5	内容406,6	内容406,7	内容406,8	内容406,9	内容406,10	内容406,11	内容406,12	内容406,13	内容406,14	内容406,15	内容406,16	内容406,17	内容406,18	内容406,19	内容406,20	内容407,1	内容407,2	内容407,3
Vol.1	行407	内容407,1	内容407,2	内容407,3	内容407,4	内容407,5	内容407,6	内容407,7	内容407,8	内容407,9	内容407,10	内容407,11	内容407,12	内容407,13	内容407,14	内容407,15	内容407,16	内容407,17	内容407,18	内容407,19	内容407,20	内容408,1	内容408,2	内容408,3
Vol.1	行408	内容408,1	内容408,2	内容408,3	内容408,4	内容408,5	内容408,6	内容408,7	内容408,8	内容408,9	内容408,10	内容408,11	内容408,12	内容408,13	内容408,14	内容408,15	内容408,16	内容408,17	内容408,18	内容408,19	内容408,20	内容409,1	内容409,2	内容409,3
Vol.1	行409	内容409,1	内容409,2	内容409,3	内容409,4	内容409,5	内容409,6	内容409,7	内容409,8	内容409,9	内容409,10	内容409,11	内容409,12	内容409,13	内容409,14	内容409,15	内容409,16	内容409,17	内容409,18	内容409,19	内容409,20	内容410,1	内容410,2	内容410,3
Vol.1	行410	内容410,1	内容410,2	内容410,3	内容410,4	内容410,5	内容410,6	内容410,7	内容410,8	内容410,9	内容410,10	内容410,11	内容410,12	内容410,13	内容410,14	内容410,15	内容410,16	内容410,17	内容410,18	内容410,19	内容410,20	内容411,1	内容411,2	内容411,3

と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図106]の画面のようになります。

[図106]

それではこれから単票形式の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するための「印刷フォーム」シート等の印刷部分の設計をおこなってまいります。

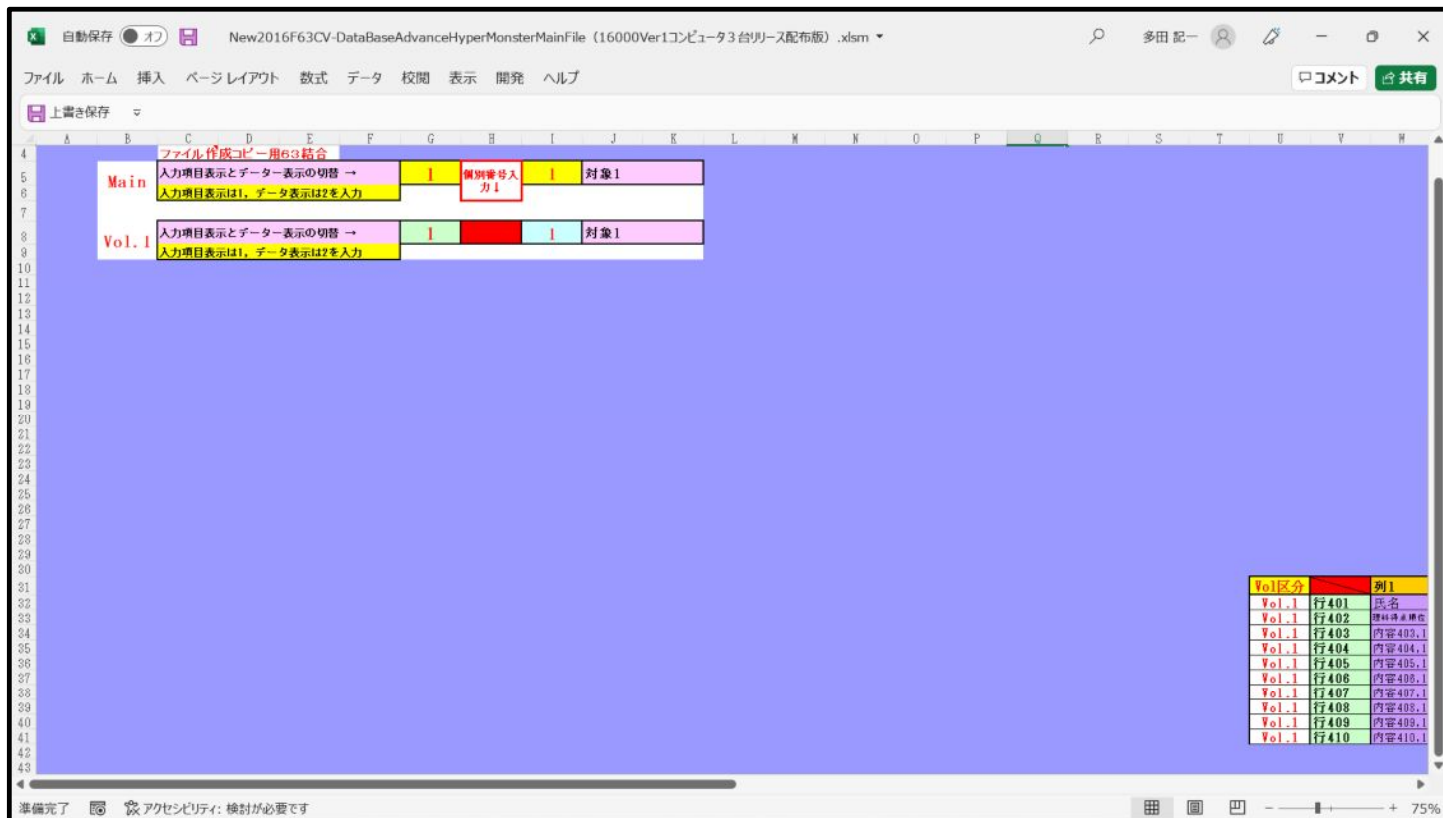
先ず、設計をおこなうための編集部分を確保する必要があります。

[図106]の画面の

Vol.区分	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20					
Vol.1	行401	氏名	しんいりりりり	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	国語受験番号	社会受験番号	数学受験番号	理科受験番号	英語受験番号	得点合計	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	
Vol.1	行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値	理科偏差値	英語偏差値	得点合計偏差値	メール作成名	メール本文	内容402,13	内容402,14	内容402,15	内容402,16	内容402,17	内容402,18	内容402,19	内容402,20	内容403,1	内容403,2	内容403,3	内容403,4	
Vol.1	行403	内容403,1	内容403,2	内容403,3	内容403,4	内容403,5	内容403,6	内容403,7	内容403,8	内容403,9	内容403,10	内容403,11	内容403,12	内容403,13	内容403,14	内容403,15	内容403,16	内容403,17	内容403,18	内容403,19	内容403,20	内容404,1	内容404,2	内容404,3	内容404,4
Vol.1	行404	内容404,1	内容404,2	内容404,3	内容404,4	内容404,5	内容404,6	内容404,7	内容404,8	内容404,9	内容404,10	内容404,11	内容404,12	内容404,13	内容404,14	内容404,15	内容404,16	内容404,17	内容404,18	内容404,19	内容404,20	内容405,1	内容405,2	内容405,3	内容405,4
Vol.1	行405	内容405,1	内容405,2	内容405,3	内容405,4	内容405,5	内容405,6	内容405,7	内容405,8	内容405,9	内容405,10	内容405,11	内容405,12	内容405,13	内容405,14	内容405,15	内容405,16	内容405,17	内容405,18	内容405,19	内容405,20	内容406,1	内容406,2	内容406,3	内容406,4
Vol.1	行406	内容406,1	内容406,2	内容406,3	内容406,4	内容406,5	内容406,6	内容406,7	内容406,8	内容406,9	内容406,10	内容406,11	内容406,12	内容406,13	内容406,14	内容406,15	内容406,16	内容406,17	内容406,18	内容406,19	内容406,20	内容407,1	内容407,2	内容407,3	内容407,4
Vol.1	行407	内容407,1	内容407,2	内容407,3	内容407,4	内容407,5	内容407,6	内容407,7	内容407,8	内容407,9	内容407,10	内容407,11	内容407,12	内容407,13	内容407,14	内容407,15	内容407,16	内容407,17	内容407,18	内容407,19	内容407,20	内容408,1	内容408,2	内容408,3	内容408,4
Vol.1	行408	内容408,1	内容408,2	内容408,3	内容408,4	内容408,5	内容408,6	内容408,7	内容408,8	内容408,9	内容408,10	内容408,11	内容408,12	内容408,13	内容408,14	内容408,15	内容408,16	内容408,17	内容408,18	内容408,19	内容408,20	内容409,1	内容409,2	内容409,3	内容409,4
Vol.1	行409	内容409,1	内容409,2	内容409,3	内容409,4	内容409,5	内容409,6	内容409,7	内容409,8	内容409,9	内容409,10	内容409,11	内容409,12	内容409,13	内容409,14	内容409,15	内容409,16	内容409,17	内容409,18	内容409,19	内容409,20	内容410,1	内容410,2	内容410,3	内容410,4
Vol.1	行410	内容410,1	内容410,2	内容410,3	内容410,4	内容410,5	内容410,6	内容410,7	内容410,8	内容410,9	内容410,10	内容410,11	内容410,12	内容410,13	内容410,14	内容410,15	内容410,16	内容410,17	内容410,18	内容410,19	内容410,20	内容411,1	内容411,2	内容411,3	内容411,4

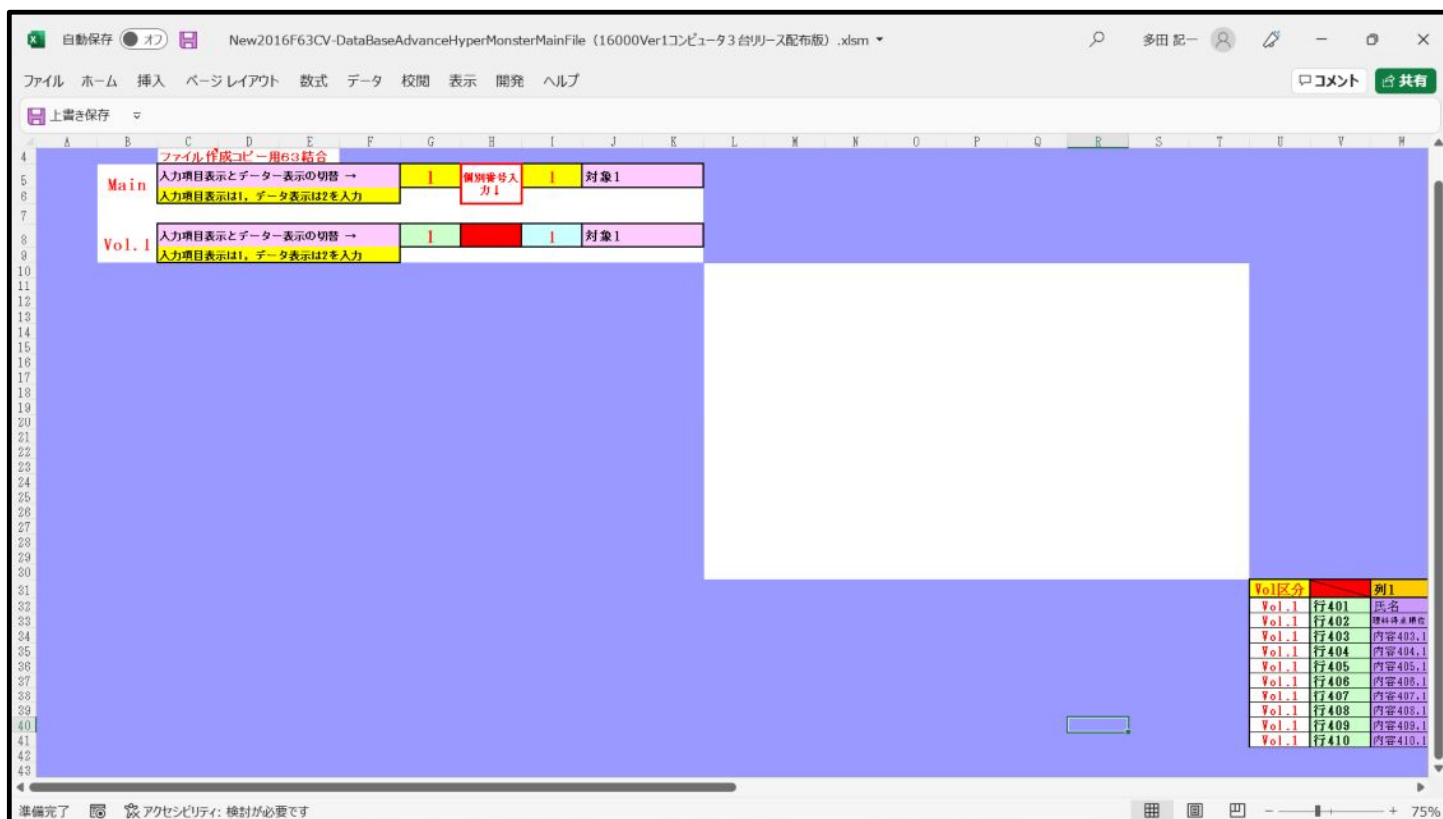
部分を切り取り、次の[図107]の画面の位置にとりあえず貼り付けておきます。

【図 1 0 7】



そして【図 1 0 7】の画面のにおいて、部分的に背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の【図 1 0 8】の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

【図 1 0 8】



上の【図 1 0 8】の画面の背景色を色抜きにした部分に、どのような様式に設計していくのかその

アウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の[図 109]の画面」です。但し、表示倍率を 40%としています。

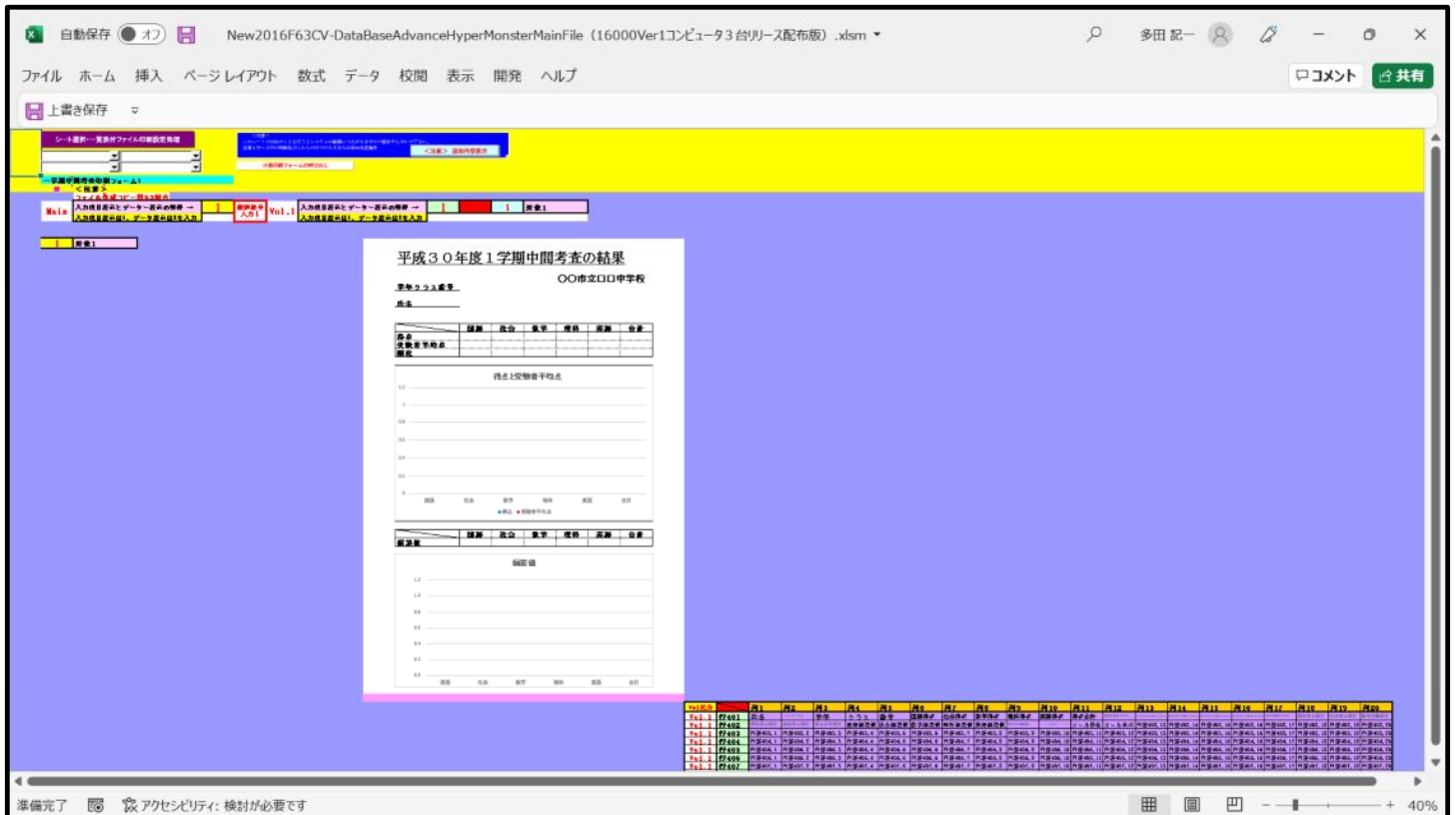
[図 109]

そして、上の[図 1 0 9]の画面の

Vol. 1	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1		1	対象1
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力				

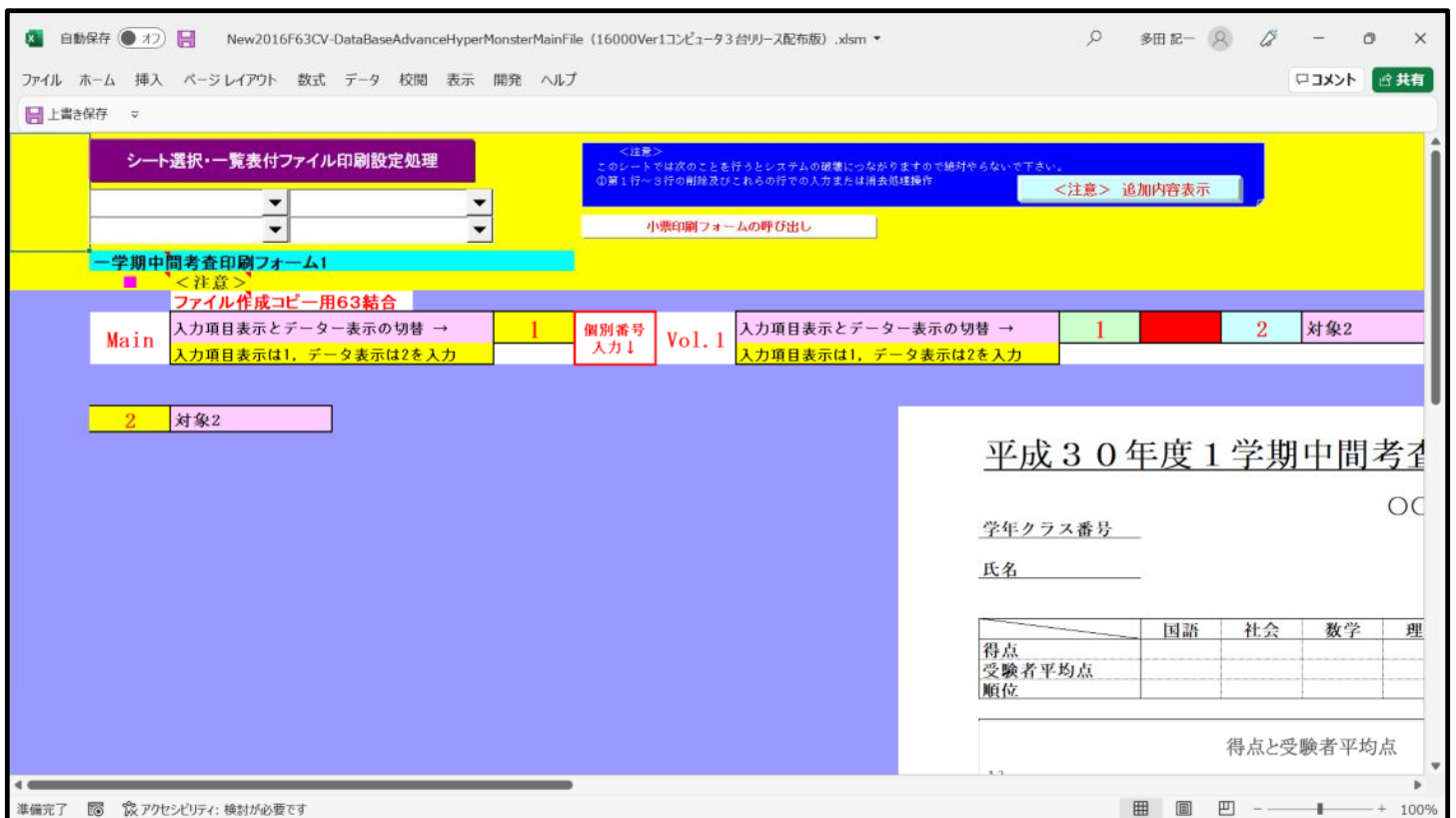
の部分を取り取って貼り付け、シートの行および列の削除も行い、次の[図 1 1 0]の画面のようにします。

【図 1 1 0】



次に上の図 1 1 0]の画面の表示倍率を 100%上げたのが次の【図 1 1 1】の画面です。

【図 1 1 1】



上の【図 1 1 1】の画面で画面分割をおこない、次の【図 1 1 2】の画面のように設定します。

[図 1 1 2]

平成30年度1学期中間考査の結果

〇〇市立〇〇中学校

学年クラス番号 _____

氏名 _____

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
得点						
受験者平均点						
順位						

Vol区分	列1	列2	列3	列4	列5	列6
Vol.1 行401	氏名	しめいふりがな	学年	クラス	番号	国語
Vol.1 行402	理科得点順位	英語得点順位	得点合計順位	国語偏差値	社会偏差値	数学偏差値
Vol.1 行403	内容403.1	内容403.2	内容403.3	内容403.4	内容403.5	内容403.6
Vol.1 行404	内容404.1	内容404.2	内容404.3	内容404.4	内容404.5	内容404.6
Vol.1 行405	内容405.1	内容405.2	内容405.3	内容405.4	内容405.5	内容405.6
Vol.1 行406	内容406.1	内容406.2	内容406.3	内容406.4	内容406.5	内容406.6
Vol.1 行407	内容407.1	内容407.2	内容407.3	内容407.4	内容407.5	内容407.6
Vol.1 行408	内容408.1	内容408.2	内容408.3	内容408.4	内容408.5	内容408.6
Vol.1 行409	内容409.1	内容409.2	内容409.3	内容409.4	内容409.5	内容409.6
Vol.1 行410	内容410.1	内容410.2	内容410.3	内容410.4	内容410.5	内容410.6

上の[図 1 1 2]の画面の左上の画面の学年クラス番号と表示されているセルを選択し、=を入力し
右下の画面のセル学年を選択して&と入力し、右下の画面のセルクラスを選択して
&と入力し、更に右下の画面のセル番号を選択して&と入力して Enter キーを押します。

つまり、左上の画面の学年クラス番号と表示されているセルには式

「=Z65&AA65&AB65」

が入力されて学年クラス番号表示されます。そして、と表示されている

セルを選択し、=を入力し右下の画面のセル氏名を選択して Enter キーを押します。つまり

と表示されているセルには式「=X65」が入力されて氏名と表示されます。

次に左上の国語の得点を表示するセルを選択し、=を入力したら右下の画面を右にスクロールさせてセル

国語得点を選択します。つまり、左上の画面の国語の得点を表示するセルには式「=AC65」が入力され、

セルは国語得点と表示されます。以下社会、数学、理科、英語、得点合計を表すセルについても同様な

操作を行っていきます。また、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の受験者平均点および国語、

社会、数学、理科、英語、得点合計の順位を表す各セルについても同様な操作で式を入力していきます。

上のこれらのセルの式の入力済んだら、分割画面を上下左右にスクロールさせて次の[図 1 1 3]の画面

のように設定して、国語、社会、数学、理科、英語、得点合計の偏差値を表すセルに同様に式を入力

していきます。これらの式の入力済んだ後画面分割を解除し表示倍率を 50%で表示したのがその次の

[図 1 1 4]の画面です。但し、表示内容がわかるように、式を入力した各セルは縮小して全体を表示する

ように設定してあります。

【図 1 1 3】

自動保存

オフ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版) .xslm

多田 記一

コメント

共有

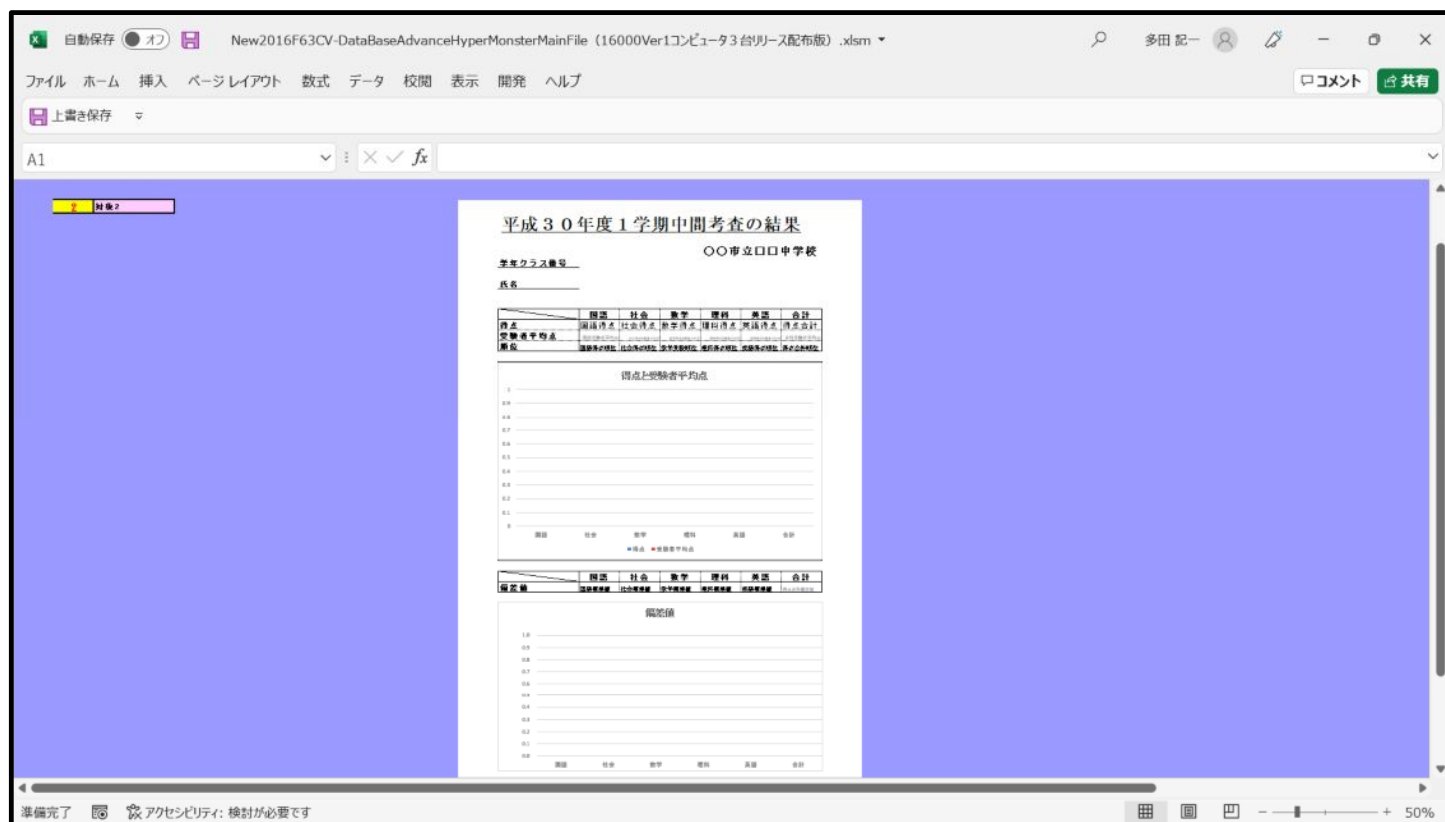
ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

上書き保存

P67

<

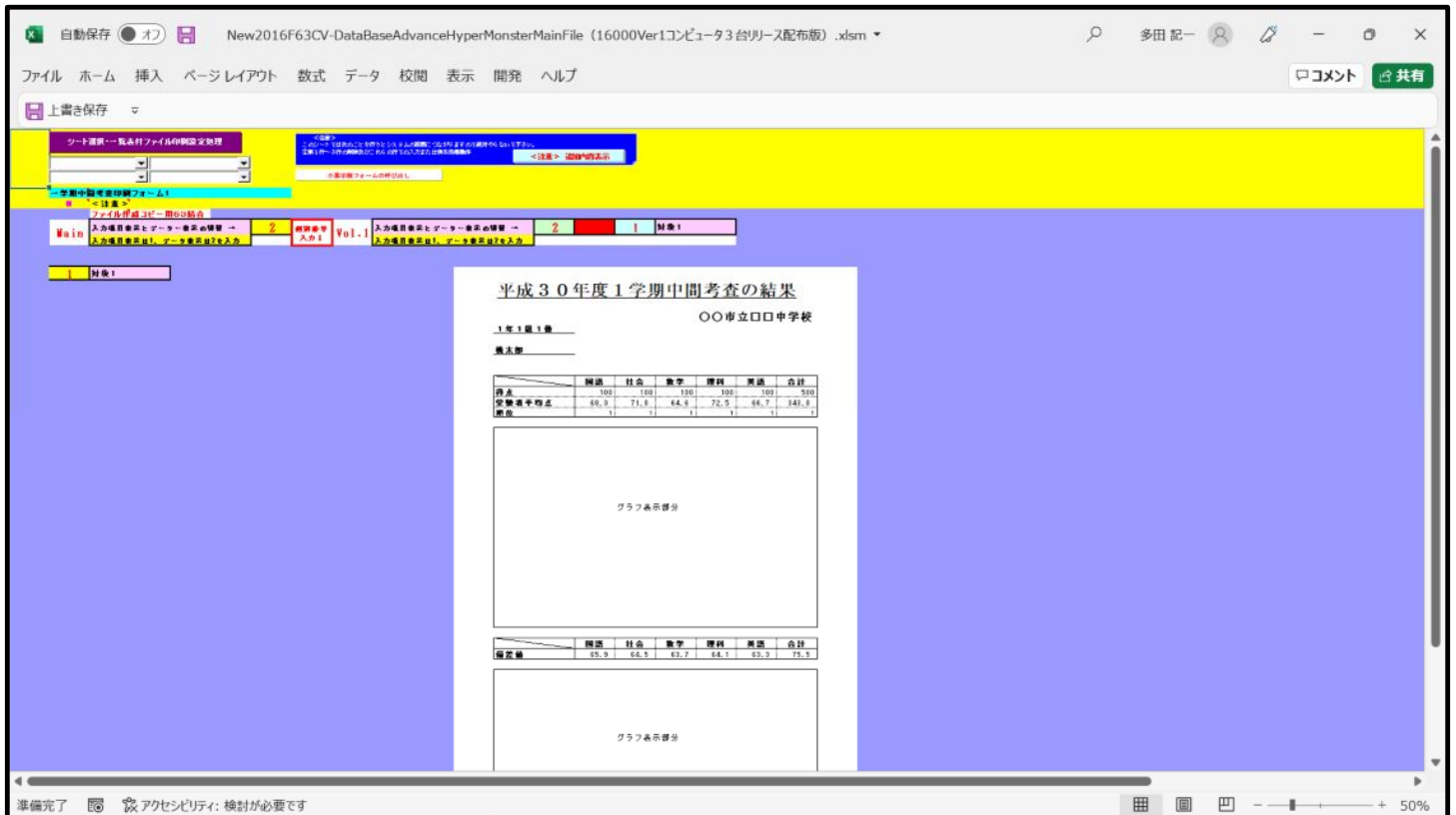
【図 1 1 4】



偏差値	国語	社会	数学	理科	英語	合計
国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	
国語得点率	社会得点率	数学得点率	理科得点率	英語得点率	得点合計率	
得点と受験者平均点						
国語	社会	数学	理科	英語	合計	
偏差値						
国語	社会	数学	理科	英語	合計	

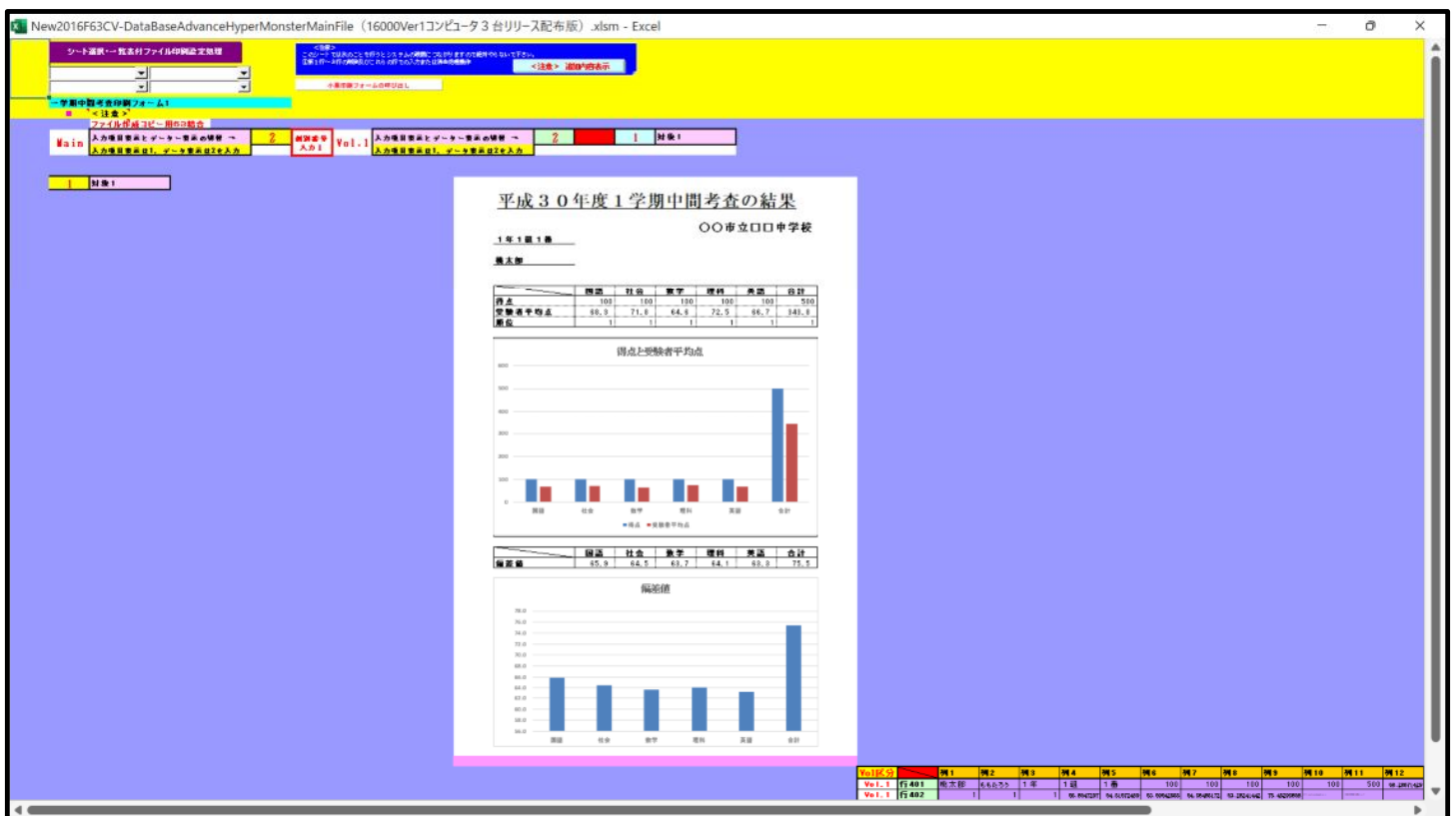
なお、上の【図 1 1 1】の画面のセル **1** の値を **2** と入力すると、データファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 1 行目が表示されて、次の【図 1 1 5】の画面のようになります。但し表示倍率は 75%です。

【図 1 1 5】



上の【図 1 1 5】の画面に対してグラフを作成して表示したのが次の【図 1 1 6】の画面です。但し表示倍率を 50%に変更しました。

【図 1 1 6】



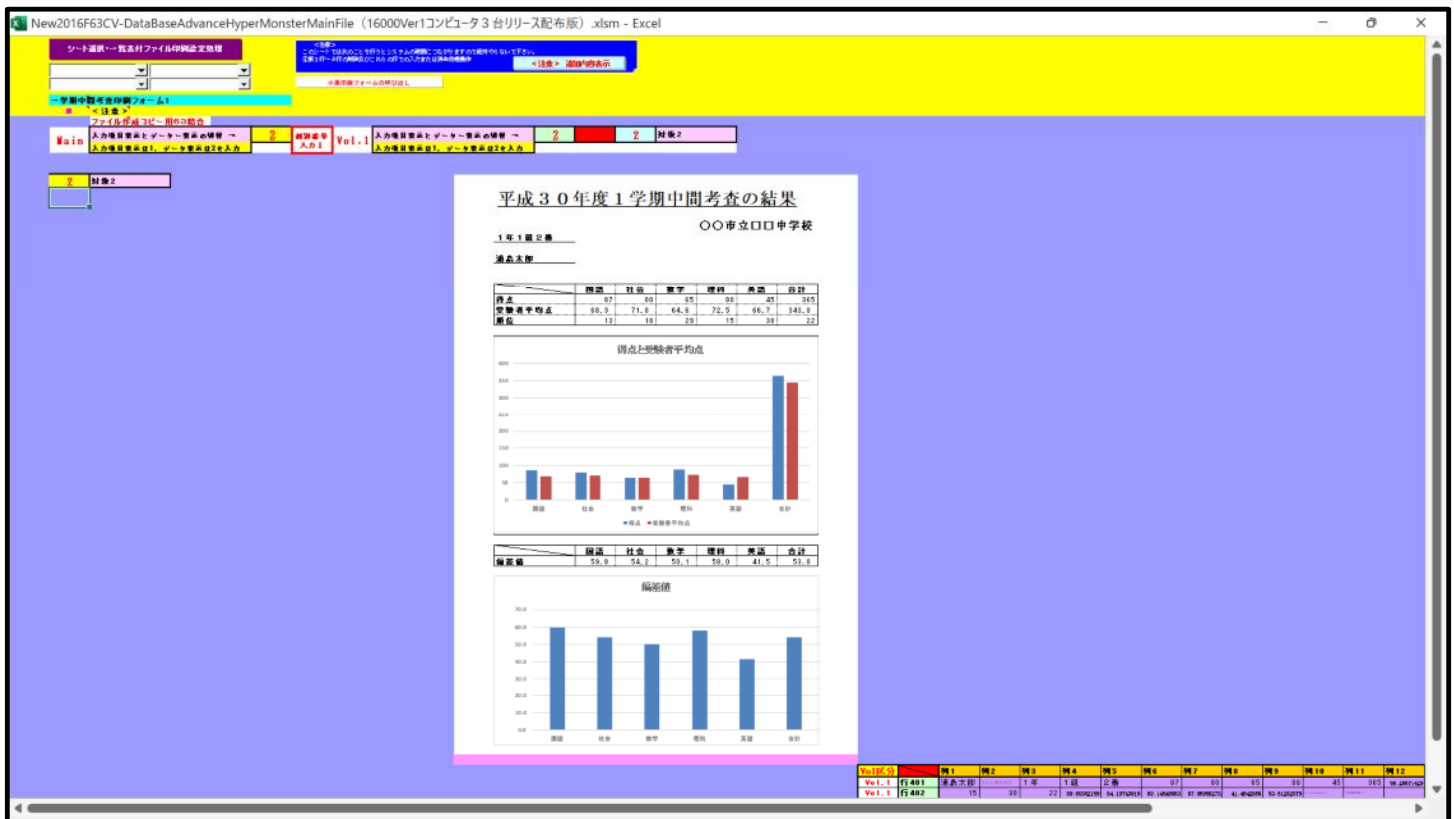
また、上の[図 1 1 6]の画面でセル **1** の値を **2** にしたままで、

1 対象1 の部分で左側のセル **1** の値を **2** に変更すると
データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」の表の第 2 行目が表示されて、次の[図 1 1 7]の画面のようになります。但し表示倍率は 50%です。

[図 1 1 7]



- ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計:

ここでは、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計を例に説明してまいります。

高校入試通知書等作成データーは、データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」において作成しました。

また、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」の印刷フォームシートへの複写の際、このファイルの 2 つの印刷フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」と「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に複写しましたが、このうち印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」を加工して、印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」の印刷部分の設計をおこなってまいります。

さて、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版)

のシート「6 3 結合ファイル作成コピー用」を印刷フォームシート

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2」へ複写した印刷フォームシート

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム2」の状況は次の[図 1 1 8]の画面のようになっています。

[図 1 1 8]

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

A1

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

このシートでは他のことを行うとシステムが異常になりますので絶対やらないでください。
印刷1行～3行の範囲及びこれらの行での入力または消去は誤操作

<注意> 追加内容表示

小窓印刷フォームの呼び出し

修正前期募集校長宛可否通知フォーム2

<注意>

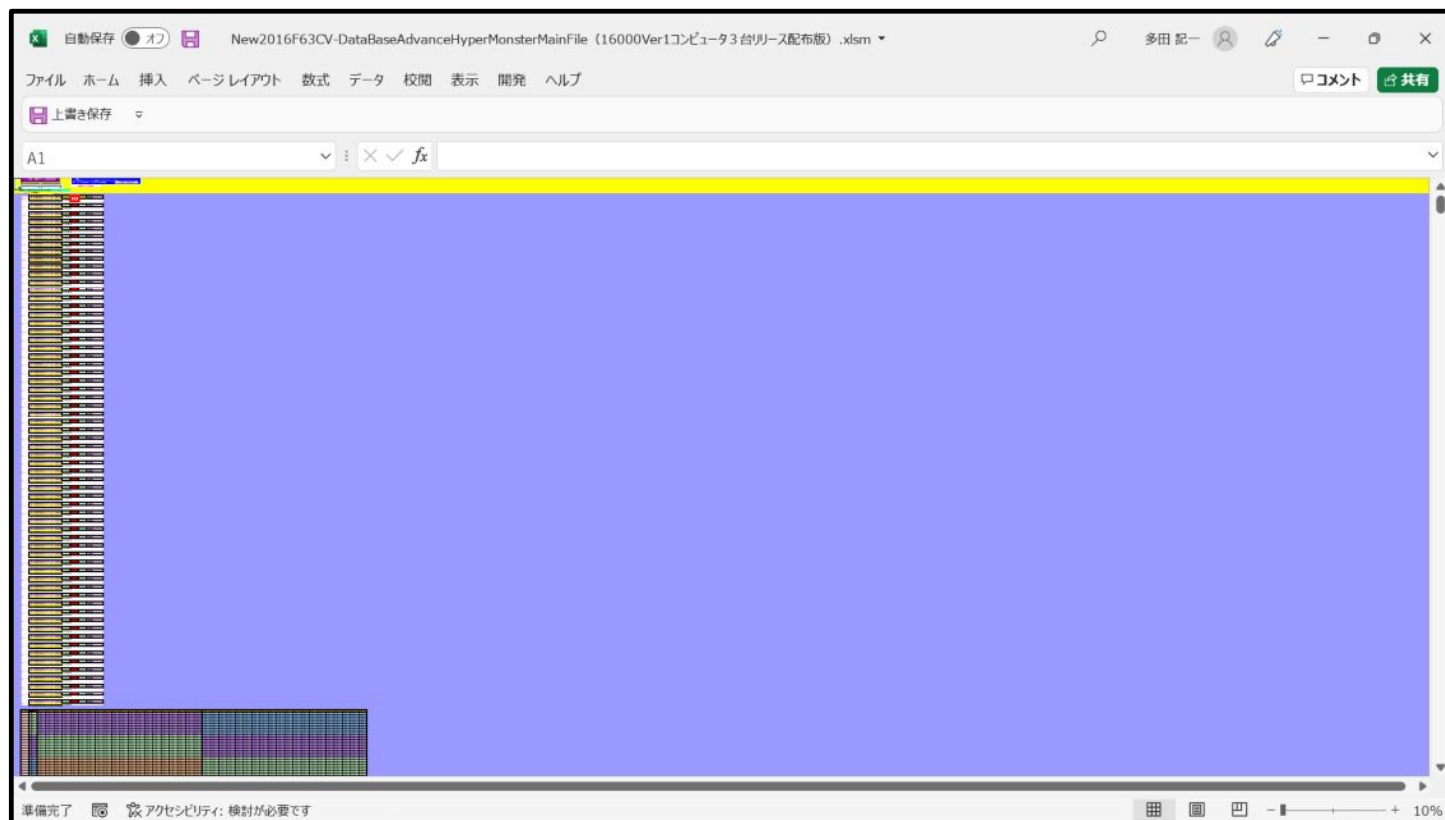
ファイル作成コピー用63結合

	入力項目表示とデータ表示の切替 →	入力項目表示は1。データ表示は2を入力	個別番号入力 ↓	対象1
Main				
Vol. 1				
Vol. 2				
Vol. 3				
Vol. 4				
Vol. 5				
Vol. 6				
Vol. 7				

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です 75%

上の[図 1 1 8]の画面である程度のシートの全体の様子がつかめるように表示倍率を 10%まで下げたのが次の[図 1 1 9]の画面です。

[図 1 1 9]



ここで、上の[図 1 1 8]の画面で印刷フォームシート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム 2」に関係のない部分つまりデータファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm のシート

「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表示に関係のない部分をシートの保護を解除して全て削除していきます。

Main

Vol. 2

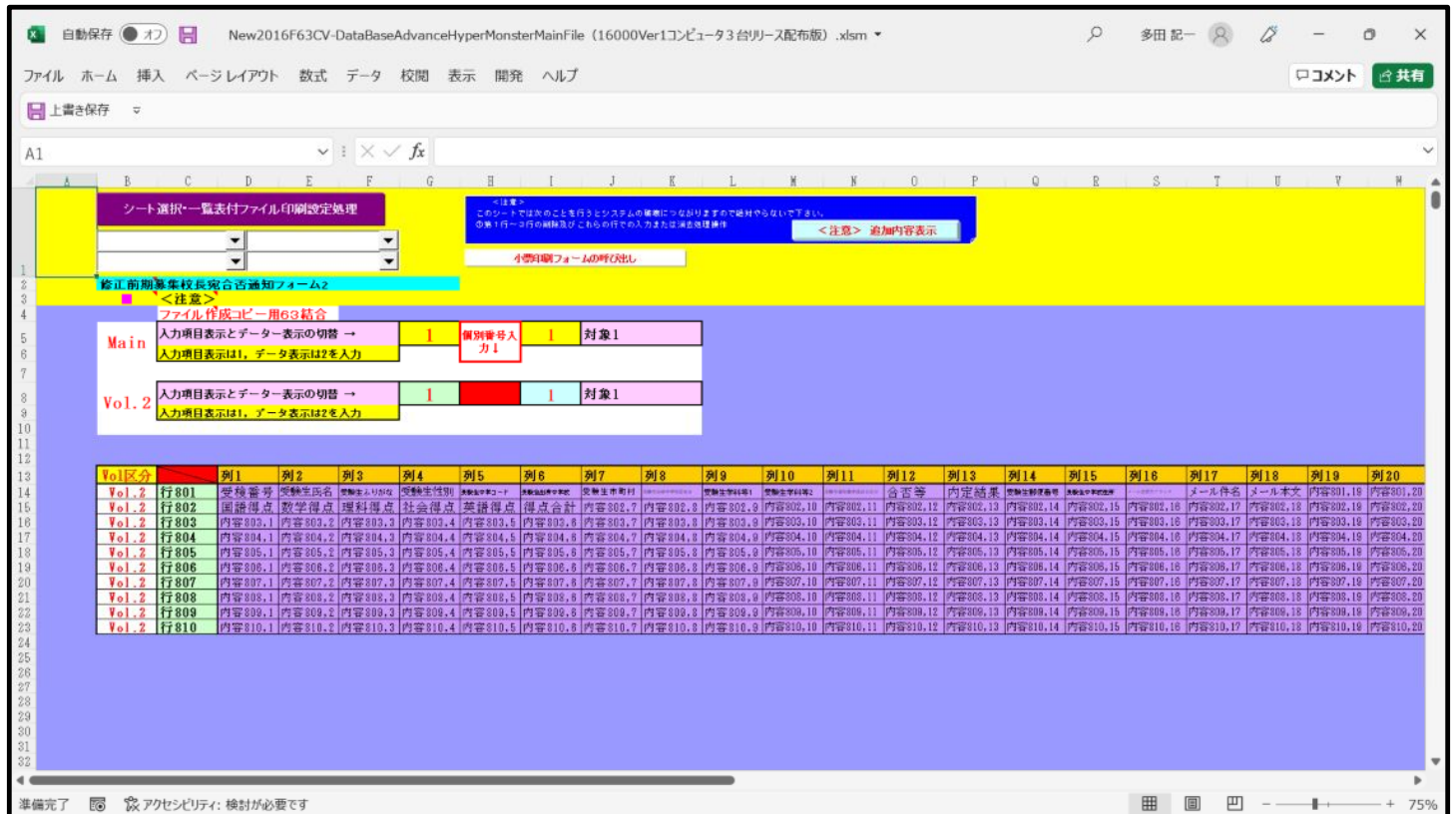
具体的には、 や が表示されていない行、および画面をどんどん下側にスクロール

しながら **Vol. 2** と表示されていない行および **Vol. 2** と表示されていても

[illegible]

と表示されていない全ての行を削除していきます。全て削除した結果の状況は、次の[図 1 2 0]の画面のようになります。

【図 1 2 0】



それではこれから「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計をおこなってまいります。

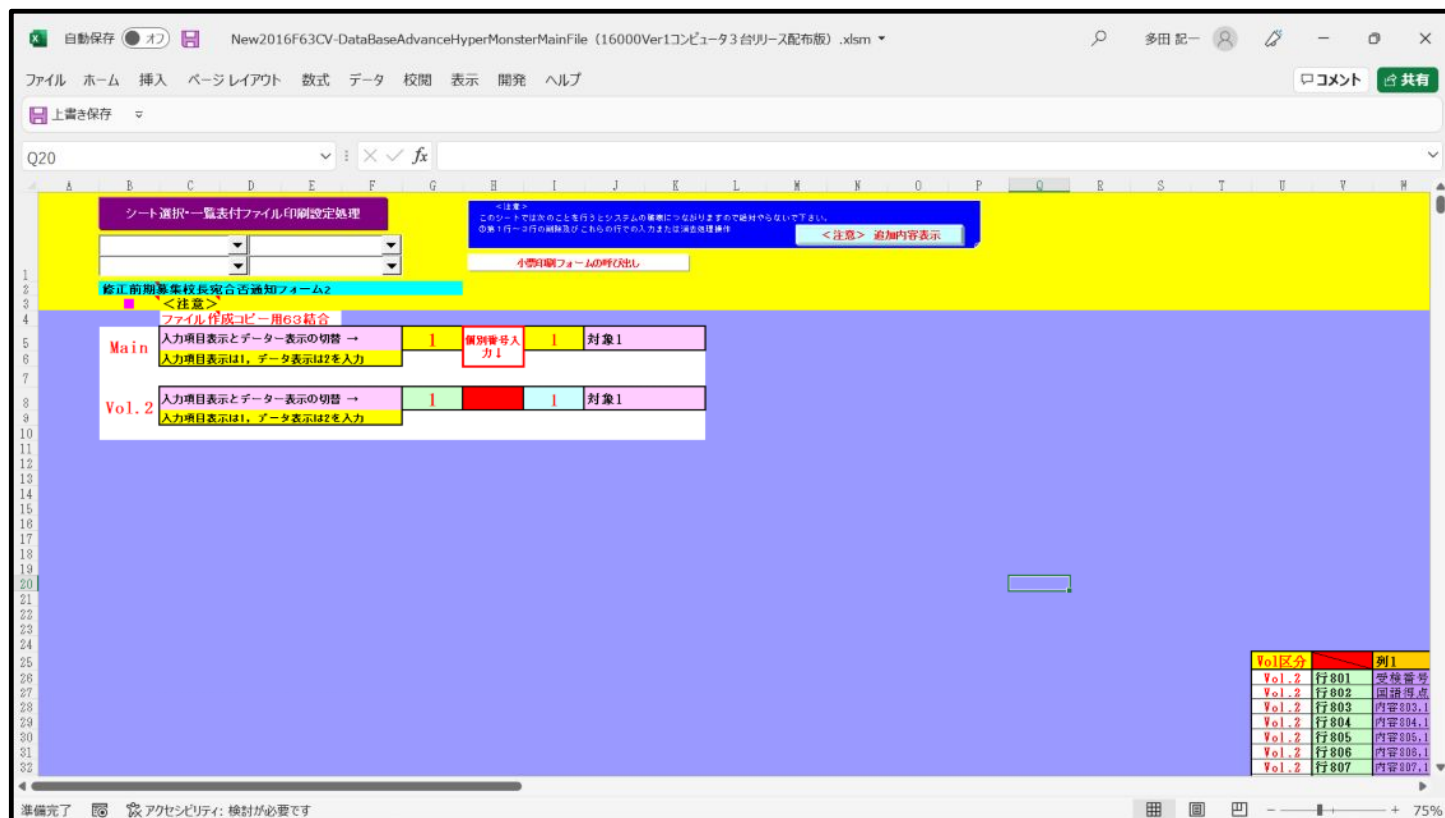
先ず、設計をおこなうための編集部分を確保する必要があります。

【図 1 2 0】の画面の

Vol. 2	行801	受験番号	受験生氏名	受験生ふりがな	受験生性別	受験生学年	受験生学年2	受験生学年3	受験生学年4	受験生学年5	受験生学年6	受験生学年7	受験生学年8	受験生学年9	受験生学年10	受験生学年11	受験生学年12	受験生学年13	受験生学年14	受験生学年15	受験生学年16	受験生学年17	受験生学年18	受験生学年19	受験生学年20
Vol. 2	行802	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容802.7	内容802.8	内容802.9	内容802.10	内容802.11	内容802.12	内容802.13	内容802.14	内容802.15	内容802.16	内容802.17	内容802.18	内容802.19	内容802.20	内容802.21	内容802.22	内容802.23	内容802.24
Vol. 2	行803	内容803.1	内容803.2	内容803.3	内容803.4	内容803.5	内容803.6	内容803.7	内容803.8	内容803.9	内容803.10	内容803.11	内容803.12	内容803.13	内容803.14	内容803.15	内容803.16	内容803.17	内容803.18	内容803.19	内容803.20	内容803.21	内容803.22	内容803.23	内容803.24
Vol. 2	行804	内容804.1	内容804.2	内容804.3	内容804.4	内容804.5	内容804.6	内容804.7	内容804.8	内容804.9	内容804.10	内容804.11	内容804.12	内容804.13	内容804.14	内容804.15	内容804.16	内容804.17	内容804.18	内容804.19	内容804.20	内容804.21	内容804.22	内容804.23	内容804.24
Vol. 2	行805	内容805.1	内容805.2	内容805.3	内容805.4	内容805.5	内容805.6	内容805.7	内容805.8	内容805.9	内容805.10	内容805.11	内容805.12	内容805.13	内容805.14	内容805.15	内容805.16	内容805.17	内容805.18	内容805.19	内容805.20	内容805.21	内容805.22	内容805.23	内容805.24
Vol. 2	行806	内容806.1	内容806.2	内容806.3	内容806.4	内容806.5	内容806.6	内容806.7	内容806.8	内容806.9	内容806.10	内容806.11	内容806.12	内容806.13	内容806.14	内容806.15	内容806.16	内容806.17	内容806.18	内容806.19	内容806.20	内容806.21	内容806.22	内容806.23	内容806.24
Vol. 2	行807	内容807.1	内容807.2	内容807.3	内容807.4	内容807.5	内容807.6	内容807.7	内容807.8	内容807.9	内容807.10	内容807.11	内容807.12	内容807.13	内容807.14	内容807.15	内容807.16	内容807.17	内容807.18	内容807.19	内容807.20	内容807.21	内容807.22	内容807.23	内容807.24
Vol. 2	行808	内容808.1	内容808.2	内容808.3	内容808.4	内容808.5	内容808.6	内容808.7	内容808.8	内容808.9	内容808.10	内容808.11	内容808.12	内容808.13	内容808.14	内容808.15	内容808.16	内容808.17	内容808.18	内容808.19	内容808.20	内容808.21	内容808.22	内容808.23	内容808.24
Vol. 2	行809	内容809.1	内容809.2	内容809.3	内容809.4	内容809.5	内容809.6	内容809.7	内容809.8	内容809.9	内容809.10	内容809.11	内容809.12	内容809.13	内容809.14	内容809.15	内容809.16	内容809.17	内容809.18	内容809.19	内容809.20	内容809.21	内容809.22	内容809.23	内容809.24
Vol. 2	行810	内容810.1	内容810.2	内容810.3	内容810.4	内容810.5	内容810.6	内容810.7	内容810.8	内容810.9	内容810.10	内容810.11	内容810.12	内容810.13	内容810.14	内容810.15	内容810.16	内容810.17	内容810.18	内容810.19	内容810.20	内容810.21	内容810.22	内容810.23	内容810.24

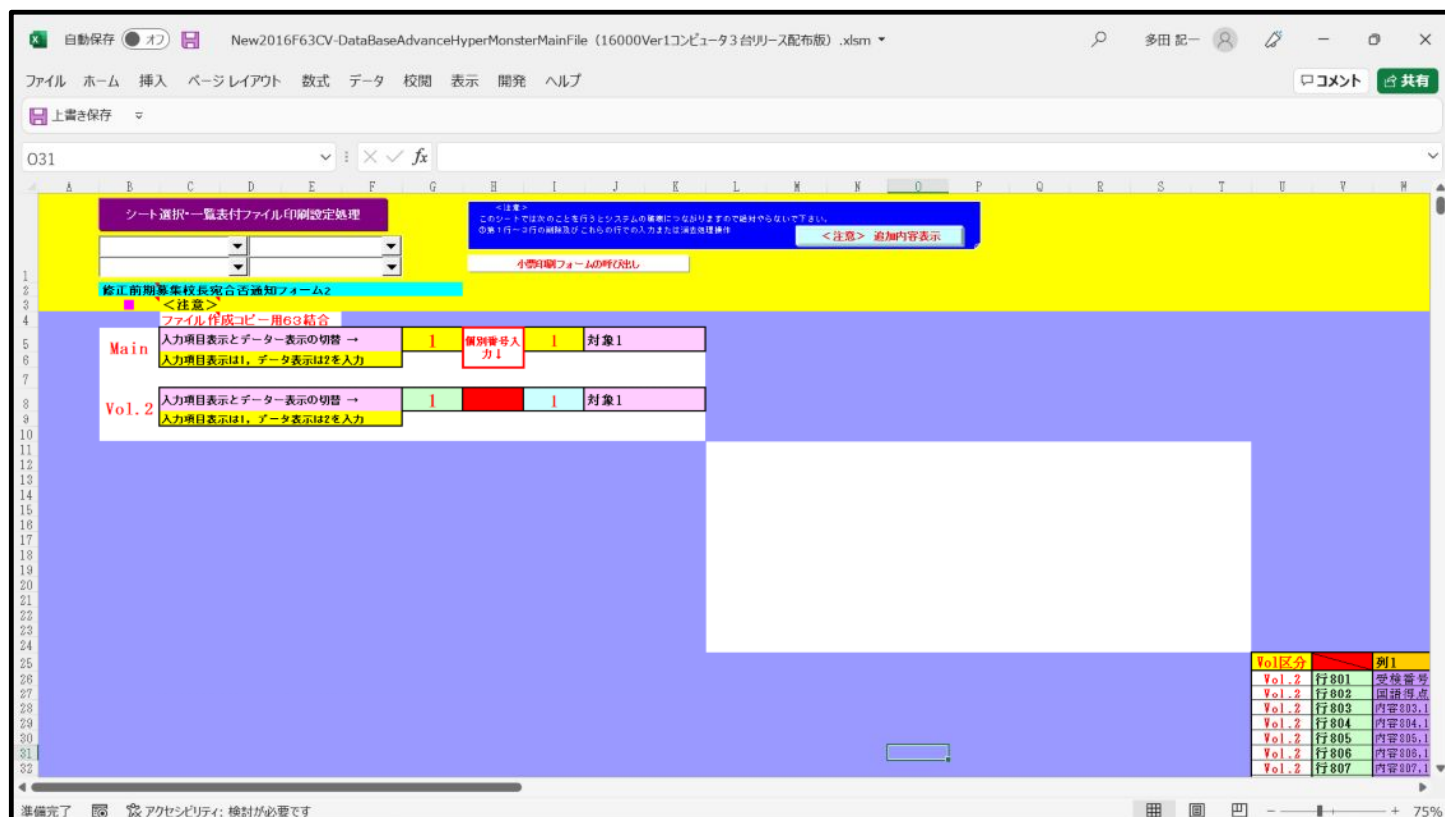
部分を切り取り、次の【図 1 2 1】の画面の位置にとりあえず貼り付けておきます。

【図 1 2 1】



そして【図 1 2 1】の画面において、部分的にセル範囲の背景色を色抜きにしますが、色抜きにしたものを次の【図 1 2 2】の画面に表示させます。色抜きにする範囲は後からいくらかでも調整できますので、適当に範囲は選択して結構です。

【図 1 2 2】



上の【図 1 2 2】の画面の背景色を色抜きにしたセル範囲の部分に、どのような様式に設計していくのかその

アウトラインを作成しておきます。アウトラインを作成したのが次の[図 1 2 3]の画面」です。但し、表示倍率を 40%としています。

[図 1 2 3]

[illegible]

そして、

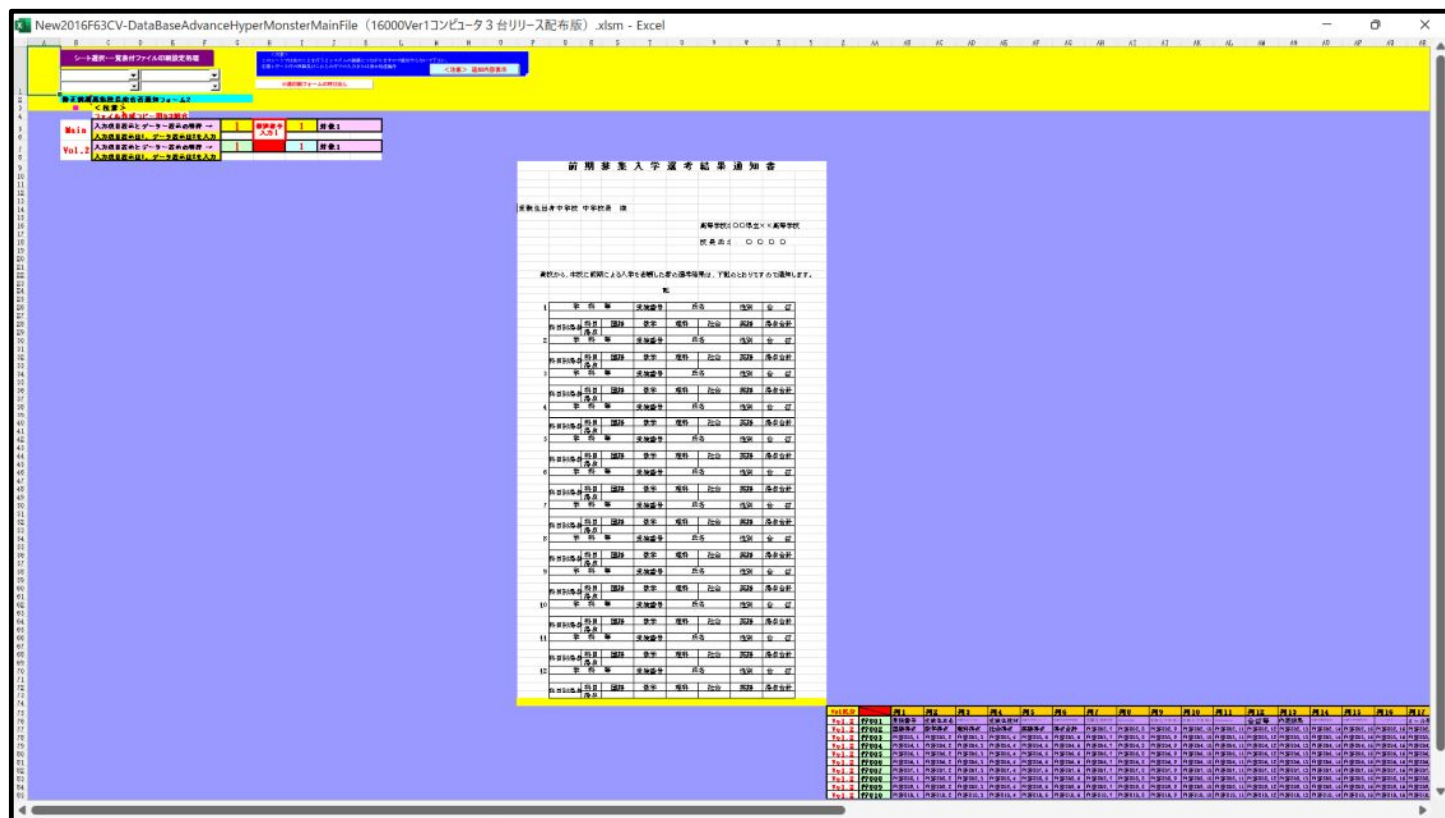
1	対象1
---	-----

部分および

Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	1		1	対象1
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力				

の部分を切り取って貼り付けるため、上の[図 1 2 3]の画面のシートの H9 から K85 のセル範囲を選択し、列を 4 列挿入し右方向にシフトさせ、次の[図 1 2 4]の画面のようにします。

[図 1 2 4]



そして、

1	対象1
---	-----

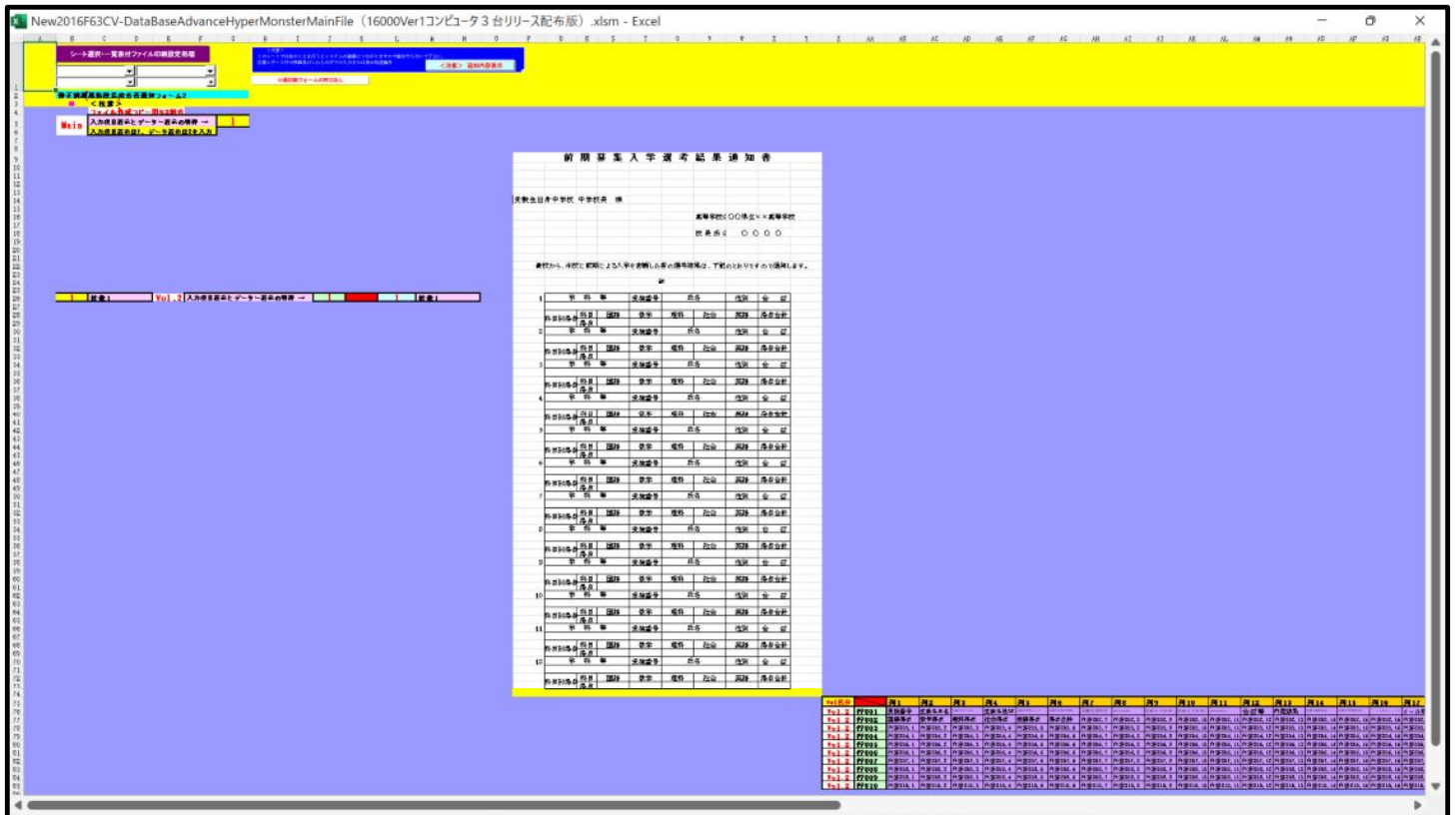
部分および

Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力				

の部分を取り取って、次の[図 1 2 5]の画面のように B26 から N26 までのそれぞれの位置に貼り付けま

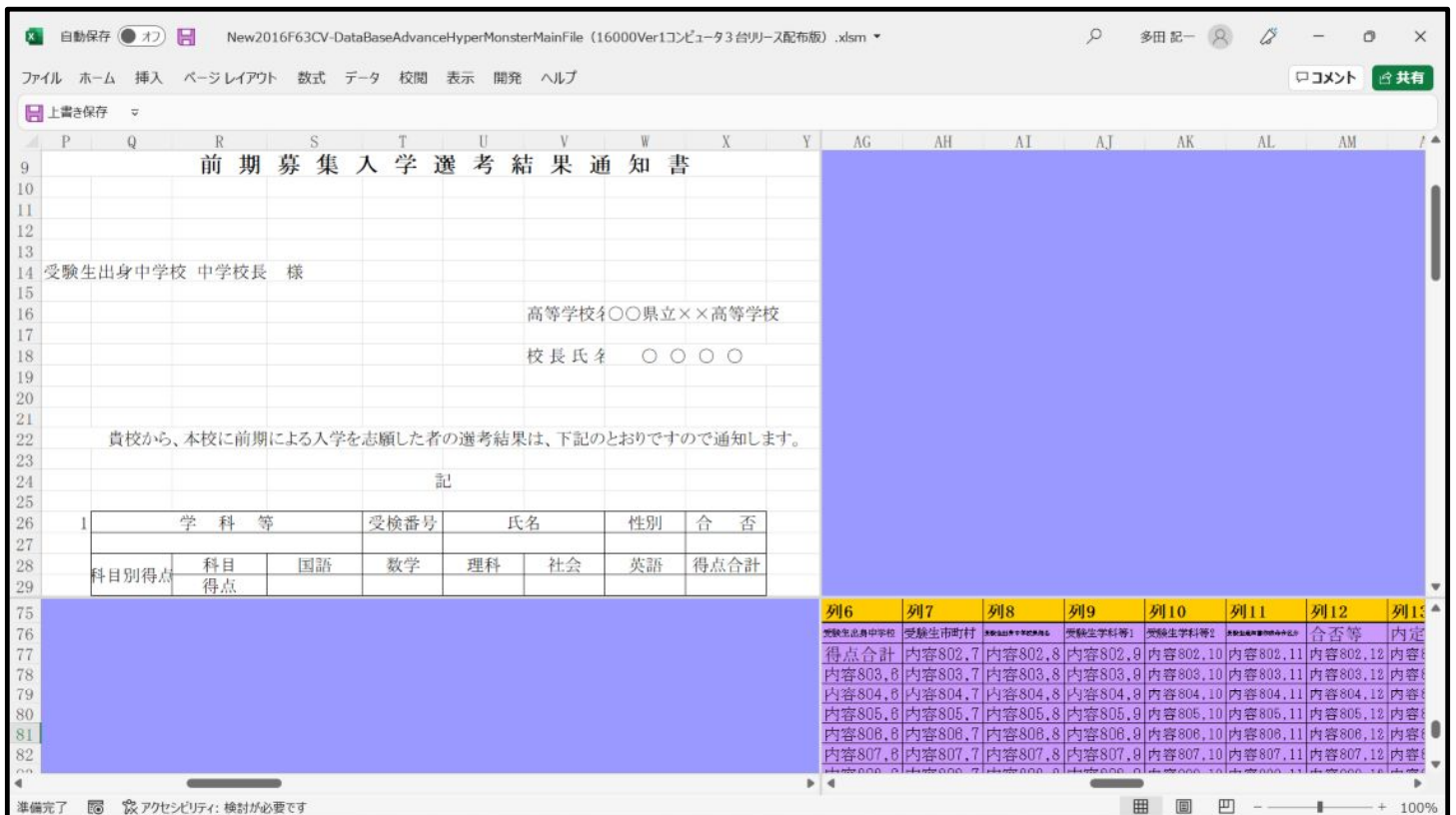
す。但し、 と表示されているセルは、セルが結合されているので、結合を解除する必要があります。また、必要に応じて不要なセル等を削除をし行高も変更しています。

【図 1 2 5】



上の【図 1 2 5】の画面の表示倍率を 100%に上げてで画面分割をおこない、次の【図 1 2 6】の画面のように設定します。

【図 1 2 6】



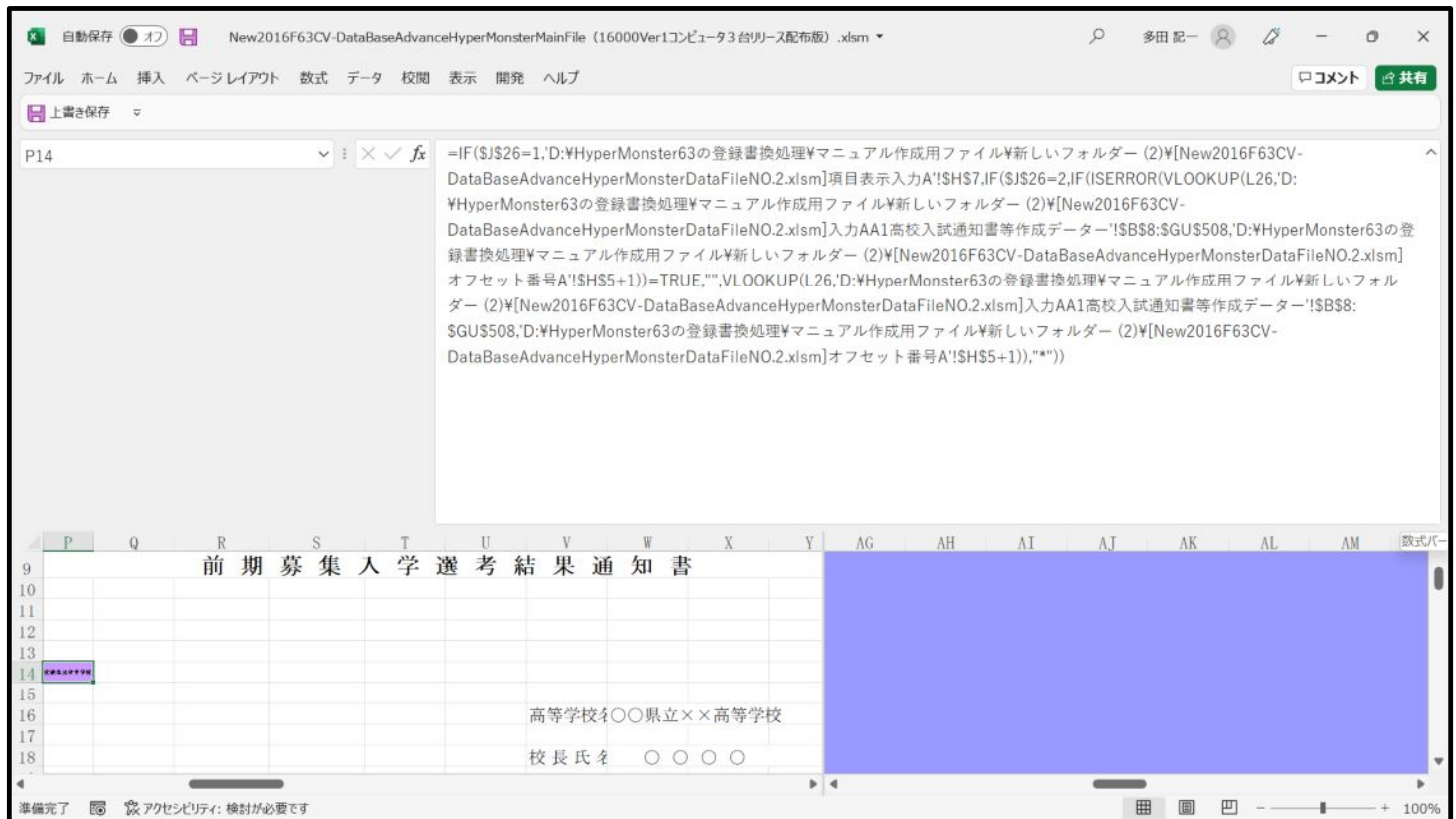
それではこれから具体的な編集作業をおこなってまいります。

まず、上の[図 1 2 6]の画面の右下の受験生出身中学校

受験生出身中学校 中学校長 様

表示 をクリックし 数式バー とチェックを入れ、貼り付けたセルを選択し数式バーの内容全体を表示させ次の[図 1 2 7]の画面のように設定します。

[図 1 2 7]

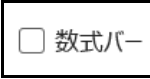


そしたら上の[図 1 2 7]の画面の数式の表示部分

```
=IF($J$26=1,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]項目表示入力A'!$H$7,IF($J$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!$B$8:$G$508,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!$B$8:$G$508,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A'!$H$5+1))=TRUE,"",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!$B$8:$G$508,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A'!$H$5+1)),*))
```

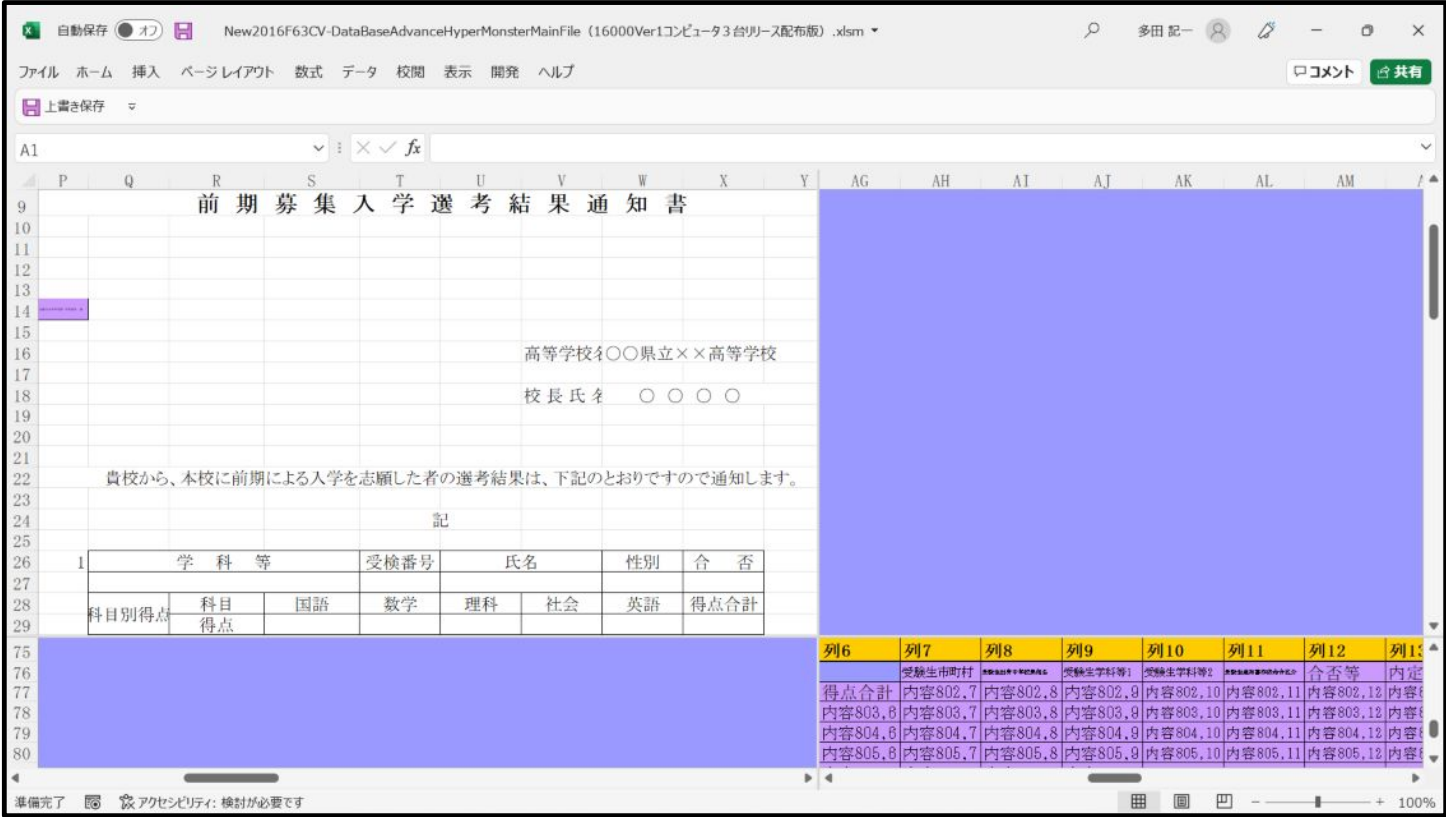
の最後の部分に「& 中学校長 様」と付け加えます。つまり、数式の全体は、

=IF(\$J\$26=1,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]項目表示入力A'!\$H\$7,IF(\$J\$26=2,IF(ISERROR(VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!\$B\$8:\$GU\$508,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A'!\$H\$5+1))=TRUE,"",VLOOKUP(L26,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]入力AA1高校入試通知書等作成データ'!\$B\$8:\$GU\$508,'D:¥HyperMonster63の登録書換処理¥マニュアル作成用ファイル¥新しいフォルダー (2)¥[New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm]オフセット番号A'!\$H\$5+1)), "*")&" 中学校長 様"



のようになります。そして、**Enter** キーを押して数式のチェックを外してとすると上の
[図 1 2 6]の画面は次の[図 1 2 8]の画面のようになります。

[図 1 2 8]



そして、上の[図 1 2 8]の画面の 4 個のセル

受験生市町村			
--------	--	--	--

 を選択し
てセルを結合しセルの背景色を抜くと次の[図 1 2 9]の画面のようになります。

【図 1 2 9】

Figure 1.2.9 shows a spreadsheet application window titled 'New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism'. The spreadsheet displays a form for '前期募集入学選考結果通知書' (Advanced Recruitment Admission Selection Result Notification Sheet). The form includes fields for applicant information (e.g., 受験生出身中学校, 中学校長 様), school details (e.g., 高等学校名, 校長氏名), and a table for subject scores. A large blue rectangular area is highlighted on the right side of the sheet, covering columns AG through AM and rows 9 through 25.

編集を続けます。上の【図 1 2 9】の画面の右下の「受験生学科等1」と表示されているセルを切り取り、左上の

学 科 等		

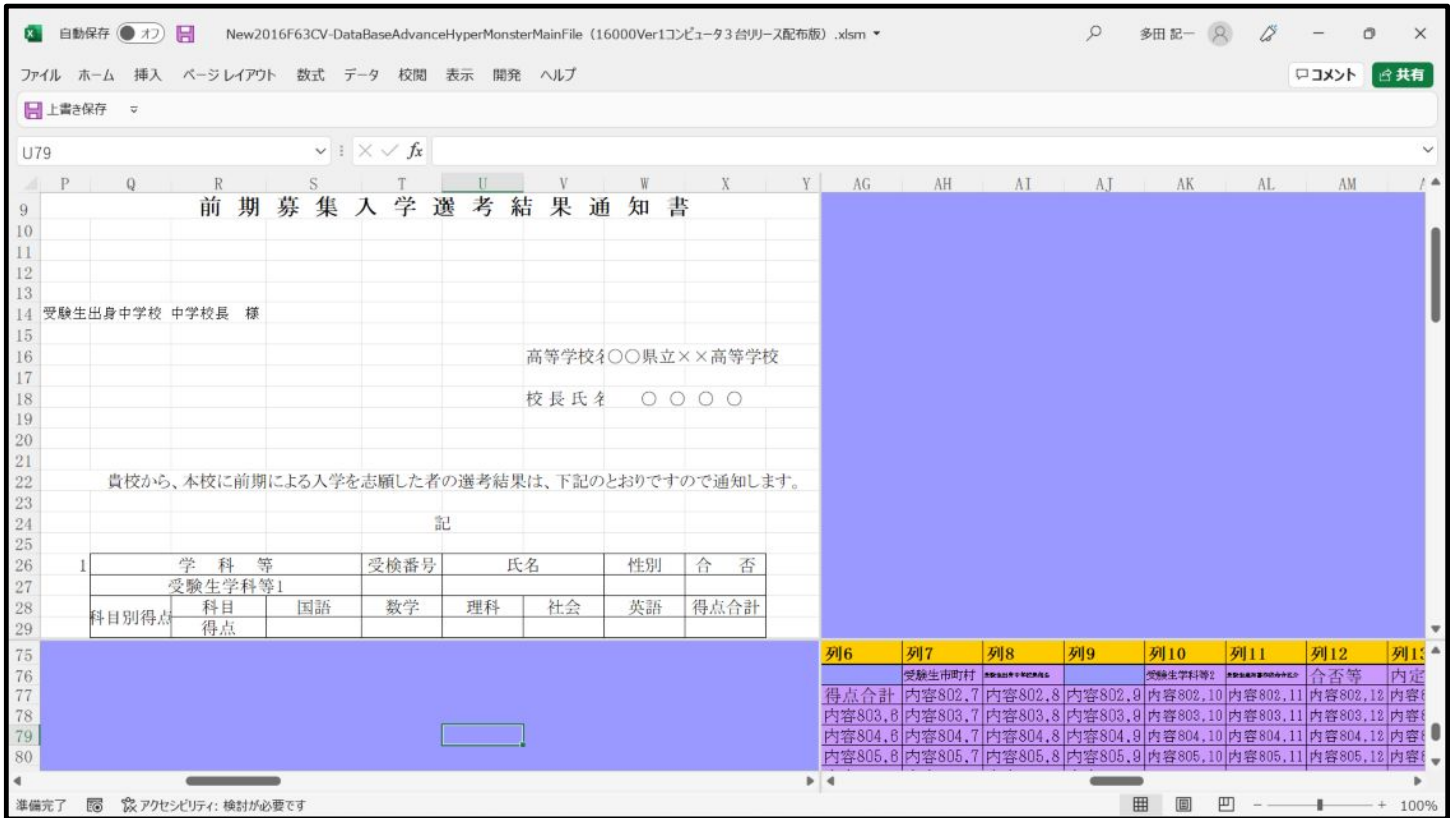
と表示されている下側の 3 個の空白のセルのうち最も左側のセルに貼り付けます。その結果次の【図 1 3 0】の画面のようになります。

【図 1 3 0】

Figure 1.3.0 shows the same spreadsheet application window as Figure 1.2.9, but with the text '受験生学科等1' moved to the top-left cell of the subject score table (cell Q27). The blue highlighted area remains the same.

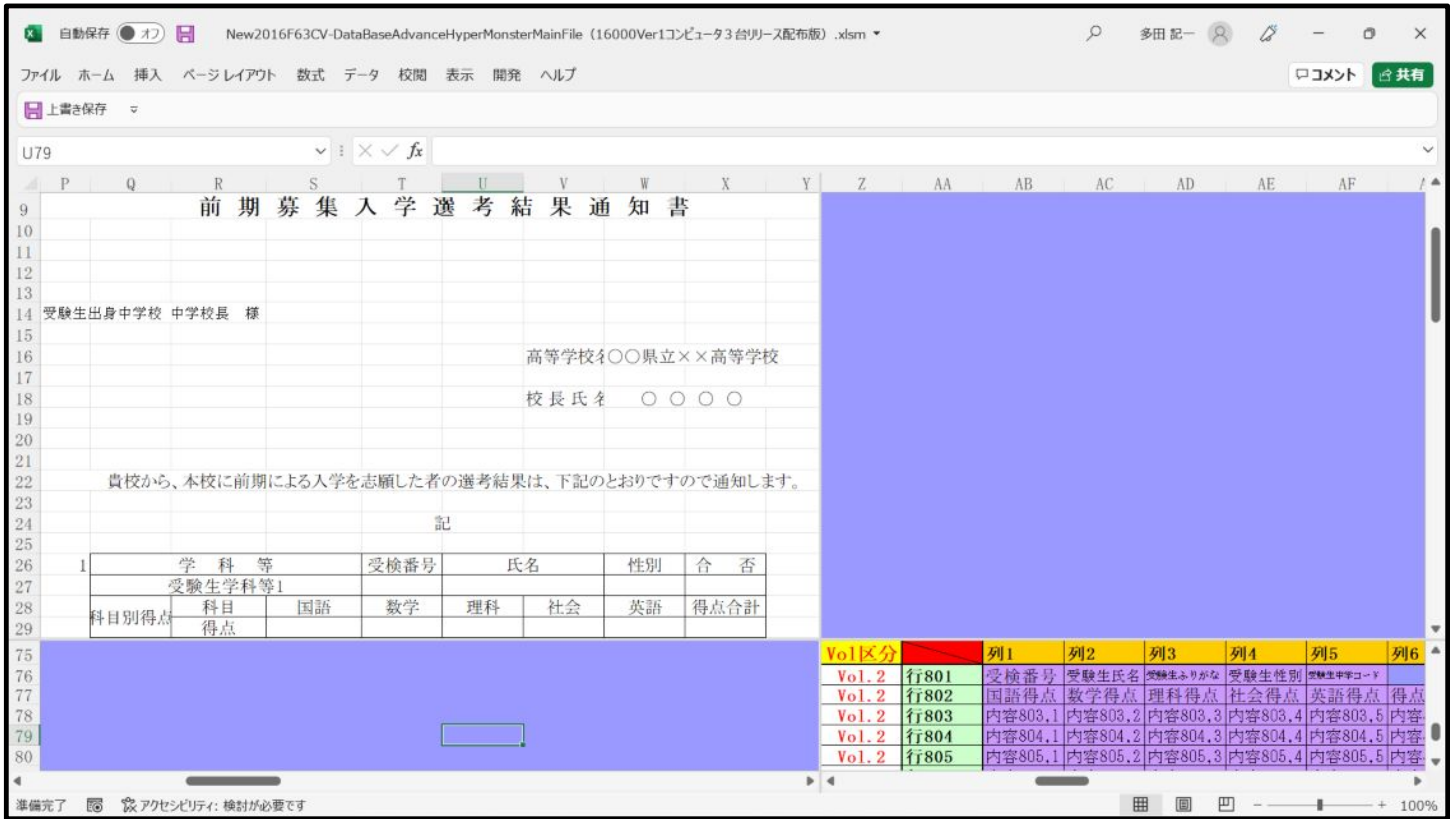
そして、上の[図 1 3 0]の画面の受験生学科等1と表示されている3個のセルを結合し背景色を抜くと、次の上の[図 1 3 1]の画面のようになります。

[図 1 3 1]



次に上の[図 1 3 1]の画面の右下の部分で左側にスライドして、次の[図 1 3 2]の画面のようにします。

[図 1 3 2]

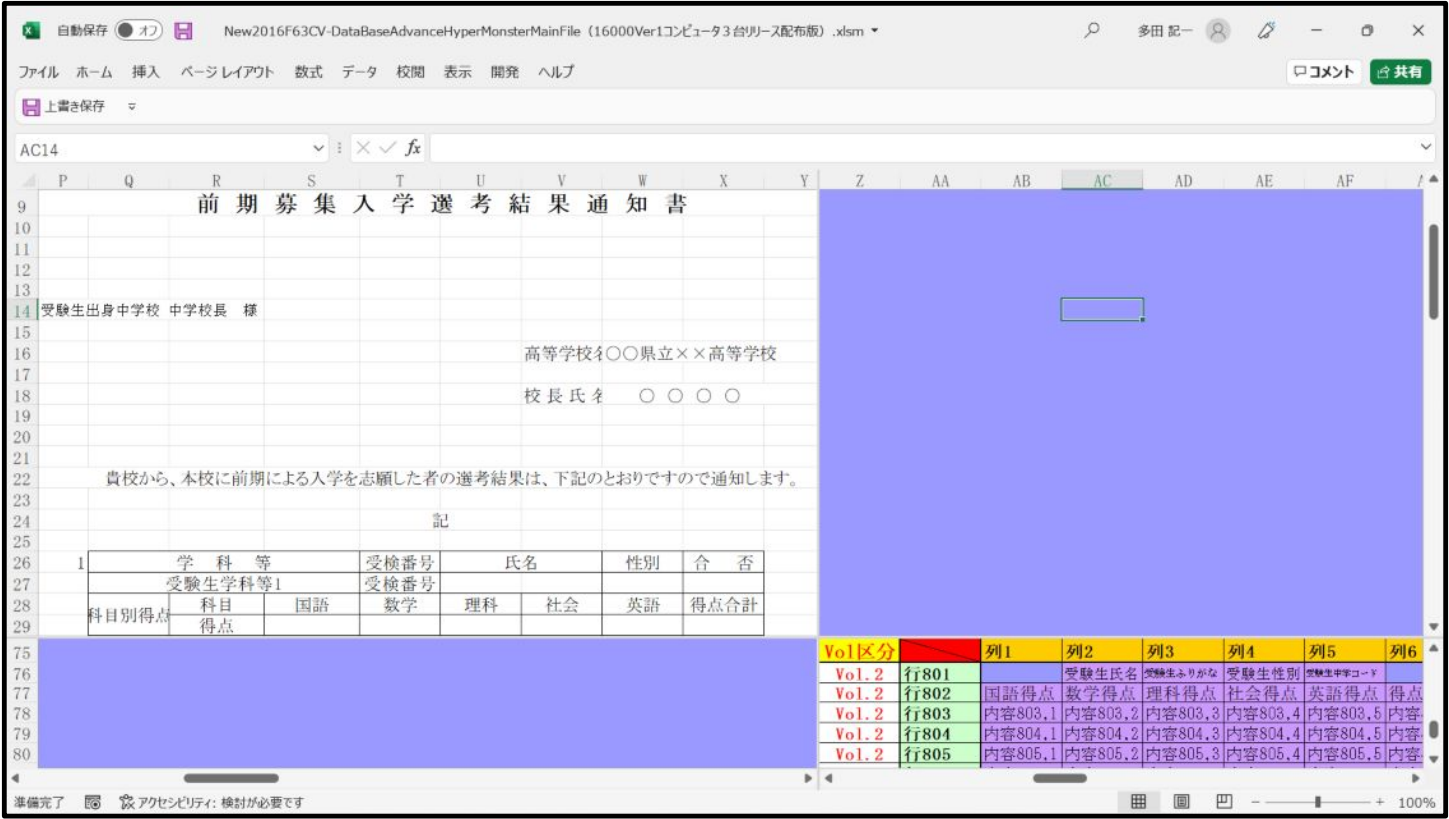


次に上の[図 1 3 2]の画面の右の下側の受検番号と表示されているセルを切り取り、

受検番号

左上の画面でと表示されている下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けたらセルの背景色抜くと次の[図 1 3 3]の画面のようになります。

[図 1 3 3]



次に上の[図 1 3 3]の画面の右下の画面で受験生氏名と表示されているセルを切り取り、左上の

氏名

と表示されている下側の2個の空白のセルのうち左のセルに貼り付けます。貼り付けたらして側の2個のセルを結合し背景色を抜くと、次の[図 1 3 4]の画面のようになります。

【図 1 3 4】

自動保存

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism

多田 記一

コメント共有

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

上書き保存

X79

PQRTUVWXYZAAABACADAEAF

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長様

高等学校名○○県立××高等学校

校長氏名○○○○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学科等	受験番号	氏名	性別	合否		
	受験生学科等1	受験番号	受験生氏名				
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
得点							

Vol区分

列1

列2

列3

列4

列5

列6

Vol.2行801

Vol.2行802

Vol.2行803

Vol.2行804

Vol.2行805

受験生ふりがな

受験生性別

受験生中学コード

国語得点

数学得点

理科得点

社会得点

英語得点

得点

内容803.1

内容803.2

内容803.3

内容803.4

内容803.5

内容803.6

内容804.1

内容804.2

内容804.3

内容804.4

内容804.5

内容804.6

内容805.1

内容805.2

内容805.3

内容805.4

内容805.5

内容805.6

準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

次に上の【図 1 3 4】の画面で右下の画面を右にスライドさせて、次の【図 1 3 5】の画面のようにします。

【図 1 3 5】

自動保存 (●) New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

X79

P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK
9	前期募集入学選考結果通知書															
10																
11																
12																
13																
14	受験生出身中学校 中学校長 様															
15																
16	高等学校名○○県立××高等学校															
17	校長氏名 ○ ○ ○ ○															
18																
19																
20																
21																
22	貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。															
23																
24	記															
25																
26	1	学 科 等	受験番号	氏名	性別	合	否									
27		受験生学科等1	受験番号	受験生氏名												
28		科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計							
29		得点														

列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11
受験生性別	受験生市町村	受験生市町村	受験生市町村	受験生市町村	受験生市町村	受験生市町村	受験生市町村
社会得点	英語得点	得点合計	内容802.7	内容802.8	内容802.9	内容802.10	内容802.11
内容803.4	内容803.5	内容803.6	内容803.7	内容803.8	内容803.9	内容803.10	内容803.11
内容804.4	内容804.5	内容804.6	内容804.7	内容804.8	内容804.9	内容804.10	内容804.11
内容805.4	内容805.5	内容805.6	内容805.7	内容805.8	内容805.9	内容805.10	内容805.11

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

そして、上の【図 1 3 5】の画面の右下の「受験生性別」と表示されているセルを切り取り、左上の

性別

と表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けセルの背景色を抜くと、次の
[図 1 3 6]の画面のようになります。

[図 1 3 6]

自動保存

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

コメント共有

上書き保存

X79

PQRTUVWXYAEAFAGAHAI AJAK

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長 様

高等学校名○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受験番号	氏 名		性別	合 否	
27	受験生学科等1		受験番号	受験生氏名		受験生性別		
28	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
29	得点							

列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11
受験生中学コード	受験生市町村	受験生学科等1	受験生学科等2	受験生学科等3	受験生学科等4	受験生学科等5	受験生学科等6
社会得点	英語得点	得点合計	内容802,7	内容802,8	内容802,9	内容802,10	内容802,11
内容803,4	内容803,5	内容803,6	内容803,7	内容803,8	内容803,9	内容803,10	内容803,11
内容804,4	内容804,5	内容804,6	内容804,7	内容804,8	内容804,9	内容804,10	内容804,11
内容805,4	内容805,5	内容805,6	内容805,7	内容805,8	内容805,9	内容805,10	内容805,11

準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

そして、上の[図 1 3 6]の画面右下を右にスライドさせて次の[図 1 3 7]の画面のようにします。

[図 1 3 7]

自動保存 (オフ) New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

X79

P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
9	前期募集入学選考結果通知書															
10																
11																
12																
13																
14	受験生出身中学校 中学校長 様															
15																
16	高等学校名○○県立××高等学校															
17																
18	校長氏名 ○ ○ ○ ○															
19																
20																
21																
22	貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。															
23																
24	記															
25																
26	1	学 科 等	受験番号	氏 名	性 別	合 否										
27		受験生学科等1	受験番号	受験生氏名	受験生性別											
28		科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計								
29		科目別得点	得点													
75																
76																
77																
78																
79																
80																

列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19
合否等	内定結果	受験生別(受験番号)	受験生中学校住所	メール送信アドレス	メール件名	メール本文	内容802,12
内容802,12	内容802,13	内容802,14	内容802,15	内容802,16	内容802,17	内容802,18	内容802,19
内容803,12	内容803,13	内容803,14	内容803,15	内容803,16	内容803,17	内容803,18	内容803,19
内容804,12	内容804,13	内容804,14	内容804,15	内容804,16	内容804,17	内容804,18	内容804,19
内容805,12	内容805,13	内容805,14	内容805,15	内容805,16	内容805,17	内容805,18	内容805,19

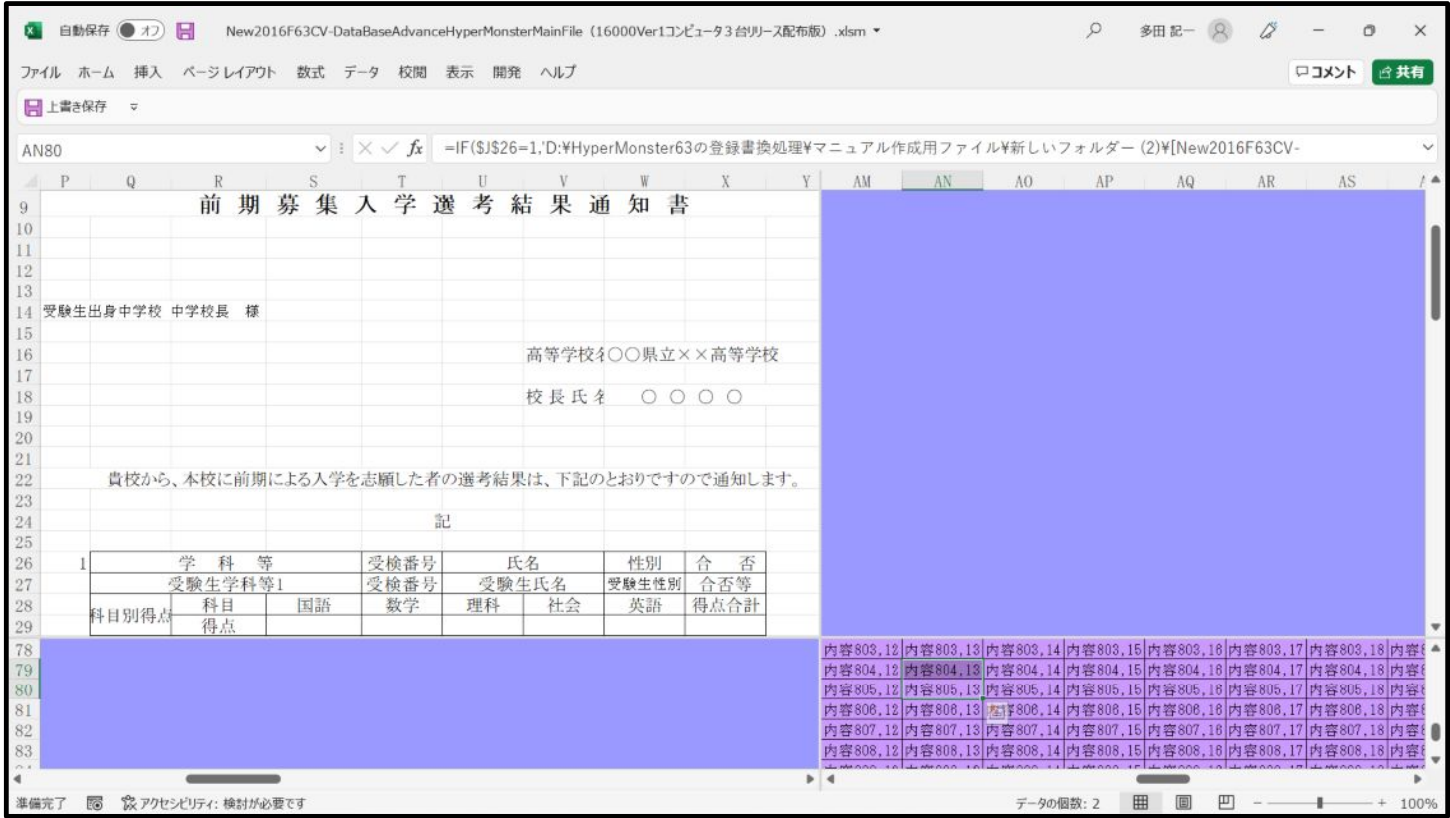
準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

合	否

上の[図 1 3 7]の画面の右下の合否等と表示されているセルを切り取り、左上のと表示されている部分の下側の空白のセルに貼り付けます。貼り付けセルの背景色を抜くと次の[図 1 3 8]のようになります。

[図 1 3 8]



そして今度は得点の部分の編集です。上の[図 1 3 8]の画面の右下の部分に左にスライドさせて次の[図 1 3 9]の画面に設定します。

【図 1 3 9】

自動保存

● オ

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xism • 保存しました

🔍

多田 記一

👤

✎

—

🔄

✕

📄

共有

📄

上書き保存

▼

A1

🔍

✕

✓

fx

▼

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

AA

AB

AC

AD

AE

AF

AG

📏

9

前期募集入学選考結果通知書

10

11

12

13

14

受験生出身中学校 中学校長 様

15

16

高等学校名○○県立××高等学校

17

18

校長氏名 ○ ○ ○ ○

19

20

21

22

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

23

24

記

25

26

1

学 科 等

受験番号

氏名

性別

合 否

27

受験生学科等1

受験番号

受験生氏名

受験生性別

合否等

28

科目別得点

科目

国語

数学

理科

社会

英語

得点合計

29

得点

75

列1

列2

列3

列4

列5

列6

列7

76

行801

受験生ふりがな

受験生中学コード

受験生

77

行802

国語得点

数学得点

理科得点

社会得点

英語得点

得点合計

内容

78

行803

内容803.1

内容803.2

内容803.3

内容803.4

内容803.5

内容803.8

内容

79

行804

内容804.1

内容804.2

内容804.3

内容804.4

内容804.5

内容804.8

内容

80

行805

内容805.1

内容805.2

内容805.3

内容805.4

内容805.5

内容805.8

内容

準備完了

🔍

🔍

アクセシビリティ: 検討が必要です

📄

📄

📄

—

+

100%

上の【図 1 3 9】の画面の右下の「国語得点」のセルを切り取り、左上の「国語」と表示されている下側の空白のセルへ貼り付けて、貼り付けたらセルの背景色を抜くと次の【図 1 4 0】の画面のようになります。

【図 1 4 0】

自動保存

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版).xslm

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

コメント共有

上書き保存

V80

fx

PQRTUVWXYZAAABACADEAFAG

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長 様

高等学校名○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受験番号	氏名	性別	合 否			
27	受験生学科等1	受験番号	受験生氏名	受験生性別	合否等			
28	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
29	得点							

列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	
行801		受験生ふりがな	受験生中学コード	受験生			
行802		数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計	内容
行803	内容803.1	内容803.2	内容803.3	内容803.4	内容803.5	内容803.8	内容
行804	内容804.1	内容804.2	内容804.3	内容804.4	内容804.5	内容804.8	内容
行805	内容805.1	内容805.2	内容805.3	内容805.4	内容805.5	内容805.8	内容

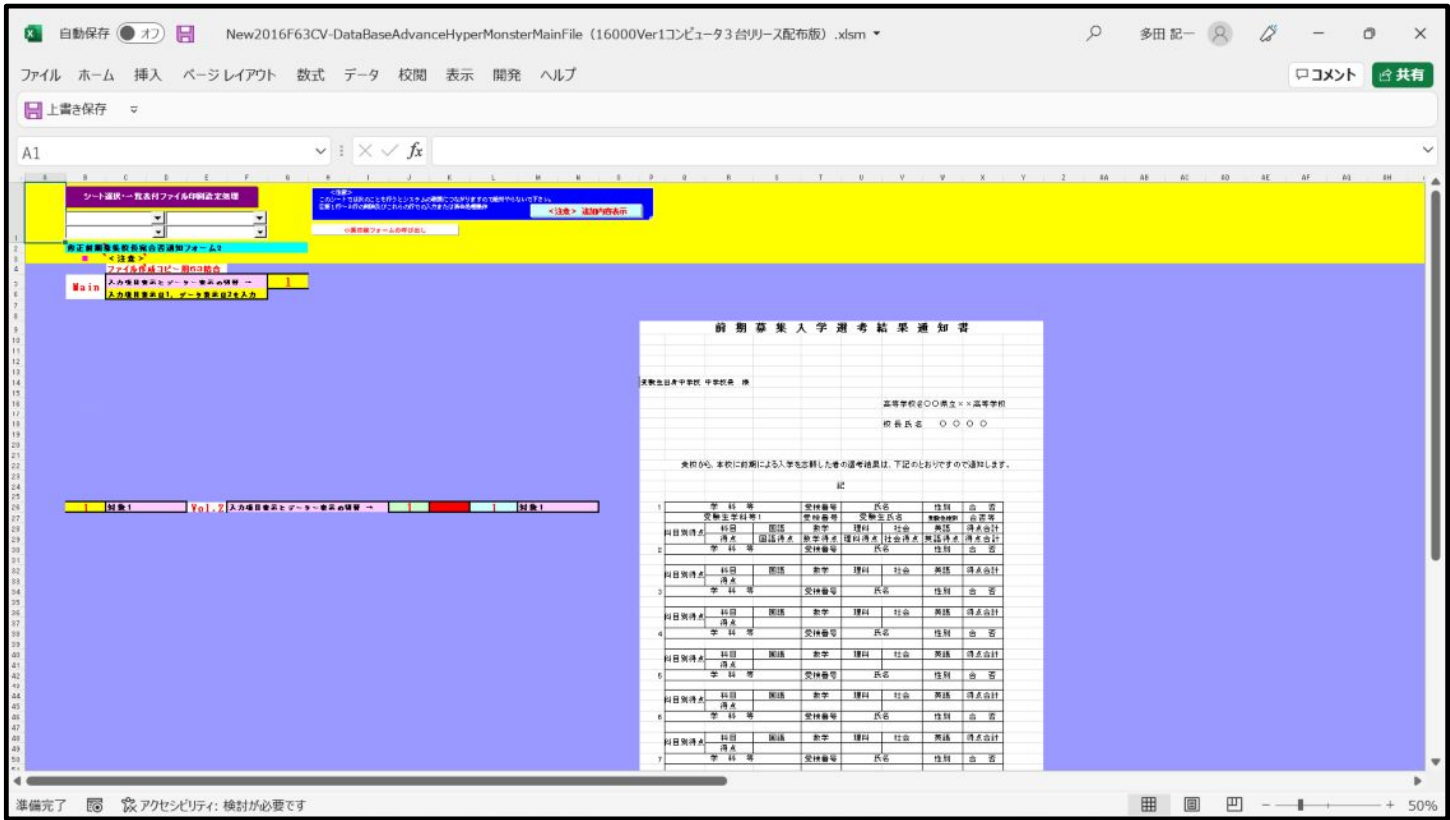
準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

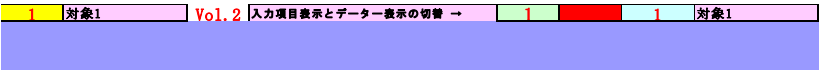
100%

上の「国語得点」のセルの編集と同様な手順で「数学得点」、「理科得点」、「社会得点」、「英語得点」、「得点合計」について編集を行い、画面の分割を解除すると次の[図 1 4 1]の画面になります。75%です。

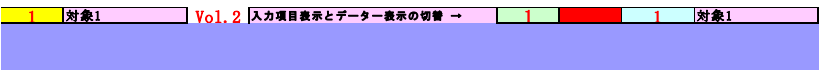
[図 1 4 1]



次に上の[図 1 4 1]の画面の



の部分を選択して

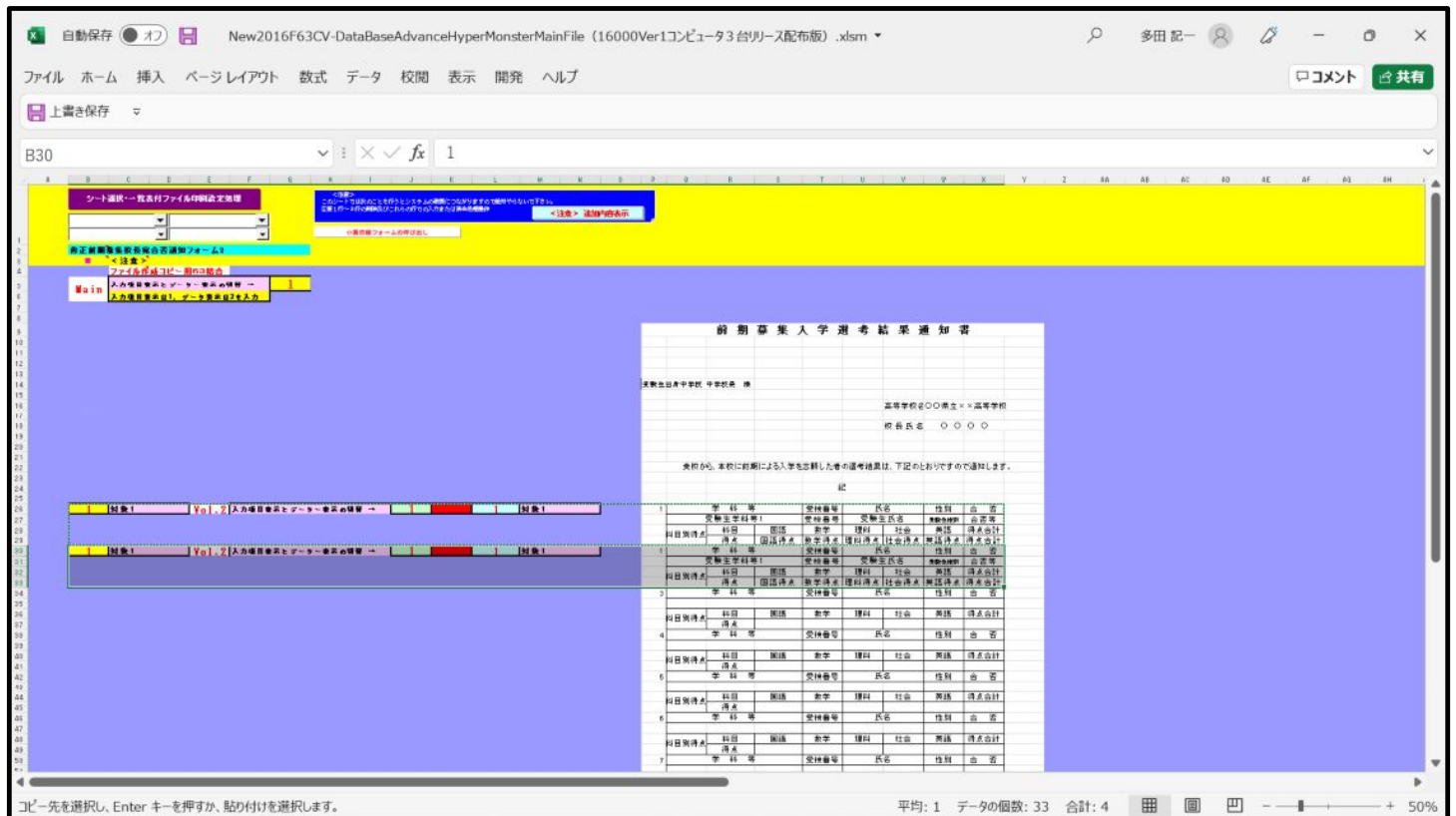


学 科 等		受験番号	氏 名		性別	合 否	
受験生学科等1		受験番号	受験生氏名		受験生性別	可否等	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

学 科 等			受験番号	氏名	性別	合 否	
受験生学科等1			受験番号	受験生氏名	受験生性別	可否等	
科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	国語得点	数学得点	理科得点	社会得点	英語得点	得点合計

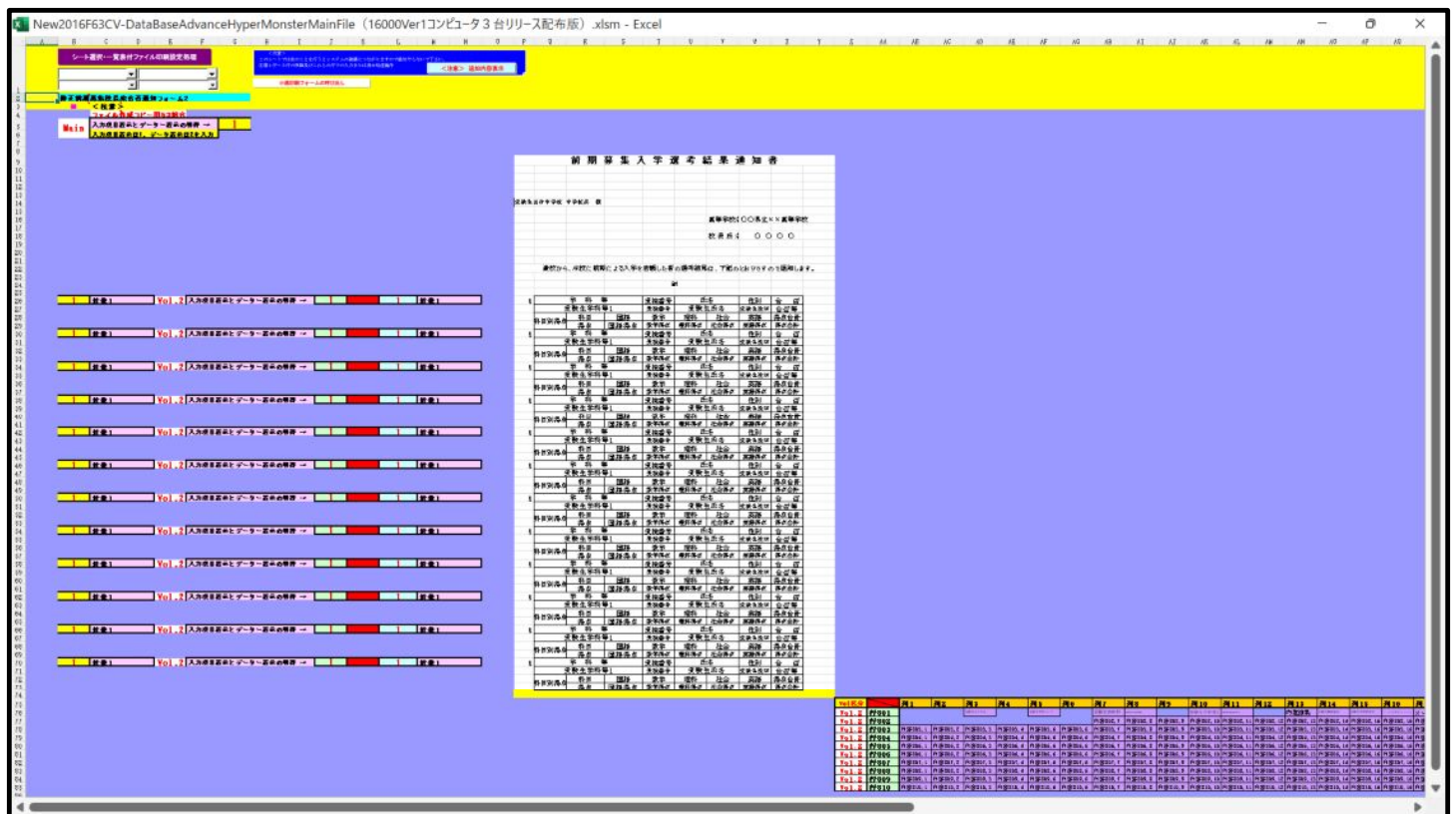
の部分のすぐ下側に **1** 対象1 の左右の位置が同じ位置になるよう複写します。つまり、次の[図 1 4 2]の画面のように複写します。

[図 1 4 2]



以下このような複写操作を10回繰り返し、次の[図143]の画面のようにします。但し表示倍率は40%です。

[図 1 4 3]



次に上の[図 1 4 3]の画面の

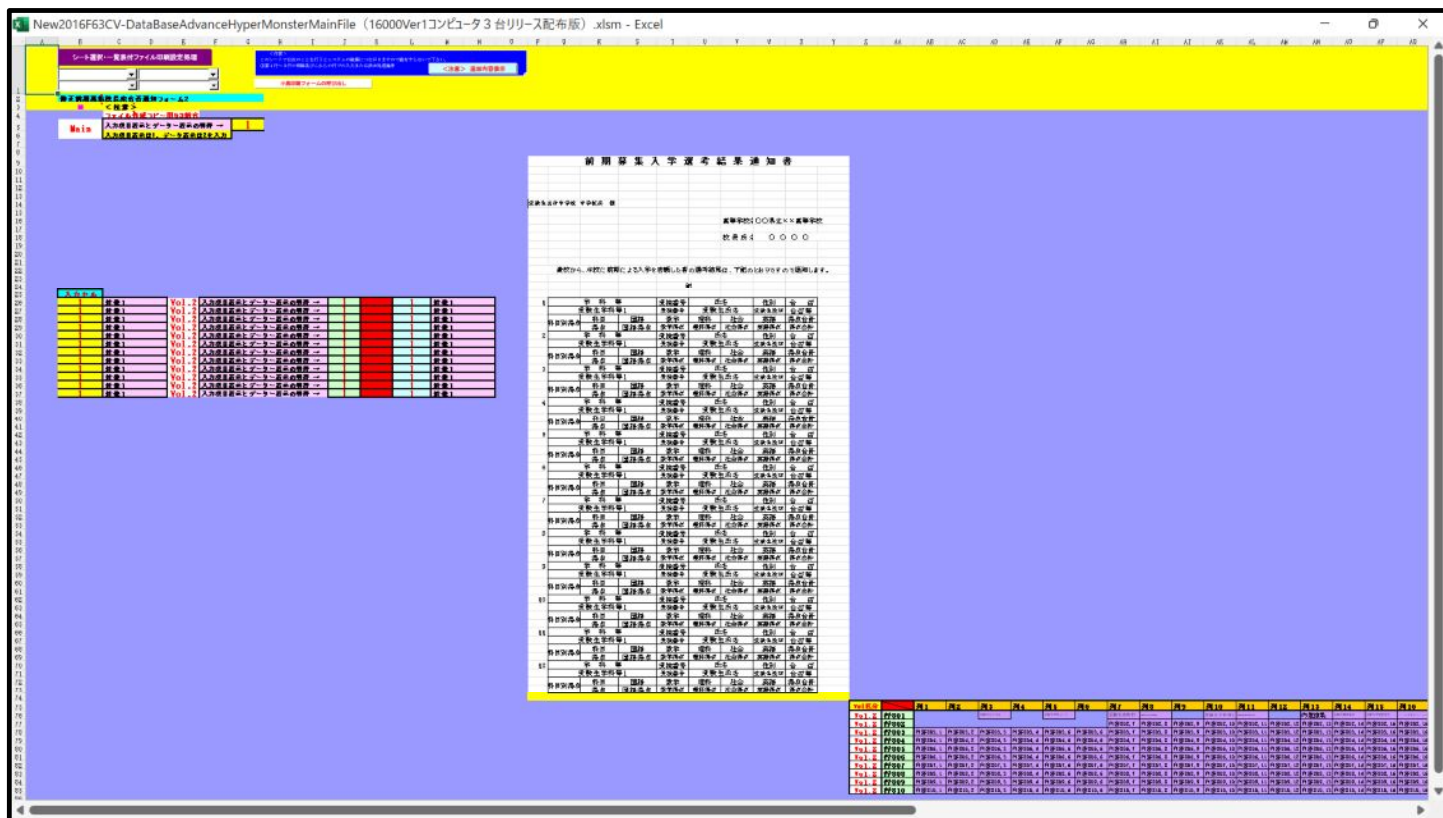
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1

の部分において各

1	対象1	Vol. 2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1		1	対象1
---	-----	--------	--------------------	---	--	---	-----

の部分の切り貼りを行ってかためて次の[図 1 4 4]の画面のような状態にします。但し、色抜きの中の番号をつけ直すとともに、**入力セル**と表示されているセルは新たに作成したものです。

[図 1 4 4]



上の[図 1 4 4]の画面の

Main

入力項目表示とデータ一表示の切替 →

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

1

の部分の最も右の **1** と表示されているセルの値を **2** に変更すると上の[図 1 4 4]の画面の背景色なしの部分は次の[図 1 4 5]の画面からその下の[図 1 4 6]の画面に変化します。

[図144]

前期募集入学選考結果通知書

受験生出身中学校 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
2	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
3	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
4	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
5	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
6	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
7	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
8	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
9	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
10	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
11	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
12	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計
	学 科 等			受験番号	氏名		性別	合 否
	受験生学科等1			受験番号	受験生氏名		受験生性別	合否等
	科目別得点	科目 得点	国語 国語得点	数学 数学得点	理科得点	社会 社会得点	英語 英語得点	得点合計 得点合計

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○ ○ 県立 × × 高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
2	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
3	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
4	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
5	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
6	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
7	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
8	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
9	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
10	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
11	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
12	学 科 等		受検番号	氏 名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計

[図 1 4 5]の画面の 1～12 の各データーはデーターファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」の表の上から 1 行目のデーターです。

さらに、次の[図 1 4 6]の画面において

1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1

最も左側の **1** と表示されている 1 2 個のセルの値を書き換えて

1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		1	対象1
2	対象2	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		2	対象2
3	対象3	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		3	対象3
4	対象4	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		4	対象4
5	対象5	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		5	対象5
6	対象6	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		6	対象6
7	対象7	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		7	対象7
8	対象8	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		8	対象8
9	対象9	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		9	対象9
10	対象10	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		10	対象10
11	対象11	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		11	対象11
12	対象12	Vol.2	入力項目表示とデーター表示の切替 →	2		12	対象12

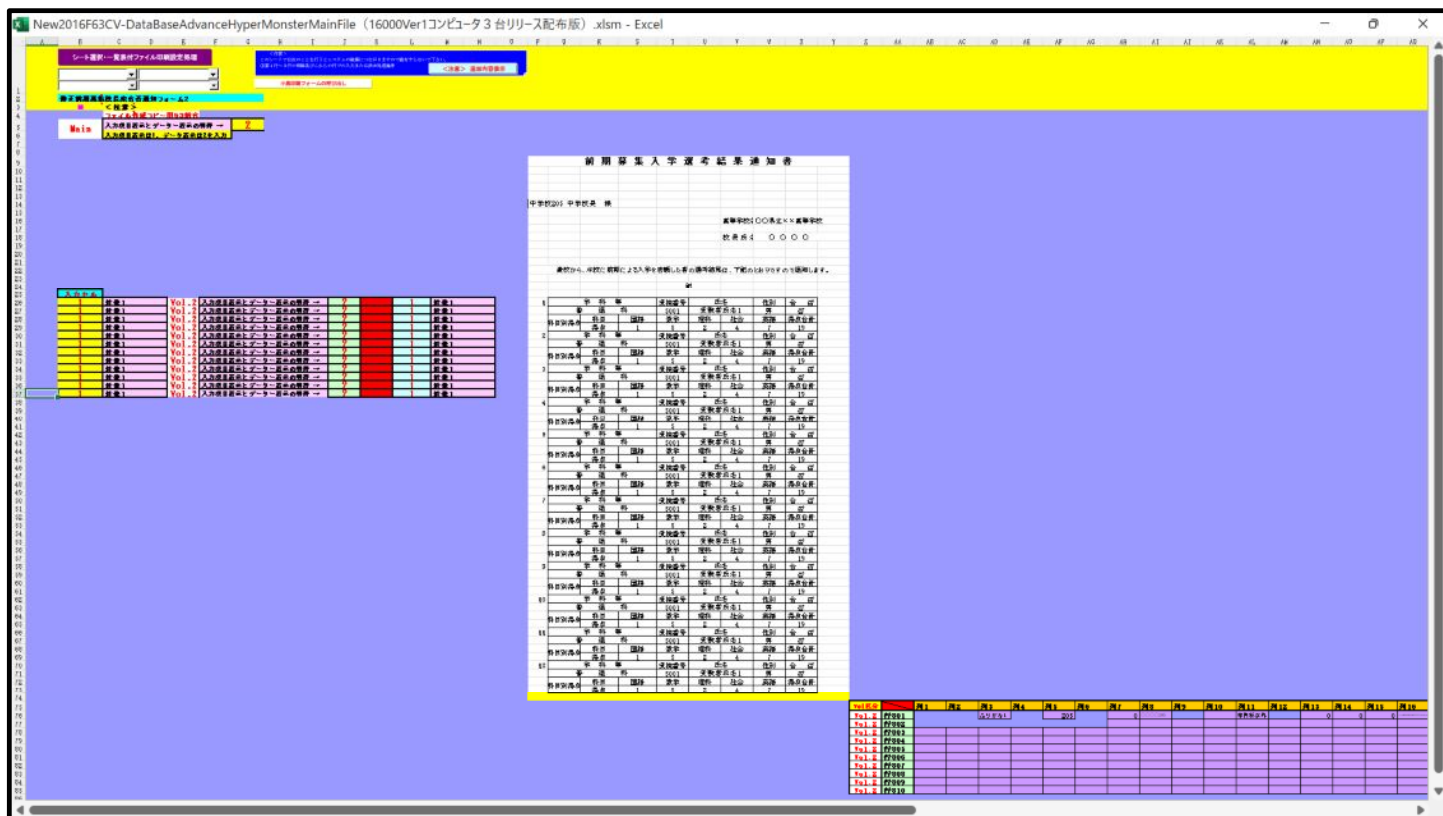
と入力すると次の[図 1 4 6]の画面の背景色なしの部分は[図 1 4 7]の画面からその下の[図 1 4 8]の画面に変化します。

とくに、[図 1 4 8]の画面の 1～12 の各データーはデーターファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

における入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」の表の上から 1～12 行のデーターです。

[図 1 4 6]



前期募集入学選考結果通知書									
中学校205 中学校長 様									
高等学校名○○県立××高等学校									
校長氏名 ○ ○ ○ ○									
貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。									
記									
1	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
2	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
3	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
4	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
5	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
6	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
7	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
8	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
9	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
10	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
11	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	
12	学 科 等			受検番号	氏名		性別	合 否	
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
	得点		1	5	2	4	7	19	

前期募集入学選考結果通知書									
中学校205 中学校長 様									
高等学校名 ○○県立××高等学校									
校長氏名 ○ ○ ○ ○									
貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。									
記									
1	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5001	受験者氏名1		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	1	5	2	4	7	19	
2	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5002	受験者氏名2		男	合	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	2	6	3	5	8	24	
3	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5003	受験者氏名3		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	3	7	4	6	9	29	
4	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5004	受験者氏名4		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	4	8	5	7	10	34	
5	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5005	受験者氏名5		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	5	9	6	8	11	39	
6	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5006	受験者氏名6		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	6	10	7	9	12	44	
7	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5007	受験者氏名7		男	合	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	7	11	8	10	13	49	
8	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5008	受験者氏名8		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	8	12	9	11	14	54	
9	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5009	受験者氏名9		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	9	13	10	12	15	59	
10	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5010	受験者氏名10		男	合	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	10	14	11	13	16	64	
11	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5011	受験者氏名11		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	11	15	12	14	17	69	
12	学 科 等			受検番号	氏 名		性別	合	否
	普 通 科			5012	受験者氏名12		男	否	
	科目別得点	科目	国語	数学	理科	社会	英語	得点合計	
		得点	12	16	13	15	18	74	

これで

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」の 1 行当たりを「印刷フォームシート」上で複数行に配置して「入力シート」における表の複数の行を同時に表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計の説明は終了いたします。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について：

先ず最初に、「一学期中間考査印刷フォーム 1」、「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2」を印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合、シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力をするには 2 つのシート

「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデーター」

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」

のデーターを作成する必要があります。それには、それぞれファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

を用いて作成いたします。

シート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターを作成するには、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ 処理呼出2 を選択すると次の[図 1 4 9]の画面になります。

[図 1 4 9]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BA、BBを選択 | 入力シートCA、CB、DA、DBを選択 | 印刷

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出
入力シート選択・データー行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出
選択編集シート全データー削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行挿入罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行削除罫線区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートデーター消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートIDナンバリング罫線5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出

標準画面表示

全画面表示

シート見出し表示

シート見出し非表示

MeinFileへ移動

セルの広範囲選択呼出

キャンセル

システム終了

上の[図 1 4 9]の画面のコマンド

入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出

をクリックすると次の[図 1 5 0]の画面になります。

[図 1 5 0]

入カシートから編集シートへの複写メニュー

入カシート1～20から編集シートへ複写呼出
入カシート21～40から編集シートへ複写呼出
入カシート41～60から編集シートへ複写呼出
入カシート61～80から編集シートへ複写呼出

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ
キャンセル

そして上の[図 1 5 0]の画面のコマンドボタン

入カシート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 5 1]の画面になります。

[図 1 5 1]

入カシート1～20から編集シートへ複写

Page1 (入カシート1～10) Page2 (入カシート11～20)

1 複写シート組合せ選択

☐ 入力AA1ー学期中間考査	---	
☐ 入力AA2	---	
☐ 入力AA3	---	
☐ 入力AA4	---	
☐ 入力AA5	---	
☐ 入力AA6	---	
☐ 入力AA7	---	
☐ 入力AA8	---	
☐ 入力AA9	---	
☐ 入力AA10	---	

2 処理

全シートチェック	全シートチェックキャンセル	全コンボボックスキャンセル	複写処理実行
頁内シートチェック	頁内シートチェックキャンセル	頁内コンボボックスキャンセル	

キャンセル	入カシート21～40からの複写へ	入カシートからの複写メニューへ
-------	------------------	-----------------

上の[図 1 5 1]の画面のチェックボックス

☐ 入力AA1－学期中間考査

にチェックを入れて

☒ 入力AA1－学期中間考査

とし、この右側のコンボボックスで

印刷フォーム1ソートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタンをクリックすると

入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」をシート「印刷フォーム 1 データー」複写する処理が開始されます。処理が開始されると途中次の[図 1 5 2]の画面が表示され、更に[図 1 5 3]の画面が表示されたら複写処理は完了となります。

[図 1 5 2]

ただいま処理中です。
しばらくお待ち下さい。

【図 1 5 3】

シート選択・一覧表示付ファイル設定印刷

Fileの登録シート選択・ファイル名のMainFileへの登録 | シート選択、処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA、AB、BA、BB選択 | 入力シートCA、CB、DA、DB選択 | 印

ファイル作成コピー用選択複写メニュー呼出	入力シートへの空白入力処理呼出
シート間の複写処理呼出	編集シートへの空白入力処理呼出
ドロップダウン形式処理呼出	入力シートから空白入力消去処理呼出
入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出	編集シートから空白入力消去処理呼出
入力シート選択・データ行選択消去呼出	選択入力シート指定列空白埋め込み処理呼出
編集シートから入力シートへの複写処理メニュー呼出	選択編集シート指定列空白埋め込み処理呼出
選択編集シート全データ削除初期化呼出	選択入力シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行挿入登録区切りDATA入力準備処理呼出	選択編集シート指定列空白消去処理呼出
選択編集シート行削除登録区切りDATA入力準備処理呼出	選択入力シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートデータ消去呼出	選択編集シート指定列・行の指定全行への複写処理呼出
選択編集シートIDナンバリング登録5本区切り処理呼出	アクティブシート列幅調整呼出
入力シート間の複写メニュー呼出	アクティブシート行高調整呼出
編集シート間の行及び列単位複写メニュー呼出	小票印刷フォームの呼出

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
MeinFileへ移動	セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了

シート「印刷フォーム1データ」を選択すると、次の【図 1 5 4】の画面のようになっています。

【図 1 5 4】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

A1

シート選択・一覧表示付ファイル印刷設定処理

浦島太郎 浦島太郎

印刷フォーム1シートデータ

<注意> このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

ID	対象	名氏	フリガナ	年学	スラク	号番	点得語国	点得会社	点得学数	点得科理	点得語英	計合点得	平者験受	者験受点	者験受点	者験受点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
18	対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
19	対象19	フグオさん	ふぐおさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318	68.285714	71.795918	64.55102	72.51
20	対象20	ハツオ君	かつおくん	2年	2組	10番	44	48	47	60	66	265	68.285714	71.795918	64.55102	72.51

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

見やすくするため、シートの保護を解除し、上の【図 1 5 4】の画面の項目を表している第5行の行高を広げると、次の【図 1 5 5】の画面のようになります。

【図 1 5 5】

自動保存 (●) (○) New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

検索 (Alt+Q)

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

上書き保存

D11

×✓fx 姓

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

浦島太郎

浦島太郎

印刷フォーム1シートデーター

<注意>

<注意> このシートでは次のことを行くとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷 フォームの呼び出し

ID	対象	氏名	りがめいふ	学年	クラス	番号	国語得点	社会得点	数学得点	理科得点	英語得点	得点合計	者国 平語 均受 点験 点	均受社 点験会 者得 平点	均受数 点験学 者得 平点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	ドラえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102

準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

さて、次に上の【図 1 5 5】の画面のデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の内容をファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（
16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」に複写します。それには手動でおこないます。
 まず、データファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の表部分 B5～GU55 の範囲をを選択してコピーし、
 をファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile（
16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」の B5 の位置に貼り付けます。その結果、
 ファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
（16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版）.xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデータ」の状況は次の【図 1 5 6】の画面のよう
 になっています。ただし、第 5 行の行高を広げています。

【図 1 5 6】

ID	対象	氏名	りがめ	学年	クラス	番号	国語	社会	数学	理科	英語	得点合計	者国	均点	均受	均受数
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102	
2	対象2	浦島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102	
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102	
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102	
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102	
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102	
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102	
8	対象8	一寸法師	いっすんぼうし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102	
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102	
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102	
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102	
12	対象12	ドラエモン	ドラえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102	
13	対象13	のびのび太	のびのびた	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102	
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102	
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102	

ここまで作業が完了したらデーターファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xslm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターは削除しましょう。

次にシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」のデーターを作成するには、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslm

を開き、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」のタブ **処理呼出2** を選択すると次の【図 1 5 7】の画面になります。

【図 1 5 7】

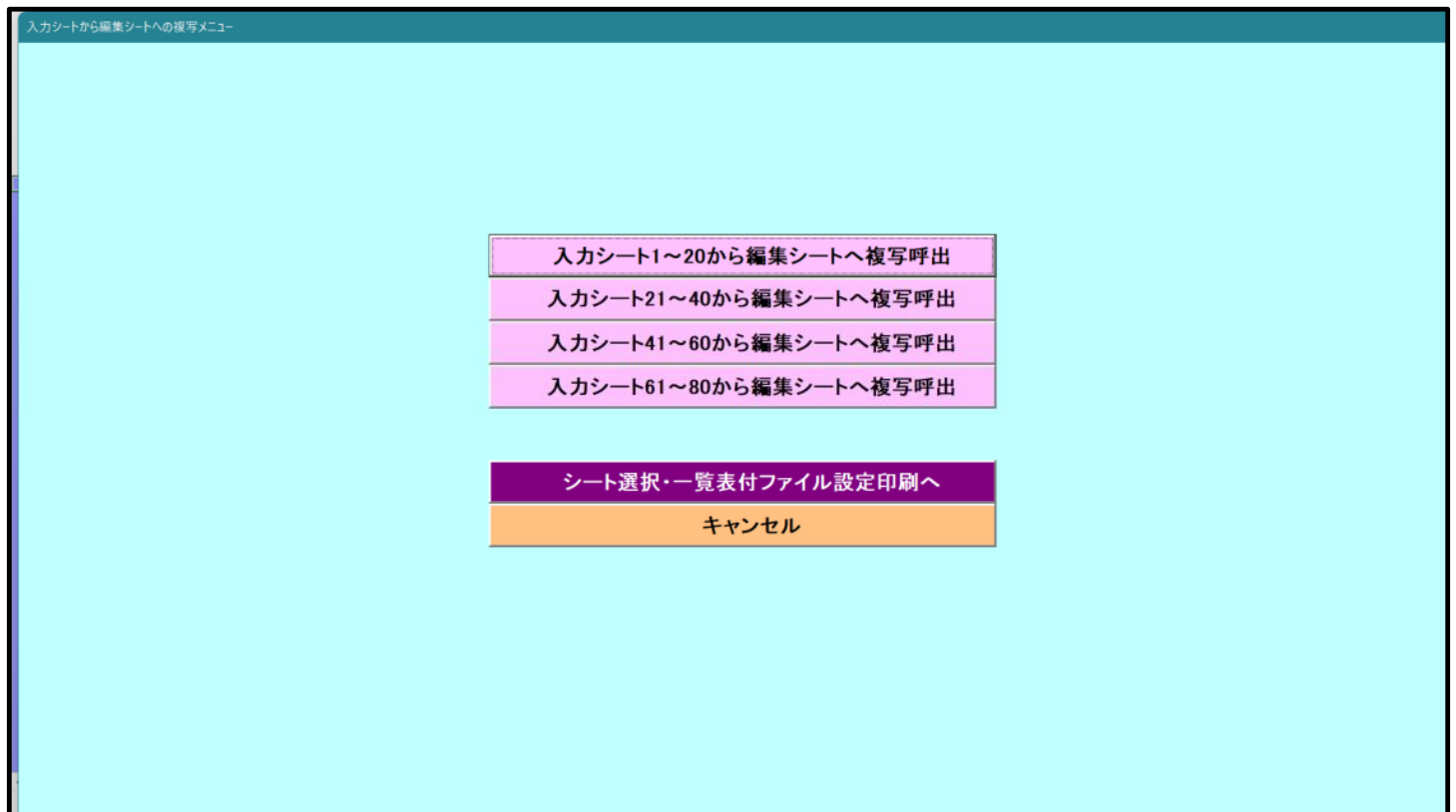


上の【図 1 5 7】の画面のコマンド

入力シートから編集シートへの複写メニュー呼出

をクリックすると次の【図 1 5 8】の画面になります。

【図 1 5 8】



そして上の[図 1 5 8]の画面のコマンドボタン

入力シート1～20から編集シートへ複写呼出

をクリックすると更に次の[図 1 5 9]の画面になります。

[図 1 5 9]

入力シート1～20から編集シートへ複写

Page1 (入力シート1～10) Page2 (入力シート11～20)

1 複写シート組合せ選択

☐ 入力AA1 高校入試通知書等作成データー

☐ 入力AA2

☐ 入力AA3

☐ 入力AA4

☐ 入力AA5

☐ 入力AA6

☐ 入力AA7

☐ 入力AA8

☐ 入力AA9

☐ 入力AA10

2 処理

全シートチェック 全シートチェックキャンセル 全コンボボックスキャンセル 複写処理実行

頁内シートチェック 頁内シートチェックキャンセル 頁内コンボボックスキャンセル

キャンセル 入力シート21～40からの複写へ 入力シートからの複写メニューへ

上の[図 1 5 9]の画面のチェックボックス

☐ 入力AA1 高校入試通知書等作成データー

にチェックを入れて

☒ 入力AA1 高校入試通知書等作成データー

とし、この右側のコンボボックスで

印刷フォーム1ソートデーター

複写処理実行

とシートを選択し、コマンドボタンをクリックすると

入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」をシート

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」に複写する処理が開始されます。

処理が開始されると途中次の[図 1 6 0]の画面が表示され、更に[図 1 6 1]の画面が表示されたら複写処理は完了となります。

【図 1 6 0】



【図 1 6 1】



シート「修正前期募集校長宛合否通知フォーム2 ソートデータ」を選択すると、次の【図 1 6 2】の画面のようになっています。

[図 1 6 2]

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm 検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

A1

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

5002 5002

印刷フォーム1シートデーター

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

ID	対象	受験番号	受験者氏名	受験生ふ	受験生性	受験生中	受験生出	受験生市	受験生出	受験生学	受験生学	受験生通	合否等	内定結果	受験生都	受験
1	対象1	5001	受験者氏名ふりがな1	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
2	対象2	5002	受験者氏名ふりがな2	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	合			
3	対象3	5003	受験者氏名ふりがな3	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
4	対象4	5004	受験者氏名ふりがな4	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
5	対象5	5005	受験者氏名ふりがな5	男	105	中学校105			〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	否			
6	対象6	5006	受験者氏名ふりがな6	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
7	対象7	5007	受験者氏名ふりがな7	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	合			
8	対象8	5008	受験者氏名ふりがな8	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
9	対象9	5009	受験者氏名ふりがな9	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
10	対象10	5010	受験者氏名ふりがな10	男	1701	中学校1701			〇〇〇〇17	普通科		専門科以外	合			
11	対象11	5011	受験者氏名ふりがな11	男	125	中学校125			〇〇〇〇12	普通科		専門科以外	否			
12	対象12	5012	受験者氏名ふりがな12	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
13	対象13	5013	受験者氏名ふりがな13	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
14	対象14	5014	受験者氏名ふりがな14	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		専門科以外	否			
15	対象15	5015	受験者氏名ふりがな15	男	105	中学校105			〇〇〇〇10	普通科		専門科以外	合			
16	対象16	5016	受験者氏名ふりがな16	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
17	対象17	5017	受験者氏名ふりがな17	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
18	対象18	5018	受験者氏名ふりがな18	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			
19	対象19	5019	受験者氏名ふりがな19	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	合			
20	対象20	5020	受験者氏名ふりがな20	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		専門科以外	否			

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

見やすくするため、シートの保護を解除し、上の[図 1 6 2]の画面の項目を表している第 5 行の行高を広げると、次の[図 1 6 3]の画面のようになります。

[図 1 6 3]

自動保存

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

検索 (Alt+Q)

多田 記一

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプ

コメント共有

上書き保存

A1

×✓fx

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q						
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理								<注意> このシートでは次のことを行くとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。 ①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作 <注意> 追加内容表示														
			5002					小票印刷フォームの呼び出し														
			5002																			
印刷フォーム1シートデーター																						
■ <注意>																						
ID	対象	受検番号	受験生氏名	が受験生ふり	受験生性別	コード	受験生出身	村	受験生市町	名	中学校長宛身	等1	受験生学科	等2	受験生学科	区分	書作	受験生命通令知	合否等	内定結果	番号	受験生郵便
1	対象1	5001	受験者氏名	ふりがな1	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		普通科		専門科以外	否						
2	対象2	5002	受験者氏名	ふりがな2	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		普通科		専門科以外	合						
3	対象3	5003	受験者氏名	ふりがな3	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		普通科		専門科以外	否						
4	対象4	5004	受験者氏名	ふりがな4	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105			〇〇〇〇10	普通科		普通科		専門科以外	否						
6	対象6	5006	受験者氏名	ふりがな6	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						
7	対象7	5007	受験者氏名	ふりがな7	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	合						
8	対象8	5008	受験者氏名	ふりがな8	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						
9	対象9	5009	受験者氏名	ふりがな9	男	205	中学校205			〇〇〇〇20	普通科		普通科		専門科以外	否						
10	対象10	5010	受験者氏名	ふりがな10	男	1701	中学校1701			〇〇〇〇17	普通科		普通科		専門科以外	合						
11	対象11	5011	受験者氏名	ふりがな11	男	125	中学校125			〇〇〇〇12	普通科		普通科		専門科以外	否						
12	対象12	5012	受験者氏名	ふりがな12	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						
13	対象13	5013	受験者氏名	ふりがな13	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						
14	対象14	5014	受験者氏名	ふりがな14	男	1103	中学校1103			〇〇〇〇11	普通科		普通科		専門科以外	否						

準備完了

アクセシビリティ: 検討が必要です

100%

さて、次に上の[図 1 6 3]の画面のデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の内容をファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」に複写します。それには手動でおこないます。

まず、データーファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」の表部分 B5～GU505 の範囲をを選択してコピーし、をファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」の B5 の位置に貼り付けます。

その結果、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm

のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」の状況は次の[図 1 6 4]の画面のようになっています。ただし、第 5 行の行高を広げています。

[図 1 6 4]

自動保存

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○</

ここまで作業が完了したらデーターファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm

のシート「印刷フォーム 1 ソートデーター」のデーターは削除しましょう。

これで 2 つのシート

「一学期中間考査印刷フォーム 1 ソートデーター」

「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデーター」

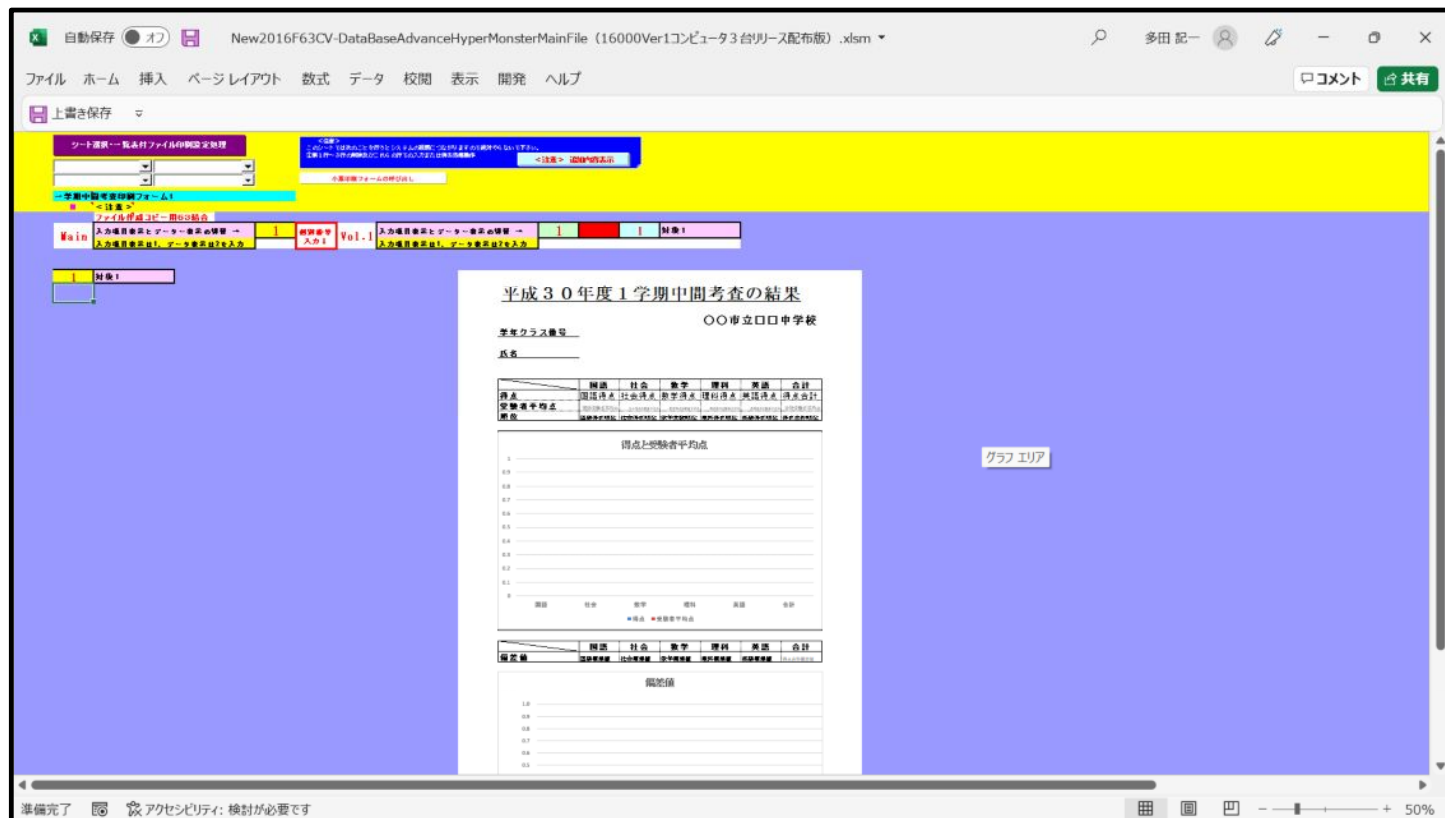
のデーターを作成する説明は終了いたします。

- ① 票形式の印刷の場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合：

ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
 のシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」を印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール
 送信する場合について、一覧表付ファイル作成入力設定シート
 「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定 1」
 の入力設定について説明いたします。
 フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」について、今一度確認しておきます。
 次の[図 1 6 5]の画面は、フォームシート「一学期中間考査印刷フォーム 1」の画面です。

[図 1 6 5]



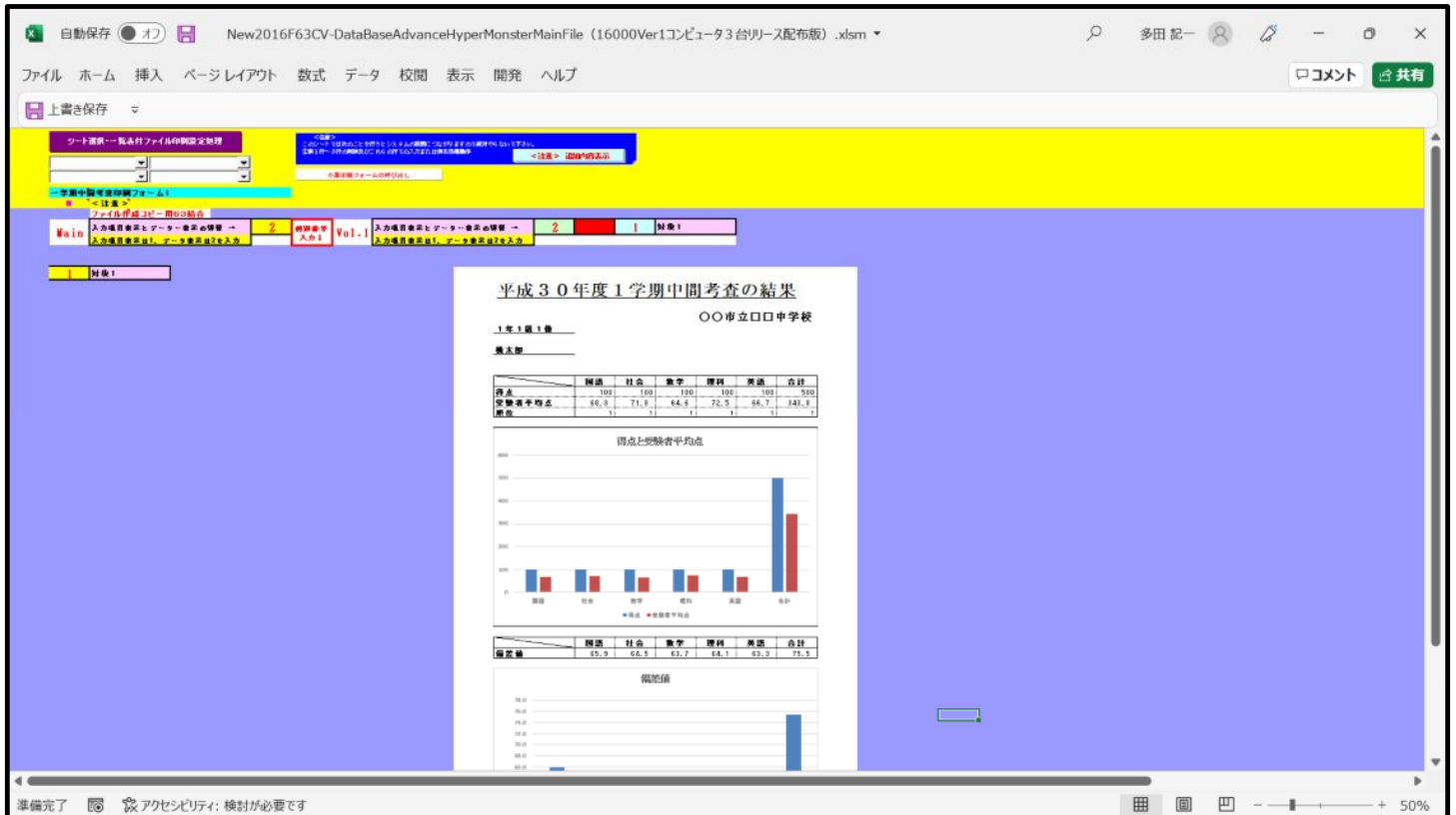
上の[図 1 6 5]の画面の

Main	入力項目表示とデーター表示の切替 →	1
	入力項目表示は1, データ表示は2を入力	

の

部分のセル 1 の値を 2 と入力し直すと、[図 1 6 5]の画面の背景色を抜いてある右側の
 部分は、データーファイル
 New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm
 の入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」における表の第 1 行目のデーターが表示されて次の[図 1 6 6]
 の画面のようになりました。

【図 1 6 6】



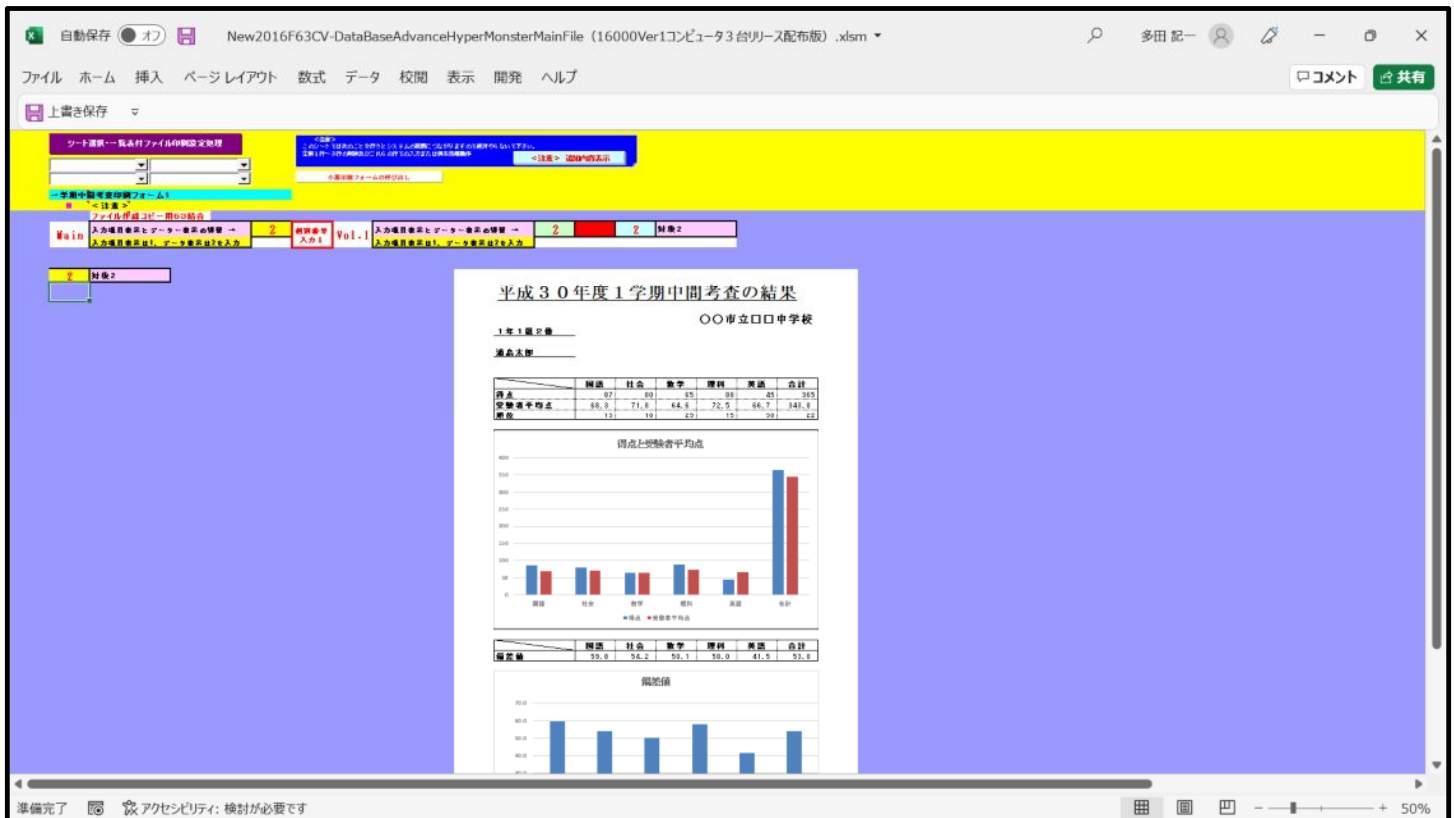
また、上の【図 1 6 6】の画面の **1** 対象1 の部分のセル **1** の値を

2 と入力し直すと【図 1 6 6】の画面の背景色を抜いてある右側の部分は、データファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.1.xlsm

入力シート「入力 AA1 一学期中間考査」における表の第 2 行目のデータが表示されて次の【図 1 6 7】の画面のようになります。

【図 1 6 7】



さて、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1 コンピュータ3台リリース配布版) .xslm

のシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデーター」の状況は次の【図 1 6 8】の画面のようになっています。

【図 1 6 8】

シート選択・一覧表示ファイル印刷設定処理

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～3行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

一学期中間考査印刷フォーム1ソートデーター

<注意>

ID	対象	氏名	りがめ ないふ	学年	クラス	番号	国語 得点	社会 得点	数学 得点	理科 得点	英語 得点	得点 合計	国語 平均 点	社会 平均 点	数学 平均 点
1	対象1	桃太郎	ももたろう	1年	1組	1番	100	100	100	100	100	500	68.285714	71.795918	64.55102
2	対象2	渡島太郎	うらしまたろう	1年	1組	2番	87	80	65	88	45	365	68.285714	71.795918	64.55102
3	対象3	金太郎	きんたろう	1年	1組	3番	33	87	44	56	88	308	68.285714	71.795918	64.55102
4	対象4	犬	いぬ	1年	1組	4番	89	78	28	79	97	371	68.285714	71.795918	64.55102
5	対象5	猿	さる	1年	1組	5番	98	66	80	90	45	379	68.285714	71.795918	64.55102
6	対象6	雉	きじ	1年	1組	6番	45	75	98	45	70	333	68.285714	71.795918	64.55102
7	対象7	鬼ちゃん	おにちゃん	1年	1組	7番	66	79	76	99	65	385	68.285714	71.795918	64.55102
8	対象8	一寸法師	いっすんぼし	1年	1組	8番	45	45	79	42	55	266	68.285714	71.795918	64.55102
9	対象9	爺さん	じいさん	1年	1組	9番	58	61	56	34	43	252	68.285714	71.795918	64.55102
10	対象10	婆さん	ばあさん	1年	1組	10番	77	70	85	74	98	404	68.285714	71.795918	64.55102
11	対象11	姫	ひめ	2年	2組	1番	60	75	74	89	56	354	68.285714	71.795918	64.55102
12	対象12	ドラエモン	どらえもん	2年	2組	2番	66	69	78	100	77	390	68.285714	71.795918	64.55102
13	対象13	のびのび大	のびのび大	2年	2組	3番	88	98	55	99	81	421	68.285714	71.795918	64.55102
14	対象14	スネ夫	すねお	2年	2組	4番	77	99	49	80	98	403	68.285714	71.795918	64.55102
15	対象15	ジャイアン	じゃいあん	2年	2組	5番	56	100	30	70	34	290	68.285714	71.795918	64.55102
16	対象16	静香ちゃん	しずかちゃん	2年	2組	6番	52	64	11	65	0	192	68.285714	71.795918	64.55102
17	対象17	サザエさん	さざえさん	2年	2組	7番	69	75	45	51	85	325	68.285714	71.795918	64.55102
18	対象18	マスオさん	ますおさん	2年	2組	8番	82	78	69	70	90	389	68.285714	71.795918	64.55102
19	対象19	ワフオさん	わふうさん	2年	2組	9番	42	41	100	90	45	318	68.285714	71.795918	64.55102
20	対象20	カツオ君	かつおくん	2年	2組	10番	44	48	47	60	66	265	68.285714	71.795918	64.55102
21	対象21	ワカメちゃん	わかめちゃん	2年	3組	1番	99	87	65	77	70	398	68.285714	71.795918	64.55102
22	対象22	タラちゃん	たらちゃん	2年	3組	2番	50	86	87	50	80	353	68.285714	71.795918	64.55102
23	対象23	ジャイアント	じゃいあん	2年	3組	3番	66	88	68	63	32	337	68.285714	71.795918	64.55102

ID	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23

上の[図 1 6 8]の画面の 23 の列において数値部分 23 を上から順番にコピーし、その値を

上の[図 1 6 7]の画面の 2 対象2 部分のセル 2 の位置に貼り付けて
 上の[図 1 6 7]の画面の背景色を抜いてある右側の部分を印刷することができれば自動印刷ができるわけ
 です。
 その自動印刷を行うには、一覧表付ファイル作成入力設定シートであるシート「一学期中間検査一覧表付フ
 ァイル作成入力設定 1」の入力設定が必要です。

次の[図 1 6 9]の画面は、シート「一学期中間検査一覧表付ファイル作成入力設定 1」の画面です

[図 1 6 9]

まず最初に

1. 入力元の設定

項目	設定	内容	備考
シート名			
データ先頭セル番号			
データ先頭セル列番号			
異同比較列番号			
データ開始位置			
For Next の増分			

の部分についての入力設定について説明します。

シート名	
------	--

については、入力元のシートは、ソートデータシート「1学期中間考査印刷フォーム1 ソートデータ」ですので、左側のコンボボックスで

シート名	1学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
------	----------------------

1学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ

と選択すると、右側のセルに
と入力されます。

データ先頭セル番号	
-----------	--

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

については、右側のセルに、上の[図 1 6 8]の画面の
 の列において最も上側の
 と表示されているセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して

データ先頭セル行番号	6
------------	---

とします。また、

データ先頭セル列番号	
------------	--

ID
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

の部分の右側のセルには、上の[図 1 6 8]の画面の の列において最も上側の と表示されているセルの番地「B6」の列「B」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル列番号	2
------------	---

とします。
ただし、列番号は次の表のように定めています。

列	A	B	C	・・・	Z	AA	AB	・・・
列番号	1	2	3	・・・	26	27	28	・・・

異同比較列番号	
---------	--

氏名
桃太郎
浦島太郎
金太郎
犬
猿
雉
鬼ちゃん
一寸法師
爺さん
婆さん
姫
ドラエモン
のびのび太
スネ夫
ジャイアン
静香ちゃん
サザエさん
マスオさん
フグオさん
カツオ君
ワカメちゃん
タラちゃん
ジャイアント

の右側のセルには、上の[図 1 6 8]の画面の「ジャイアント」と表示されている列「D」の列番号「4」を入力して

異	同	比	較	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数
---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 8]の画面の表においてデーターをコピーするセルの個数 50 を入力して

デ	ー	タ	ー	数
---	---	---	---	---

とします。

For	Next	の	増	分
-----	------	---	---	---

の右側のセルには、For Next の増分「1」（通常は 1 です）を入力して

For	Next	の	増	分
-----	------	---	---	---

とします。

次に

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入	カ	先	頭	セ	ル
入	カ	先	頭	セ	ル
入	カ	最	終	セ	ル
入	カ	最	終	セ	ル
入	カ	デ	ー	タ	ー
通	し	ベ	ー	ジ	入
通	し	ベ	ー	ジ	入
区	分	内	ベ	ー	ジ
区	分	内	ベ	ー	ジ

の部分についての入力の仕方について説明いたします。

シート名	
------	--

の左側のコンボボックスで入力先のシート名「一学期中間考査印刷フォーム 1」を選択し

シート名

一学期中間考査印刷フォーム1

とします。すると、右側のセルには

一学期中間考査印刷フォーム1

と入力されて、

シート名	一学期中間考査印刷フォーム1	一学期中間考査印刷フォーム1
------	----------------	----------------

となります。

入	カ	先	頭	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 7]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の行番号「9」を入力して

入	カ	先	頭	セ	ル	行	番	号	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

入	カ	先	頭	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 7]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の列番号「2」を入力して

入	カ	先	頭	セ	ル	列	番	号	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

入	カ	最	終	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 7]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の行番号「9」を入力して

入	カ	最	終	セ	ル	行	番	号	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

入	カ	最	終	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 7]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセルのセル番地「B9」の列番号「2」を入力して

入	カ	最	終	セ	ル	列	番	号	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

入	カ	デ	ー	タ	ー	数
---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 6 7]の画面の **2** 対象2 の部分で **2** と表示されているセル 1 個にコピーしたデーターを貼り付けて入力するだけなので、数値「1」を入力して

入	カ	デ	ー	タ	ー	数	1
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

印刷フォームシートをシステム備わっているマクロ機能を用いて印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、印刷フォームシートに必ず通し番号と区分内番号を表示する場所を確保し、通し番号と区分内番号を表示するセルを指定しなければなりません。

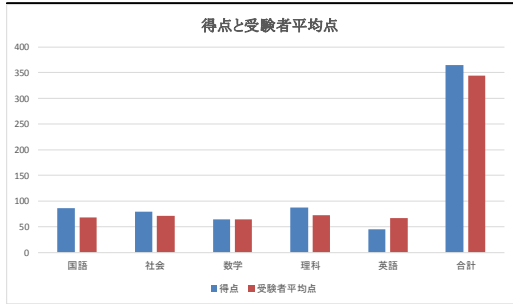
平成30年度1学期中間考査の結果

〇〇市立〇〇中学校

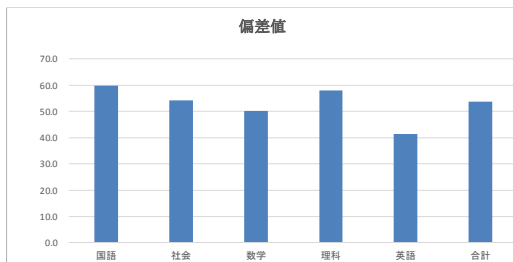
1年1組第2番

浦島太郎

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
得点	87	80	65	88	45	365
受験者平均点	68.3	71.8	64.6	72.5	66.7	343.8
順位	13	18	29	15	38	22



	国語	社会	数学	理科	英語	合計
偏差値	59.8	54.2	50.1	58.0	41.5	53.8



上の[図167]の画面の部分の下側の

の部分を確認し、通し番号と区分内番号を表示するセルを指定したいと思います。なお、このピンクのセル範囲では、シートを保護しても保護がされないように設定しておく必要があります。

通し番号を表示するセルの番地を「L62」、区分内番号を表示するセルの番地を「Q62」としたいと思います。

ということで、

通しページ入力セル行番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の行番号「62」を入力して

通しページ入力セル行番号 62

とします。

通しページ入力セル列番号

の右側のセルには、通し番号を表示するセルの番地「L62」の列番号「11」を入力して

通しページ入力セル列番号 11

とします。

区分内ページ入力セル行番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q62」の行番号「62」を入力して

区分内ページ入力セル行番号 62

とします。

区分内ページ入力セル列番号

の右側のセルには、区分内番号を表示するセルの番地「Q63」の列番号「16」を入力して

区分内ページ入力セル列番号 16

とします。

そして次に、

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理か ファイルの メール送信 の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力の仕方の説明をいたします。

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択			
--------------------------------	--	--	--

の左側のコンボボックス

印刷処理か
ファイルの
メール送信
の選択

で

印刷処理か
ファイルの
メール送信
の選択

印刷する

を選択すると右側のセルにと

印刷する

と
入力され

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	印刷する		印刷する
--------------------------------	------	--	------

となります。
単に印刷する場合は、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分に入力する必要はありません。
つまり、単に印刷を行う場合の一覧表付ファイル作成入力設定シート
「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定 1」の設定入力は、次の[図 1 7 0]の画面の通りです。

[図 1 7 0]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

設定印刷ボタン

一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1

1. 入力元の設定

項目	設定	内容
シート名	一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ	一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ
データ先頭セルの行番号	6	
データ先頭セルの列番号	2	
異同比較列番号	4	
データ数	50	
For Next の増分	1	

2. 入力先の設定

項目	設定	内容
シート名	一学期中間考査印刷フォーム1	一学期中間考査印刷フォーム1
入力先頭セルの行番号	9	
入力先頭セルの列番号	2	
入力最終セルの行番号	9	
入力最終セルの列番号	2	
入力データ数	1	
通過しベージ入力セルの行番号	62	
通過しベージ入力セルの列番号	12	
区分内ベージ入力セルの行番号	62	
区分内ベージ入力セルの列番号	16	

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項目	設定	内容
印刷処理かファイルのメール送信の選択	印刷する	印刷する

印刷する

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートにメールアドレスが入力されている列番号

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートに件名が入力されている列番号

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートに本文が入力されている列番号

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー

そして、印刷を実行するには、一覧表付ファイル作成入力設定シート

「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定1」の画面である上の[図 1 7 0]の画面のコマンドボタン

設定印刷ボタン

をクリックしていただければ結構です。

印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合は、

印刷範囲かファイルのメール送信の選択	
--------------------	--

の左側のコンボボックスで

印刷範囲かファイルのメール送信の選択	メールで送信する
--------------------	----------

メールで送信する

と選択すると右側のセルに
入力されて

印刷範囲かファイルのメール送信の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------	----------	----------

となります。

そして、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートにメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートに件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートに本文が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の右側の5個セル全て入力する必要があります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートにメールアドレスが入力されている列番号	
--	--

の右側のセルには、印刷ソートデータシート「一学期中間考査印刷フォーム1ソートデータ」に
入力されているメールの送信先のメールアドレスの列番号を入力します。その列は「AG列」ですので

列番号は「33」なので、

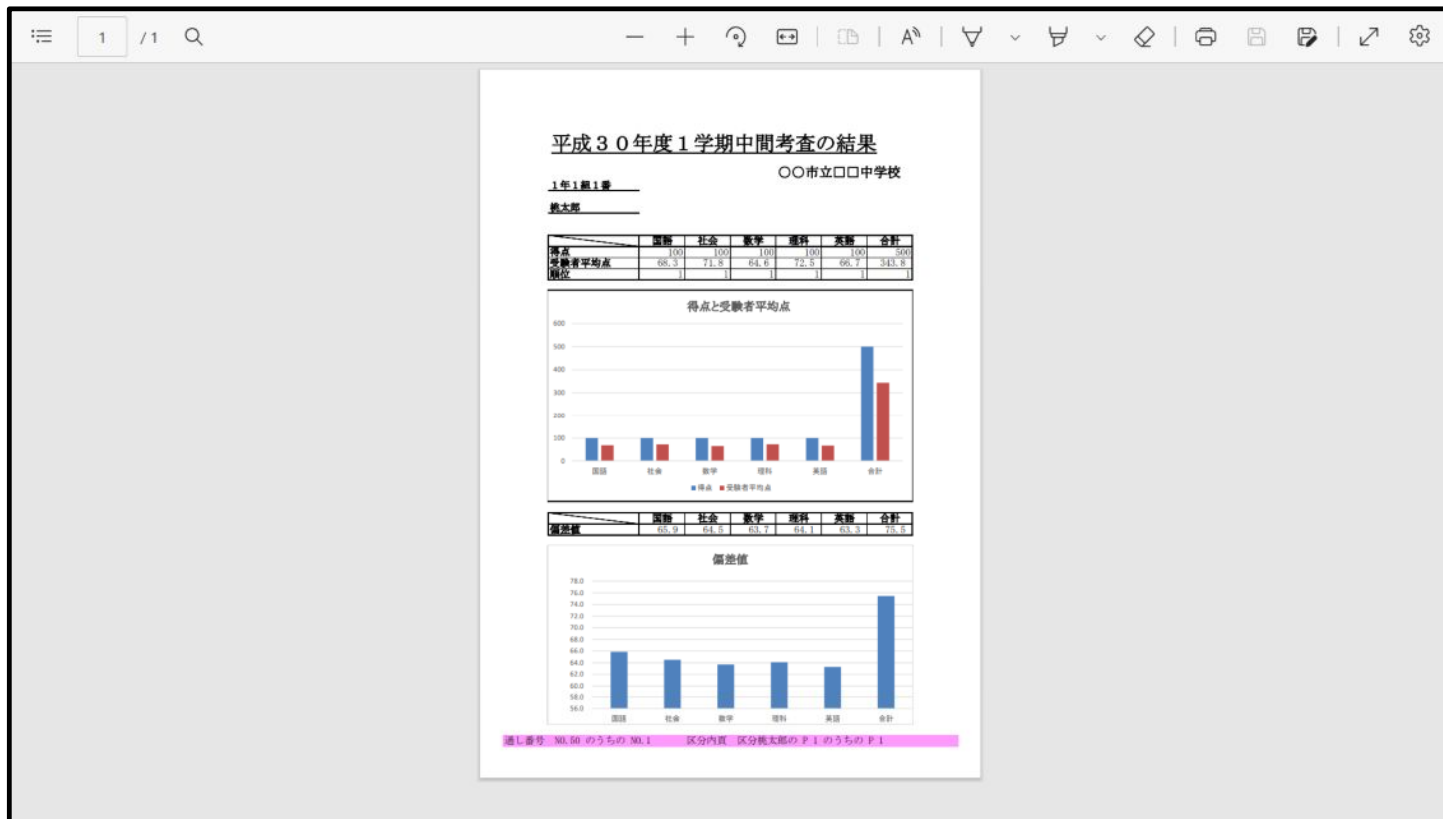
33

入力し、

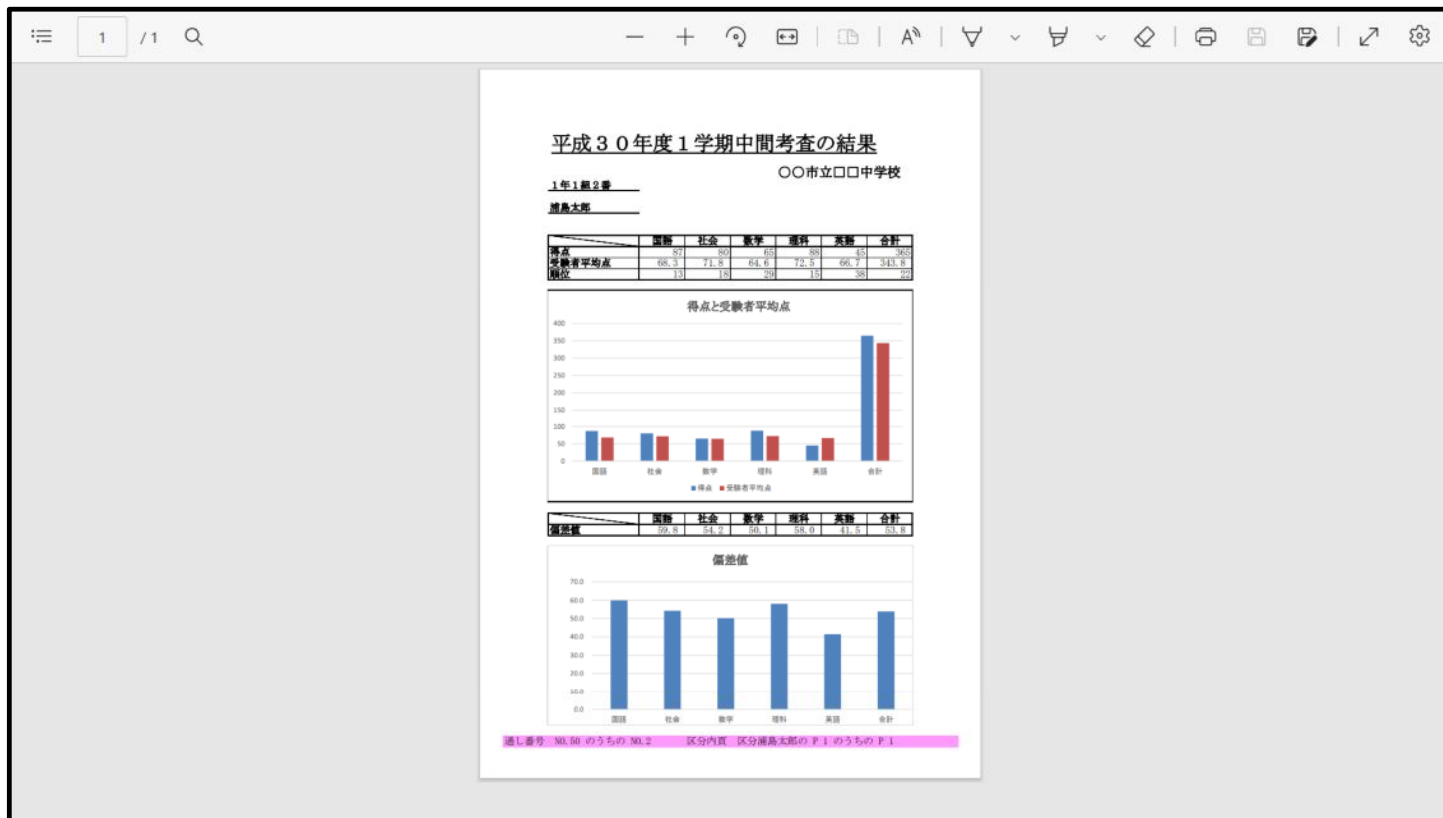
をクリックしていただければ結構です。

因みに、[図 1 7 1]の画面の設定で印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの 1 件目、2 件目の添付ファイルは、それぞれ次の[図 1 7 2]、[図 1 7 3]の画面のようになっています。

[図 1 7 2]



[図 1 7 3]



添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択		
--------------------------------	--	--

の左側のセルのコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	添付ファイルなし件名本文のみのメール	
--------------------------------	--------------------	--

と選択します。すると

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------------------	----------	----------

なります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	

の右側の各セルには

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートメールアドレスが入力されている列番号	33
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号	34
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号	35

と入力します。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の部分の右側のセルは、ブランクのまま結構です

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D*¥B
-------------------------------------	------

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合についても、処理を実行するには、シート「一学期中間考査一覧表付ファイル作成入力設定 1」の画面である上の[図 1 7 1]の画面の Command ボタン
をクリックいただければ結構です。

- ② 「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートで横に複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合：

「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートに複数列配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の入力、印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する方法を説明する前に、やっておくことを説明させていただきます。

(5) シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信について
最初の方でデータファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xlsm
のシート「印刷フォーム 1 ソートデータ」の内容をファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデータ」に複写する方法について説明いたしました。
その複写の結果、ファイル
New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile
(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm
のシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデータ」の様子は次の[図 1 7 4]の画面のようになっています。

[図 1 7 4]

上の[図174]の画面では、表のデーターが「ID」欄において数値の低い方から高い方に並んでいます。これをソートし直します。最初にシートの保護を解除し、第1キーを「中学校コード」を選択し値の低い方から高い方に、第2キーを「受験番号」を選択し、値の低い方から高い方にそれぞれ設定してそソートします。このようにソートし直すと次の[図175]の画面のようになります。

[図 1 7 5]

自動保存 ● オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①第1行～9行の削除及びこれらの行での入力または消去処理操作

<注意> 追加内容表示

小票印刷フォームの呼び出し

修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター
<注意>

ID	対象	受験番号	受験者氏名	が受験生ふり	受験生性別	受験校出身	村中受	名中受	等1受	等2受	区書受	合否等	内定結果	番号受
303	対象303	7014	受験者氏名	ふりがな303	女	101	中学校101	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
83	対象83	5504	受験者氏名	ふりがな83	女	102	中学校102	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
362	対象362	7073	受験者氏名	ふりがな362	女	102	中学校102	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
68	対象68	5068	受験者氏名	ふりがな68	男	103	中学校103	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
69	対象69	5069	受験者氏名	ふりがな69	男	103	中学校103	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
431	対象431	9010	受験者氏名	ふりがな431	女	103	中学校103	○○○○○10	普通科	専門科以外	合			
64	対象64	5064	受験者氏名	ふりがな64	男	104	中学校104	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
65	対象65	5065	受験者氏名	ふりがな65	男	104	中学校104	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
179	対象179	5600	受験者氏名	ふりがな179	女	104	中学校104	○○○○○10	普通科	専門科以外	合			
180	対象180	5601	受験者氏名	ふりがな180	女	104	中学校104	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
333	対象333	7044	受験者氏名	ふりがな333	女	104	中学校104	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
5	対象5	5005	受験者氏名	ふりがな5	男	105	中学校105	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
15	対象15	5015	受験者氏名	ふりがな15	男	105	中学校105	○○○○○10	普通科	専門科以外	合			
57	対象57	5057	受験者氏名	ふりがな57	男	105	中学校105	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
58	対象58	5058	受験者氏名	ふりがな58	男	105	中学校105	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			
90	対象90	5511	受験者氏名	ふりがな90	女	105	中学校105	○○○○○10	普通科	専門科以外	否			

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

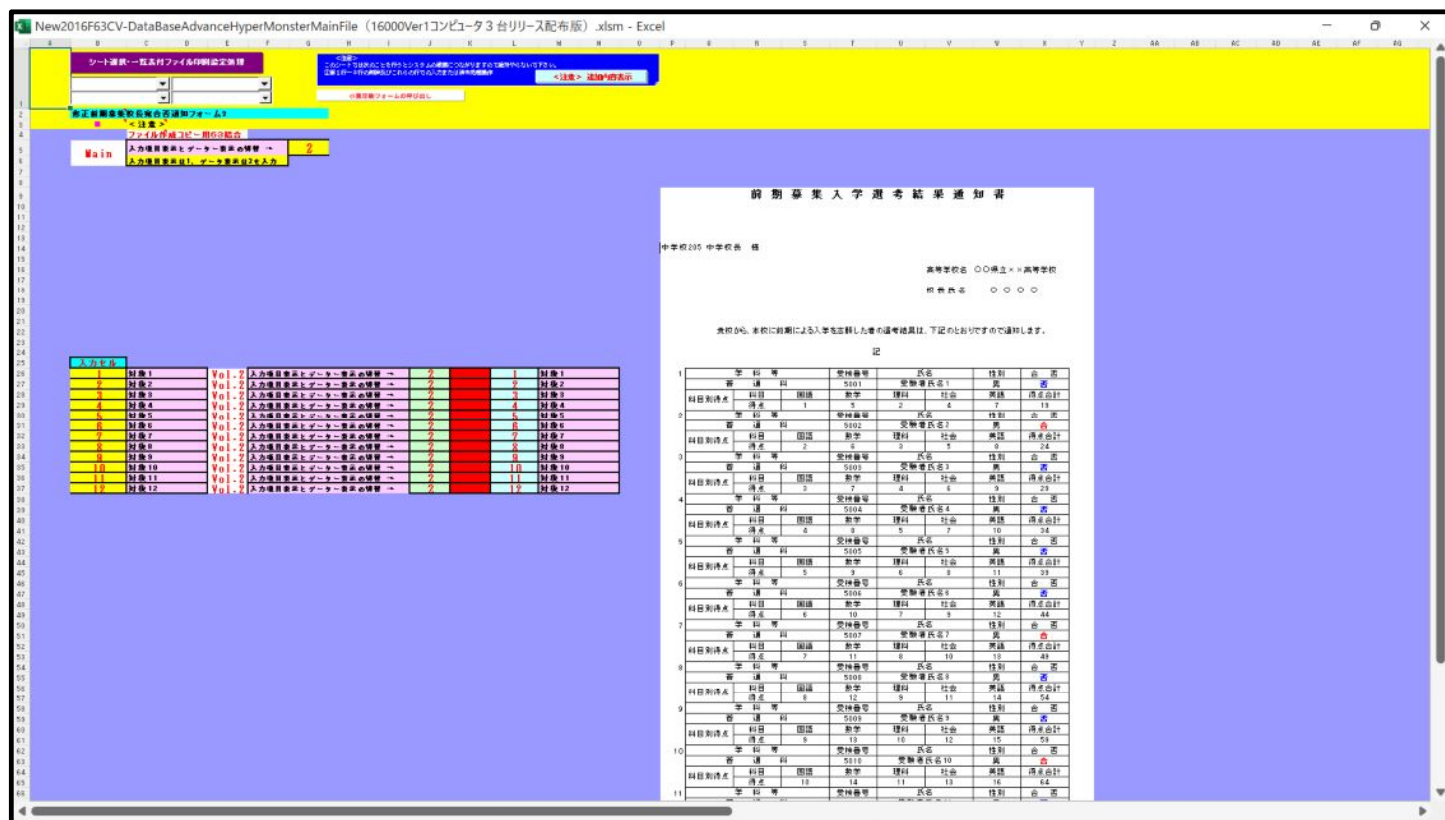
ところで、ファイル

New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile

(16000Ver1 コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslsm

の印刷フォームシート「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2」は、次の[図 1 7 6]の画面のようになっていました。但し、シートの表示倍率が 50%のものです。

[図 1 7 6]



上の[図 1 7 6]の画面の

1	対象1	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	1	対象1
2	対象2	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	2	対象2
3	対象3	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	3	対象3
4	対象4	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	4	対象4
5	対象5	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	5	対象5
6	対象6	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	6	対象6
7	対象7	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	7	対象7
8	対象8	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	8	対象8
9	対象9	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	9	対象9
10	対象10	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	10	対象10
11	対象11	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	11	対象11
12	対象12	Vol.2	入力項目表示とデータ表示の切替 →	2	12	対象12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

のの部分において、各セルの値は、

ファイル New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterDataFileNO.2.xslsm

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データ」の表において上から何行目データで

あるかを示す数値でした。上の[図 1 7 6]の画面の右側の背景色なしの部分は次のようになっています。

1	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5001	受験者氏名1		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
2	普 通 科		5002	受験者氏名2		男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	1	5	2	4	7	19
3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
4	普 通 科		5004	受験者氏名4		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	4	8	5	7	10	34
5	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5005	受験者氏名5		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
6	普 通 科		5006	受験者氏名6		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	6	10	7	9	12	44
7	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5007	受験者氏名7		男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
8	普 通 科		5008	受験者氏名8		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	8	12	9	11	14	54
9	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5009	受験者氏名9		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
10	普 通 科		5010	受験者氏名10		男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	10	14	11	13	16	64
11	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5011	受験者氏名11		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
12	普 通 科		5012	受験者氏名12		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	12	16	13	15	18	74

例えば、上の[図 1 7 6]の画面の **3** と入力されているセルに対応する上の表の

3	学 科 等		受検番号	氏名		性別	合 否
	普 通 科		5003	受験者氏名3		男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会	英語	得点合計
	得点	3	7	4	6	9	29

ー の部分のデータは、

の入力シート「入力 AA1 高校入試通知書等作成データー」の表において上から 3 行目のデーターです。

ID	
303	303
83	83
362	362
68	68
69	69
431	431
64	64
65	65
179	179
180	180
333	333
5	5
15	15
57	57
58	58
90	90
129	129

さて、上の[図 1 7 5]の画面の の部分の値を上から順にコピーし、上の[図 1 7 6]

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の画面の の部分の各セルに上から順に「中学区コード」の値も調べながら貼り付けて、しかも同じ中学区コードが 1 2 個以上連続して続いている場合は 1 2 個のデーターを貼り付けるごとに印刷または印刷範囲を自動 PDF の添付ファイルとしてメール送信し、同じ中学区コードが切り替わるとに印刷処理および印刷範囲を 自動 PDF の添付ファイルとしてメール送信する処理ができれば自動印刷処理や印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する自動処理ができることになります。

実は、このような自動処理が「一覧表付ファイル作成入力設定」シートであるシート

「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の入力設定を行うことによって可能です。

それでは、これから「入力シート」における表の複数の行を、「入力シート」における表の 1 行当たりをそれぞれ「印刷フォーム」シートに横複数列に配置して表示しながら印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合の印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信するシート

「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の入力設定の方法および印刷、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する方法を説明してきたいと思います。

次の[図 1 7 7]の画面はシート

「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の画面です。

【図 1 7 7】

自動保存 オフ New2016F63CV-DataBaseAdvanceHyperMonsterMainFile (16000Ver1コンピュータ3台リリース配布版) .xslm

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ コメント 共有

上書き保存

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 編集上の注意呼び出し 設定印刷ボタン 印刷設定印刷ボタン

修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2

1. 入力元の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
デ	一	タ	先	頭	セ
デ	一	タ	先	頭	セ
異	同	比	較	列	番
デ	一	タ	先	頭	セ
For	Next	の	増	分	

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入	力	先	頭	セ	ル
入	力	先	頭	セ	ル
入	力	最	終	セ	ル
入	力	最	終	セ	ル
入	力	デ	一	タ	先
通	し	ベ	一	ジ	入
通	し	ベ	一	ジ	入
区	分	内	ベ	一	ジ
区	分	内	ベ	一	ジ

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理か ファイルの メール送信 の設定					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号					
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

準備完了 設定アクセシビリティ: 検討が必要です

まず、

1. 入力元の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
デ	一	タ	先	頭	セ
デ	一	タ	先	頭	セ
異	同	比	較	列	番
デ	一	タ	先	頭	セ
For	Next	の	増	分	

の部分の入力設定に「について説明いたします。

シート名		
------	--	--

の部分の左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター	
------	---------------------------	--

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2ソートデーター
------	---------------------------	---------------------------

となります。

デ	一	タ	先	頭	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 5]の画面のセルの番地「B6」の行番号「6」を入力して、

データ先頭セル	行番号	6
---------	-----	---

とします。また、

データ先頭セル	列番号	
---------	-----	--

ID
303
83
362
68
69
431
64
65
179
180
333
5
15
57
58
90
129

の部分の右側のセルには、上の[図 1 7 5]の画面のセルの番地「B6」の列番号「2」を入力して

データ先頭セル	列番号	2
---------	-----	---

とします。但し、列番号については、私どもでは次の表のように約束しています。

列	A	B	C		Z	AA	AB	
列番号	1	2	3		26	27	28	

また、

異	同	比	較	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルには、データーが連続して続くのかそれとも異なってしまうのか調査する列の番号を入力

受験
校生
出身

しますが、その列として上の[図 1 7 5]の画面の見出しと表示されている列「I」の列番号「9」を入力して、

異	同	比	較	列	番	号	9
---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

デ	ー	タ	ー	数
---	---	---	---	---

の右側のセルには、上の[図 1 7 5]の画面の表における有効な処理するデーターの個数「474」を入力して

デ	ー	タ	ー	数	474
---	---	---	---	---	-----

とします。

For	Next	の	増	分
-----	------	---	---	---

部分の右側のセルには数値「1」を入力して（通常は 1 を入力します。）

For	Next	の	増	分	1
-----	------	---	---	---	---

とします。

次に

2. 入力先の設定

項	目	設	定	内	容
シート名					
入力先頭セル	行番号				
入力先頭セル	列番号				
入力最終セル	行番号				
入力最終セル	列番号				
入力データ	ー				
通しベジ入力セル	行番号				
通しベジ入力セル	列番号				
区分内ベジ入力セル	行番号				
区分内ベジ入力セル	列番号				

の部分の入力設定について説明いたします。

まず、

シート名	
------	--

については、左側のコンボボックスで

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------

と選択すると右側のセルにも入力されて

シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
------	--------------------	--------------------

となります。

入	力	先	頭	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のの部分で 1 と表示されているセルの番地「B26」の行番号「26」を入力して

入	力	先	頭	セ	ル	行	番	号
								26

とします。

入	力	先	頭	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のの部分で 1 と表示されているセルの番地「B26」の列番号「2」を入力して

入	力	先	頭	セ	ル	列	番	号
								2

とします。

入	力	最	終	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面のの部分の最も下側の 12 と表示されているセルの番地「B37」の行番号「37」を入力して

入	力	最	終	セ	ル	行	番	号
								37

とします。

入	力	最	終	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面の の部分の最も下側の と表示されているセルの番地「B37」の列番号「2」を入力して

入	カ	最	終	セ	ル	列	番	号	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

とします。

入	カ	デ	ー	タ	ー	数	
---	---	---	---	---	---	---	--

入力セル
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

の右側のセルには、上の[図 1 7 6]の画面の の部分の と表示されているセルの個数「12」を入力して

入	カ	デ	ー	タ	ー	数	12
---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

上の[図 1 7 6]の画面の印刷部分は背景色なしの次の[図 1 7 8]の画面の部分です。

前期募集入学選考結果通知書

中学校205 中学校長 様

高等学校名 ○○県立××高等学校

校長氏名 ○ ○ ○ ○

貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。

記

1	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5001	受験者氏名1	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	1	5	2	4
				英語	得点合計
				7	19
2	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5002	受験者氏名2	男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	2	6	3	5
				英語	得点合計
				8	24
3	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5003	受験者氏名3	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	3	7	4	6
				英語	得点合計
				9	29
4	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5004	受験者氏名4	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	4	8	5	7
				英語	得点合計
				10	34
5	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5005	受験者氏名5	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	5	9	6	8
				英語	得点合計
				11	39
6	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5006	受験者氏名6	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	6	10	7	9
				英語	得点合計
				12	44
7	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5007	受験者氏名7	男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	7	11	8	10
				英語	得点合計
				13	49
8	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5008	受験者氏名8	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	8	12	9	11
				英語	得点合計
				14	54
9	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5009	受験者氏名9	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	9	13	10	12
				英語	得点合計
				15	59
10	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5010	受験者氏名10	男	合
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	10	14	11	13
				英語	得点合計
				16	64
11	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5011	受験者氏名11	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	11	15	12	14
				英語	得点合計
				17	69
12	学 科 等	受検番号	氏名	性別	合 否
	普 通 科	5012	受験者氏名12	男	否
	科目別得点	科目 国語	数学	理科	社会
	得点	12	16	13	15
				英語	得点合計
				18	74

上の[図 1 7 8]の画面の印刷部分には、シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、

その領域に印刷の通し番号と区分内ページを表示するセルを指定する必要があります。
シートを保護しても保護がかからない領域を確保し、そして、その領域に印刷の通し番号と区分内ページ
を表示するセルを上[図 1 7 8]の画面の黄色で表示されている

の領域内に指定したいと思います。

通し番号を表示するセルは上の[図 1 7 8]の画面の のセルに、区分内ページを表示するセルは にしたいと思います。 のセル番地は「P74」で のセル番地は「U74」です。従って、

通	し	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の行番号「74」を入力して

通	し	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	行	番	号
										74	

とし、

通	し	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「P74」の列番号「16」を入力して

通	し	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	列	番	号
										16	

とします。

また、

区	分	内	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	行	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の行番号「74」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	行	番	号	74
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とし、

区	分	内	べ	ー	じ	入	力	セ	ル	列	番	号
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

の右側のセルにはセル番地は「U74」の列番号「20」を入力して

区	分	内	ペ	ー	ジ	入	力	セ	ル	列	番	号	20
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

とします。

最後の

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項	目	設	定	内	容
印刷処理か ファイルの メール送信 の選択					
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	のメールアドレスが入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	の件名が入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	の本文が入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の入力設定について説明いたします。

単に印刷処理を行うには

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択					
--------------------------------	--	--	--	--	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	印刷する				
--------------------------------	------	--	--	--	--

と選択すると右側のセルに

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	印刷する			印刷する	
--------------------------------	------	--	--	------	--

と入力されます。そして、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	のメールアドレスが入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	の件名が入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータシート	の本文が入力されている列番号				
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー					

の部分の右側のセルにはなにも入力しなくても結構です。

設定印刷ボタン

あとは上の[図 1 7 7]の画面の Command ボタン をクリックしていただければ印刷処理が実行
できます。

しかし、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信する場合には、上の印刷の場合の入力設定とは異なります。この場合については、

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択		
--------------------------------	--	--

の左側のコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	
--------------------------------	----------	--

を選択して

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------------------	----------	----------

と設定し、

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートのメールアドレスが入力されている列番号
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	

の部分の右側全てののセルにも入力設定する必要があります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートのメールアドレスが入力されている列番号
-------------------------------	------------------------------------

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「S」の列番号「19」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートのメールアドレスが入力されている列番号
-------------------------------	------------------------------------

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号
-------------------------------	-------------------------------

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「T」の列番号「20」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの件名が入力されている列番号
-------------------------------	-------------------------------

とします。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号
-------------------------------	-------------------------------

の右側のセルには、「印刷フォームソートデータ」シートであるシート
「修正前期募集校長宛可否通知フォーム 2 ソートデータ」におけるメールアドレスが入力されている
列「U」の列番号「21」を入力して

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	印刷フォームソートデータシートの本文が入力されている列番号
-------------------------------	-------------------------------

とします。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の右側のセルには、メールを送信するに当たって、一時的に印刷範囲を PDF ファイルとして保存しておく
ドライブとフォルダーを入力します。「D」ドライブのフォルダー「B」に一時的に保存したいと思います
ので、「D:¥B」と入力して、

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D:¥B
-------------------------------------	------

とします。

つまり、印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をする場合の一覧表付ファイル作成入力設定
シート「修正前期募集校長宛可否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の入力設定は次の[図 1 7 9]の画
面の通りです。

【図 1 7 9】

修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2

1. 入力元の設定

項目	設定	内容
シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデータ	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2シートデータ
データ先頭セル	行番号	6
データ先頭セル	列番号	2
異同比較列番号	列番号	9
データ数	データ数	474
For Next の増分	増分	1

2. 入力先の設定

項目	設定	内容
シート名	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2	修正前期募集校長宛合否通知フォーム2
入力先頭セル	行番号	26
入力先頭セル	列番号	2
入力最終セル	行番号	37
入力最終セル	列番号	2
入力データ数	データ数	12
通し番号	行番号	74
通し番号	列番号	16
区分内番号	行番号	74
区分内番号	列番号	20

3. 印刷処理かファイルのメール送信の設定

項目	設定	内容
印刷処理かファイルのメール送信の設定	メールで送信する	メールで送信する
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータのメールアドレスが入力されている列番号		19
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの件名が入力されている列番号		20
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームシートデータの本文が入力されている列番号		21
ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D:\	印刷

印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信をするには、一覧表付ファイル作成入力設定シート「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定2」の画面である上の【図 1 7 9】の画面の

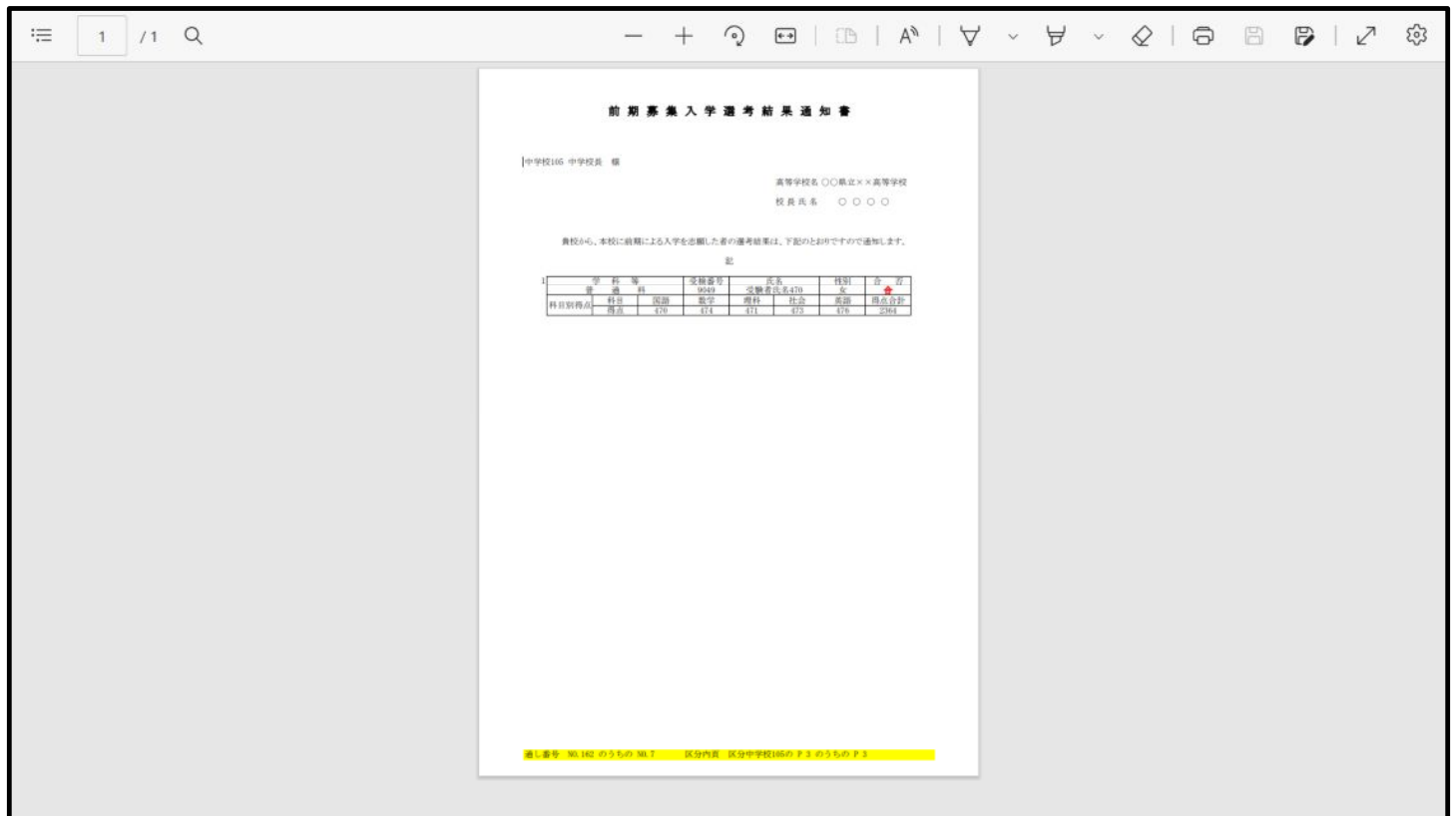
コマンドボタン **設定印刷ボタン** をクリックしていただければ結構です。

因みに、【図 1 7 9】の画面の設定で印刷範囲を PDF の添付ファイルとしてメール送信した場合、メールの 5 件目、6 件目、7 件目の添付ファイルは、それぞれ次の【図 1 8 0】、【図 1 8 1】、【図 1 8 2】の画面のようになっています。これらは「中学校 105」の校長宛のメールで出願した生徒 2 5 名の合否の結果のメールです。なお、全てのメールの送信件数は 1 6 2 件です。

≡	1	/1	Q	—	+	↺	↻		📄		A ⁺		▽	▽	🔍		🖨	📁	📁		↗	⚙																												
前期募集入学選考結果通知書																																																		
[中学校105 中学校長 様]																																																		
												高等学校名 ○○県立××高等学校																																						
												校長 氏 名 ○ ○ ○ ○																																						
貴校から、本校に前期による入学を志願した者の選考結果は、下記のとおりですので通知します。																																																		
記																																																		
1	学 科 等	定数	募集番号	氏 名	性別	合 否																																												
	普通 科	5001	定数番号15.5	男	男	合																																												
科目別選取点	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
2	学 科 等	定数	募集番号	氏 名	性別	合 否																																												
	普通 科	5011	定数番号11	女	女	合																																												
科目別選取点	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
3	学 科 等	定数	募集番号	氏 名	性別	合 否																																												
	普通 科	5057	定数番号15.7	男	男	合																																												
科目別選取点	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
	科目	英語	数学	理科	社会	英語	国語	総合																																										
4	学 科 等	定数	募集番号	氏 名	性別	合 否																																												
	普通 科	5058	定数番号15.8	女	女	合																																												

[illegible]

【図 1 8 2】



更に、添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合は、

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択		
--------------------------------	--	--

の左側のセルのコンボボックスで

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	添付ファイルなし件名本文のみのメール
--------------------------------	--------------------

と選択します。すると

印刷処理か ファイルの メール送信 の選択	メールで送信する	メールで送信する
--------------------------------	----------	----------

なります。

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	メールアドレスが入力されている列番号
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	件名が入力されている列番号
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	本文が入力されている列番号

の右側の各セルには

ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	メールアドレスが入力されている列番号	33
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	件名が入力されている列番号	34
ファイルのメール送信の場合の印刷フォームソートデータシート	本文が入力されている列番号	35

と入力します。

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	
-------------------------------------	--

の部分の右側のセルは、ブランクのままで結構ですし

ファイルのメール送信の場合の添付ファイルの保存先ドライブ及びフォルダー	D*¥B
-------------------------------------	------

と入力していただいても結構です。

添付ファイルなしで件名と本文のみのメール送信する場合についても、処理を実行するには、シート

「修正前期募集校長宛合否通知一覧表付ファイル作成入力設定 2」の画面である上の【図 1 7 9】の画面の

コマンドボタン **設定印刷ボタン** をクリックしていただければ結構です。